

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak
LICENSED PRODUCT

3/Color
Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

A 1 2 3 4 5 6

6

M

8

9

10

11

12

13

14

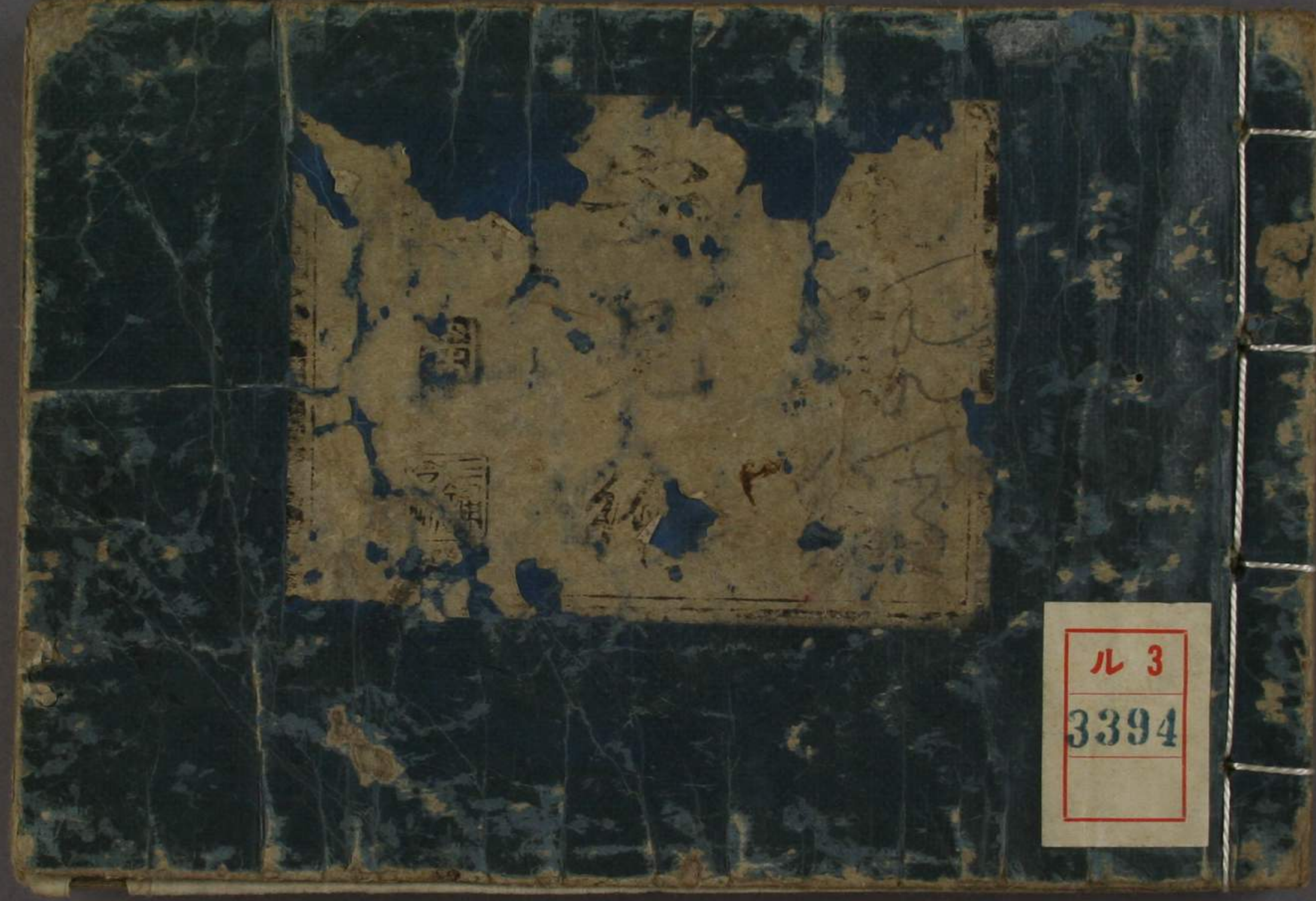
15

B

17

18

19



ル 3
3394



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular border. The characters are dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text at the top right of the page, possibly a title or a specific instruction related to the main text.

Large stylized Chinese characters, likely a title or a section header, enclosed in a decorative border.

333

Large stylized Chinese characters, likely a title or a section header, enclosed in a decorative border.



岐ノ蘆路安見
繪圖

門 凡 3
號 339
卷

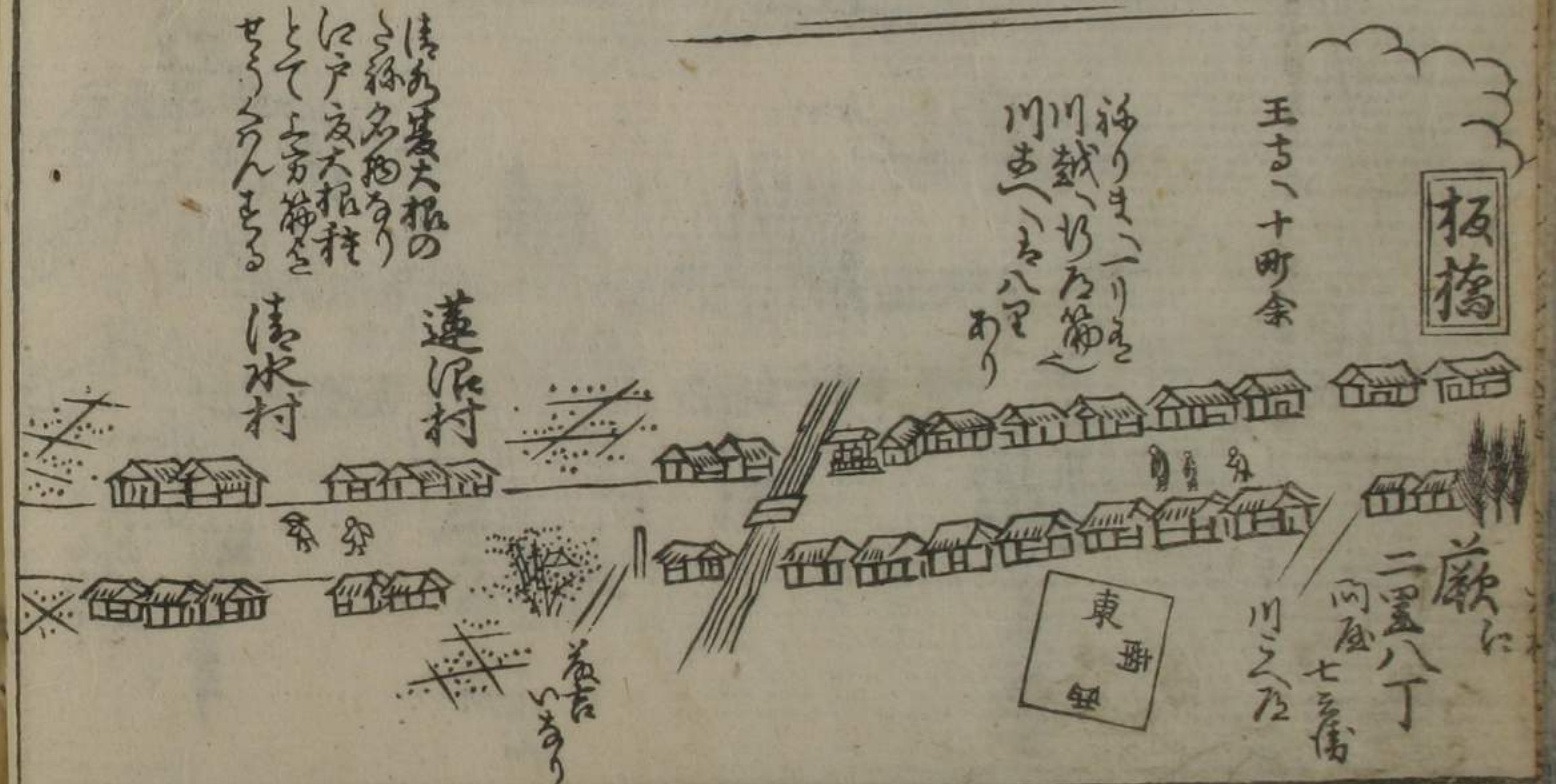
岐蘆路を委く記せり書ハ
 貝原先生の本名録れ記せ
 子種堂の本名録室經の書
 乃之今此二書ふより門々
 得るといふ一書とてふ紙
 巻一程もと見安からんが
 るより宿より宿のつらと一紙乃
 一面小徳家に記しと本名録
 安見絵圖と号するの

榮揚編

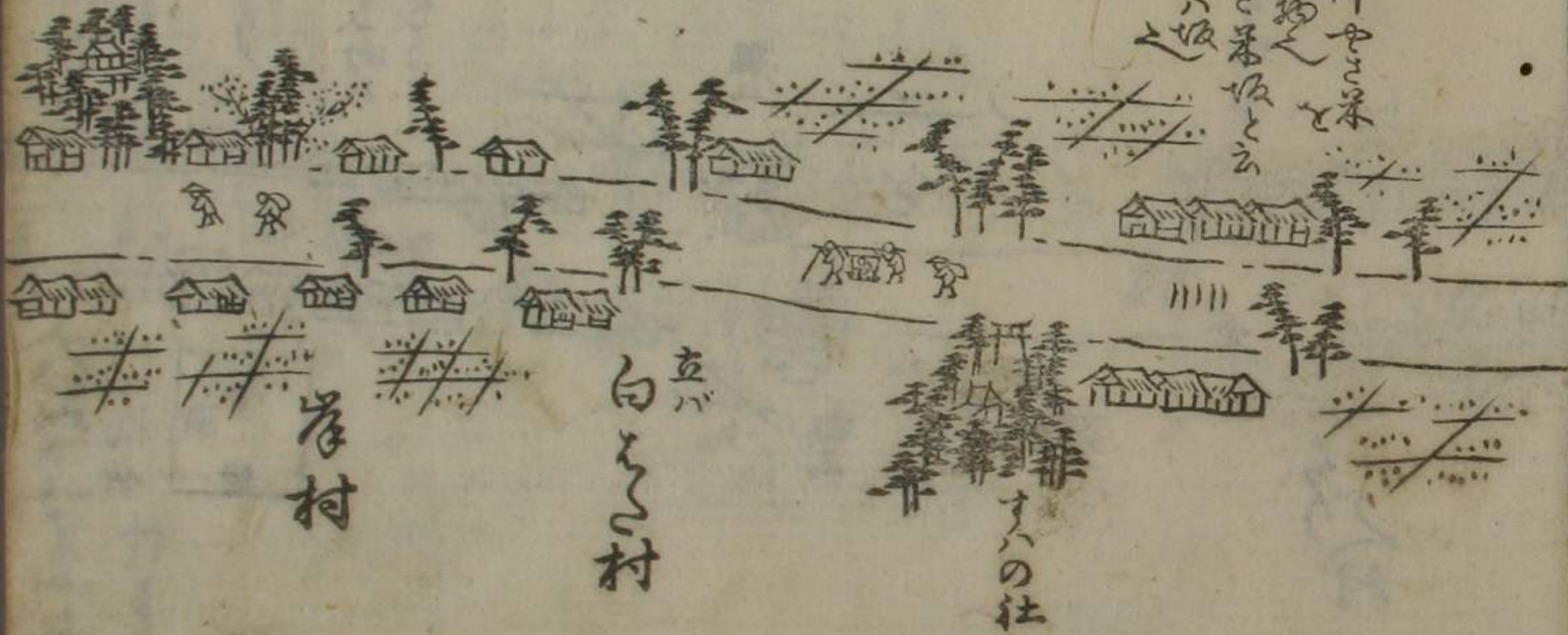
坂下は清くあり
 高村の音あり
 戸田川の上を
 入る川といふ
 水はわたりぬ
 流せぬ川下
 清き角田川
 戸田川(水)へ
 堤(み)位(は)く
 戸田川(水)の時(は)
 け(は)を(り)を(き)ぢ
 白(り)子(位)出(は)戸(へ)入
 は(き)村(む)む(ら)ハ
 け(は)村(む)む(ら)を(き)ぢ
 あり(今)も(戸)田(川)水(の)
 時(は)け(は)村(む)む(ら)ハ



清き大板の
 縁名あり
 戸田大板
 とて(き)ぢ
 せ(う)ん(ま)る
 清(水)村
 連(泥)村
 王(古)十(町)余
 神(り)ま(り)り
 川(越)り(り)り
 川(越)り(り)り

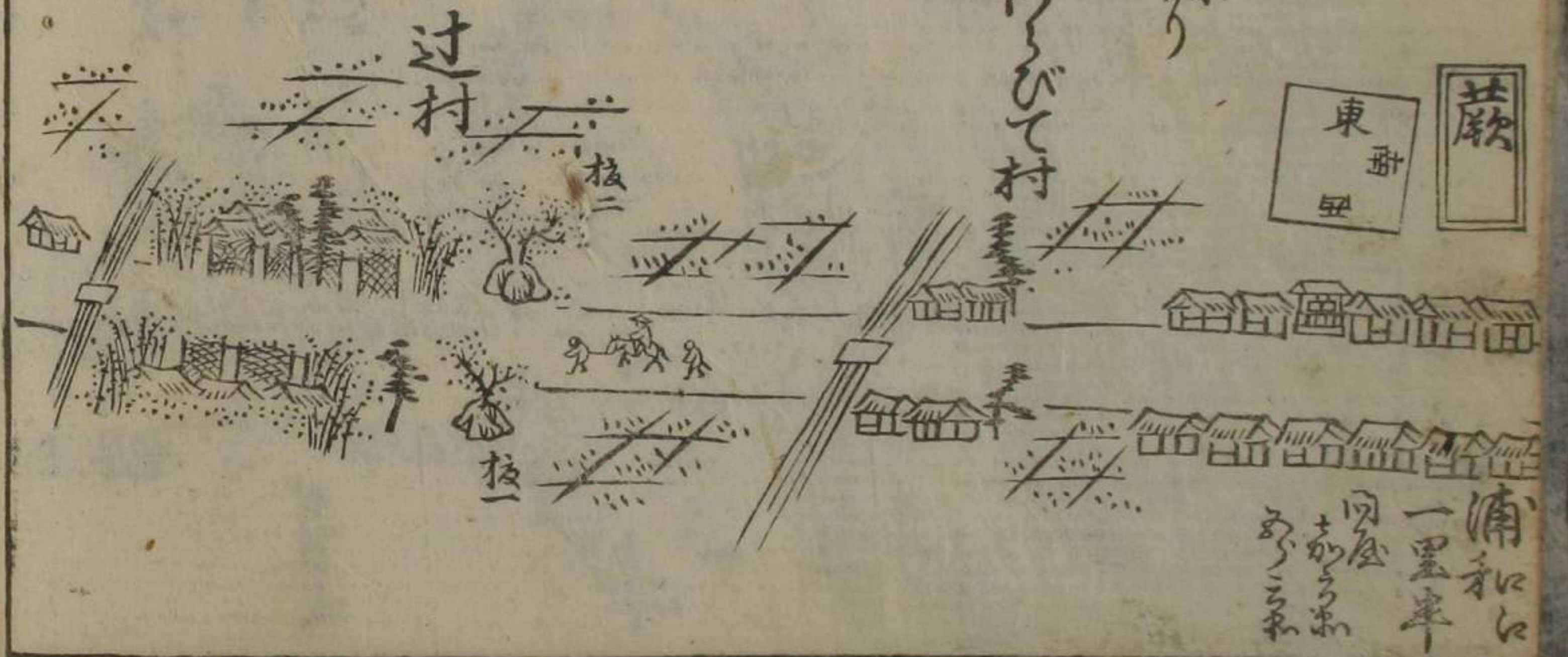


月のま
かた板堂



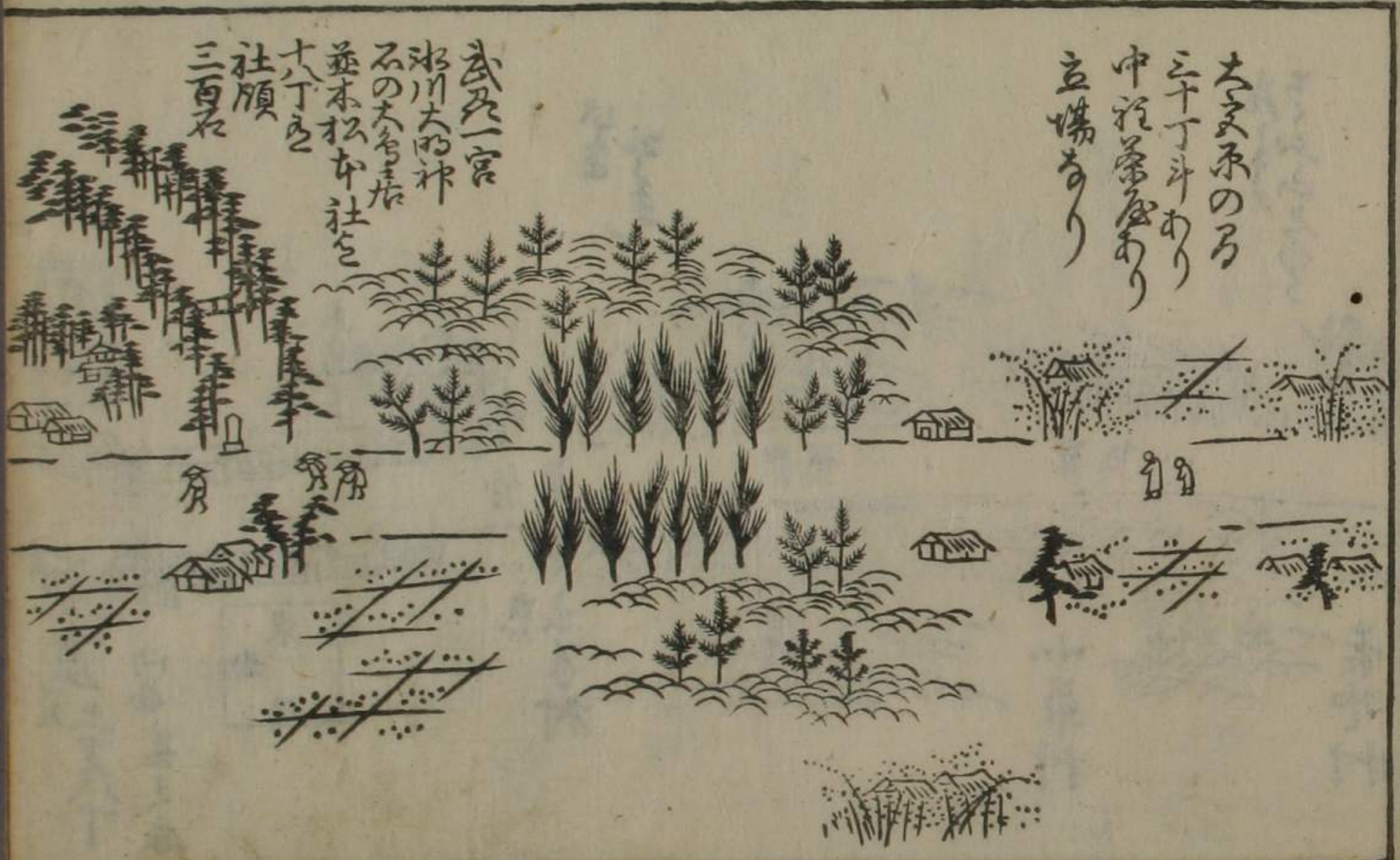
は不年中やと本
ある名物
よりのやと本坂と云
かたくは坂

い色
暗地中系
あり



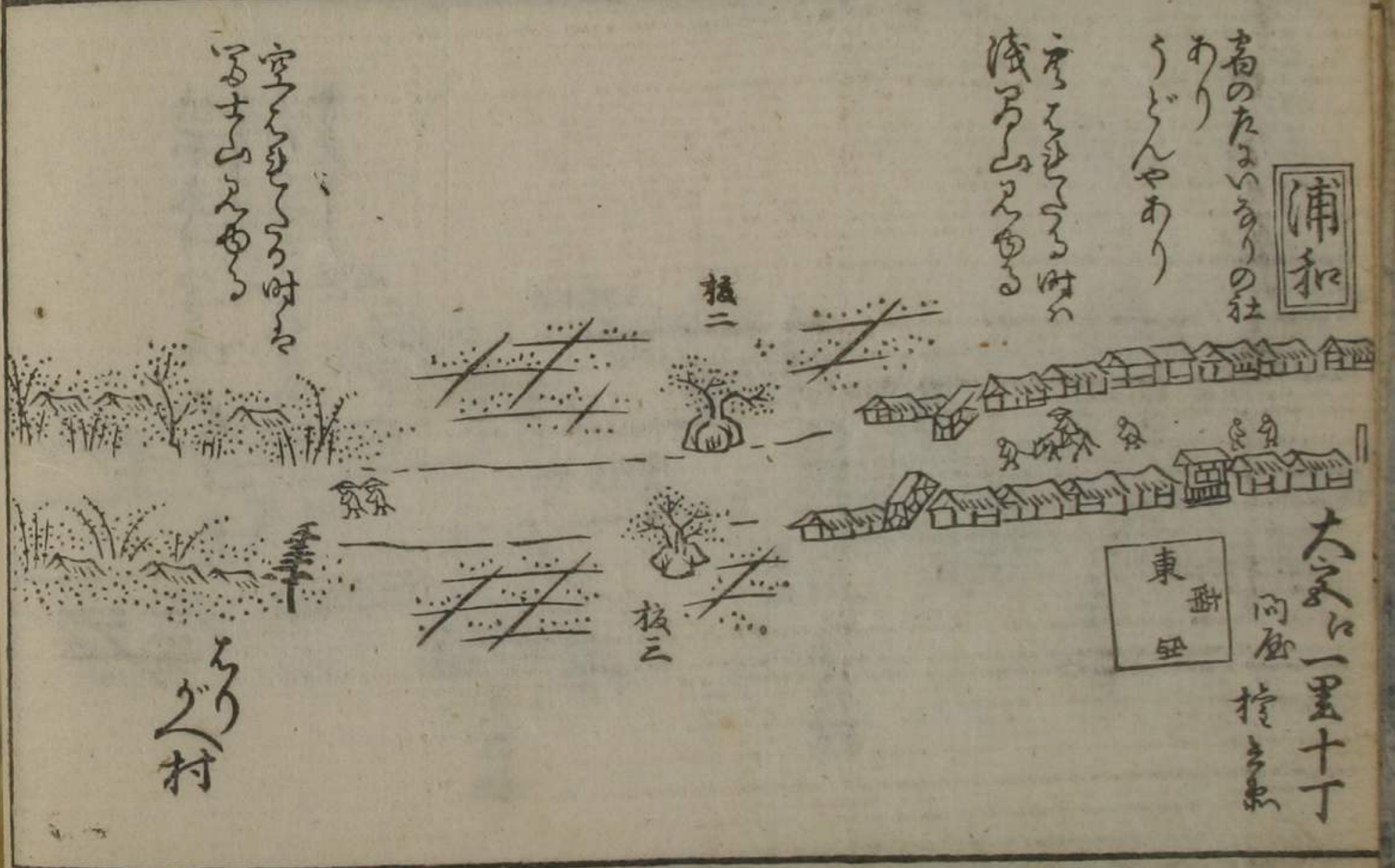
田

東



武蔵一宮
 氷川大御神
 石の大神居
 並木松本社
 十丁
 社願
 三百石

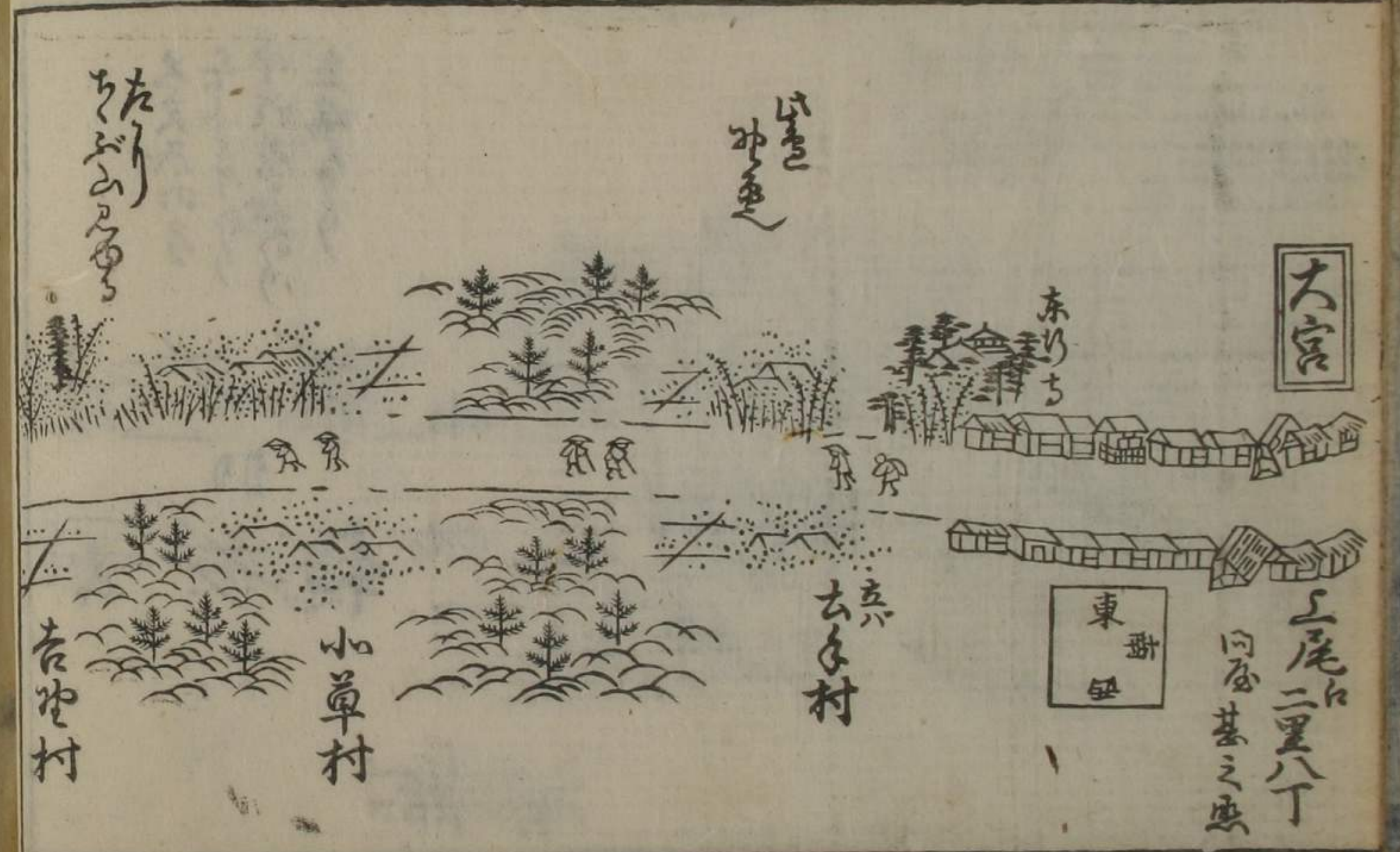
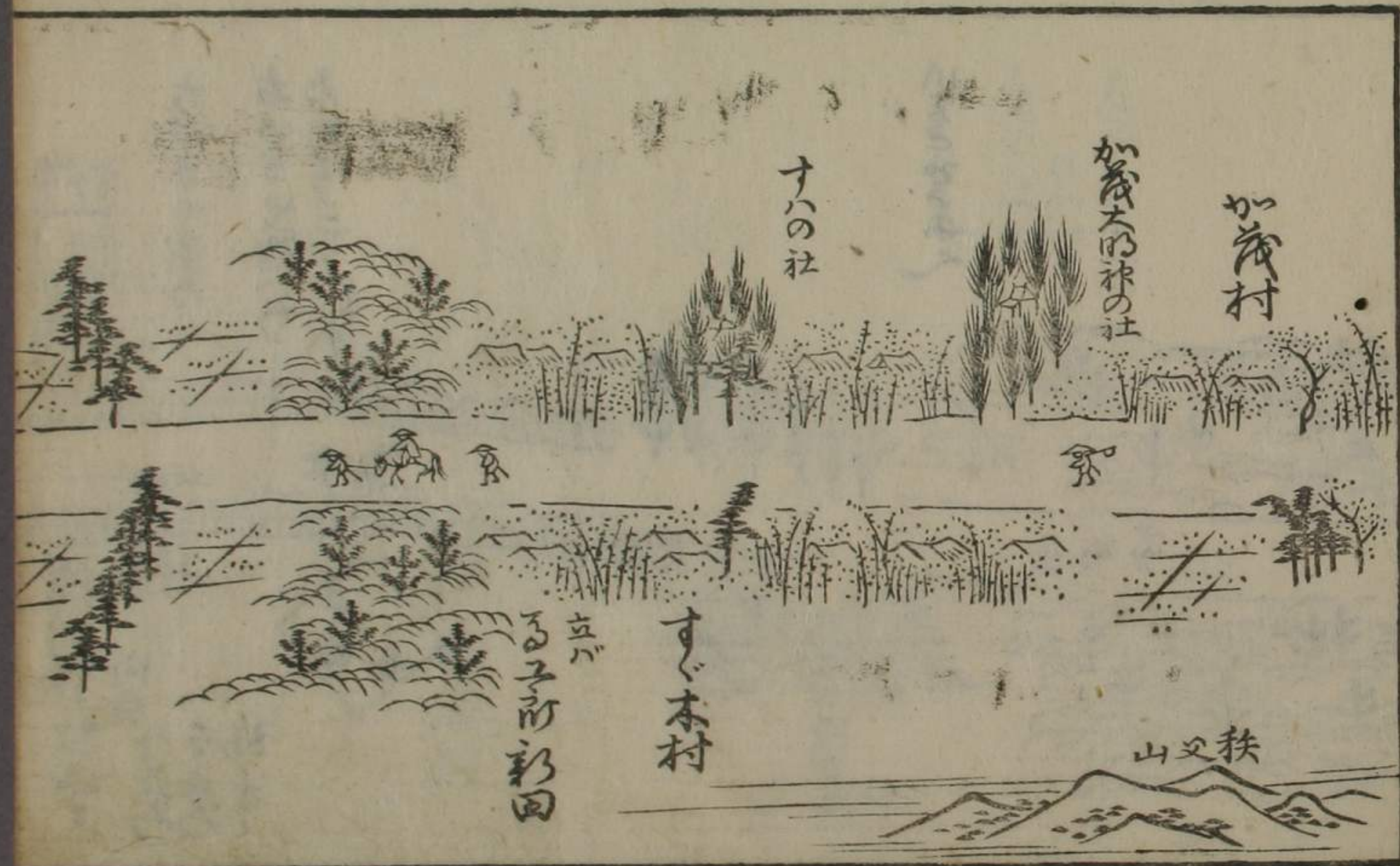
大又原の石
 三十丁あり
 中程茶屋あり
 立場あり

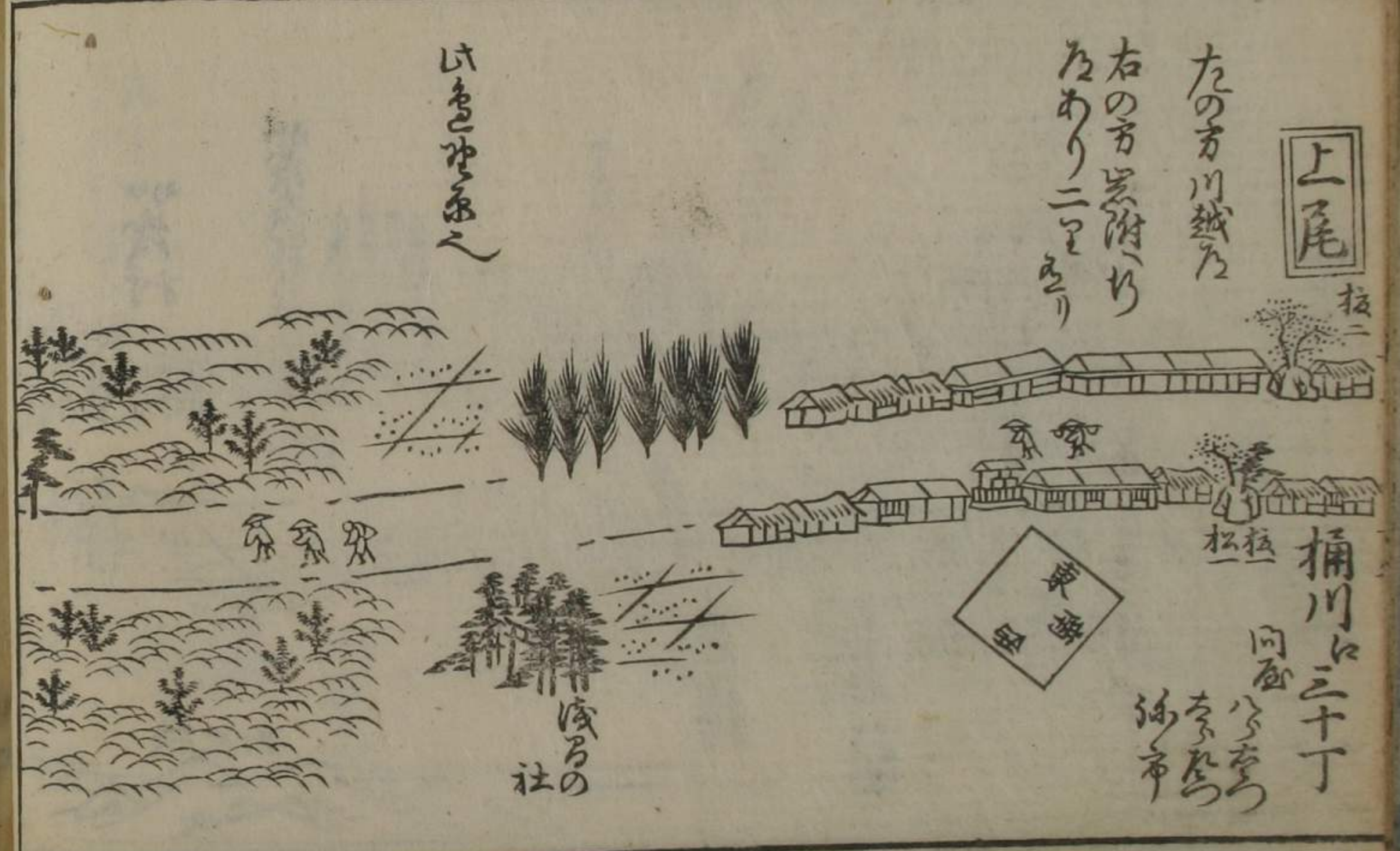


浦和
 高のたみありの社
 わり
 うどんやあり
 寺あり
 浅野山あり

大又原一里十丁
 向原
 村
 東
 田

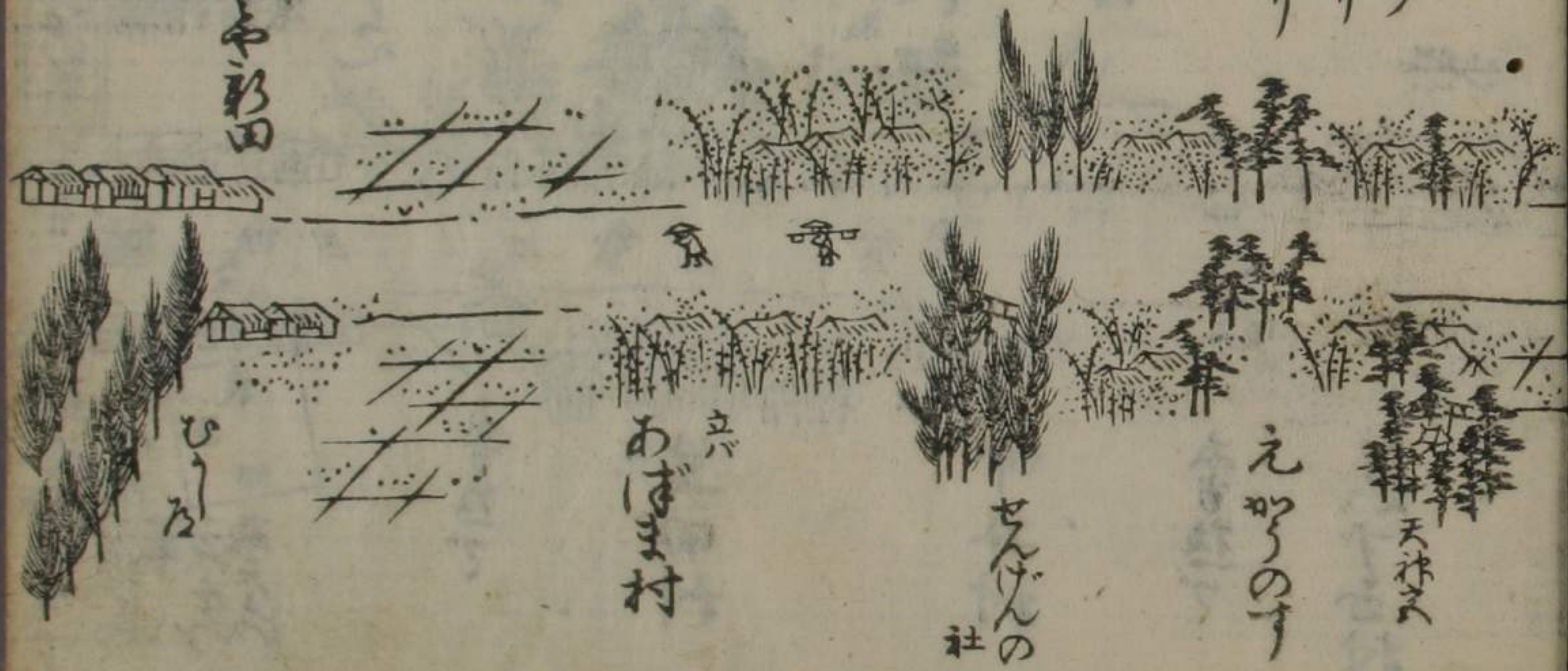
ちり
 村





けりり
誇る三り
相生あり

かき野田



あばま村

せんげんの
社

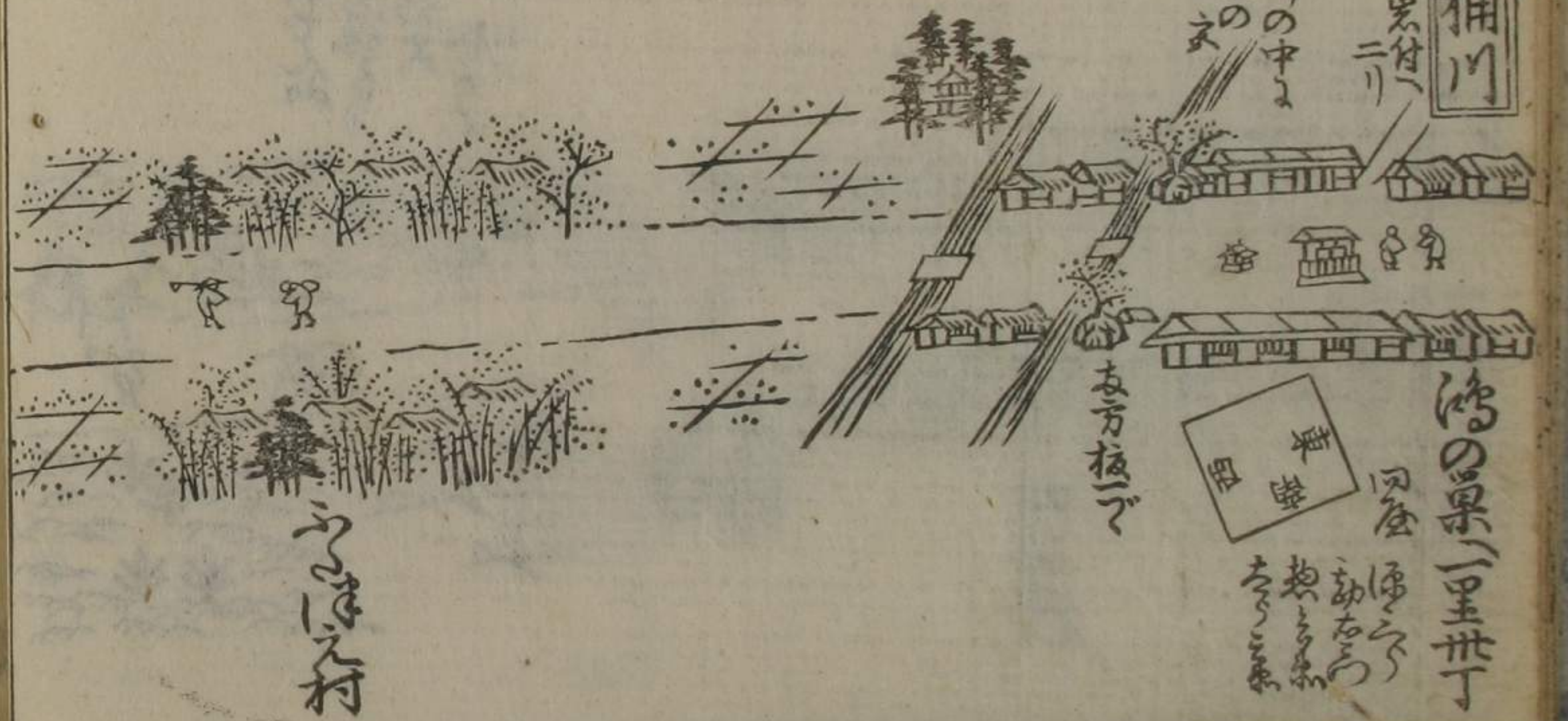
えびのす

天林

桶川

通りの中
天王の
文

岩付
三り



鴻の巣一里世丁

田

物
さ

ま方極で

うほえ村

一ツツ
右方板
ニツツ



東方村

かご
村

立
新堀村

立
宇柳村

徳谷

徳谷の
居城也

徳谷の
古伝
浄土堂
徳谷の
本像并
寺の
あり



の
村

板

立
新堀村

立
村

下
原

東
田

徳谷の
二里
丁



赤坂山
上野の
山く
るく

牧名村

赤坂山
上野の
山く
るく

長門の原
名所
古くあり
一りつら
右津板

長村

新田、田リ
世島三ツ木

小山川

古くあり



所の屋の中
天王の
あり

深谷

日光山
ゆき
ゆき

日光山ゆき
ゆき

倫

本庄に
二里廿九丁
向至
十房系

田
里

名を村

宿の板村

長門の原
古くあり
出の地
長村
領主

安部丹波寺
二万石余

日光山
ゆき
ゆき



天正年中
澁川左衛門
小糸氏政と
合戦しり
あり

八まん
かえり川
川上名堂の下
おのり村の通
原とあそび
公長上流の境
本石公武長見
新所上州
徳林坊より
加子川と武上の
境川とくわ
混る

まへりが
かえり川
上流境

かえり村

かえり村



本庄

ごまの村
中より
ま日系礼寺

全渡大の神

任者保山
又六城後の
山く
るも

新所
二里
田
伊
伊

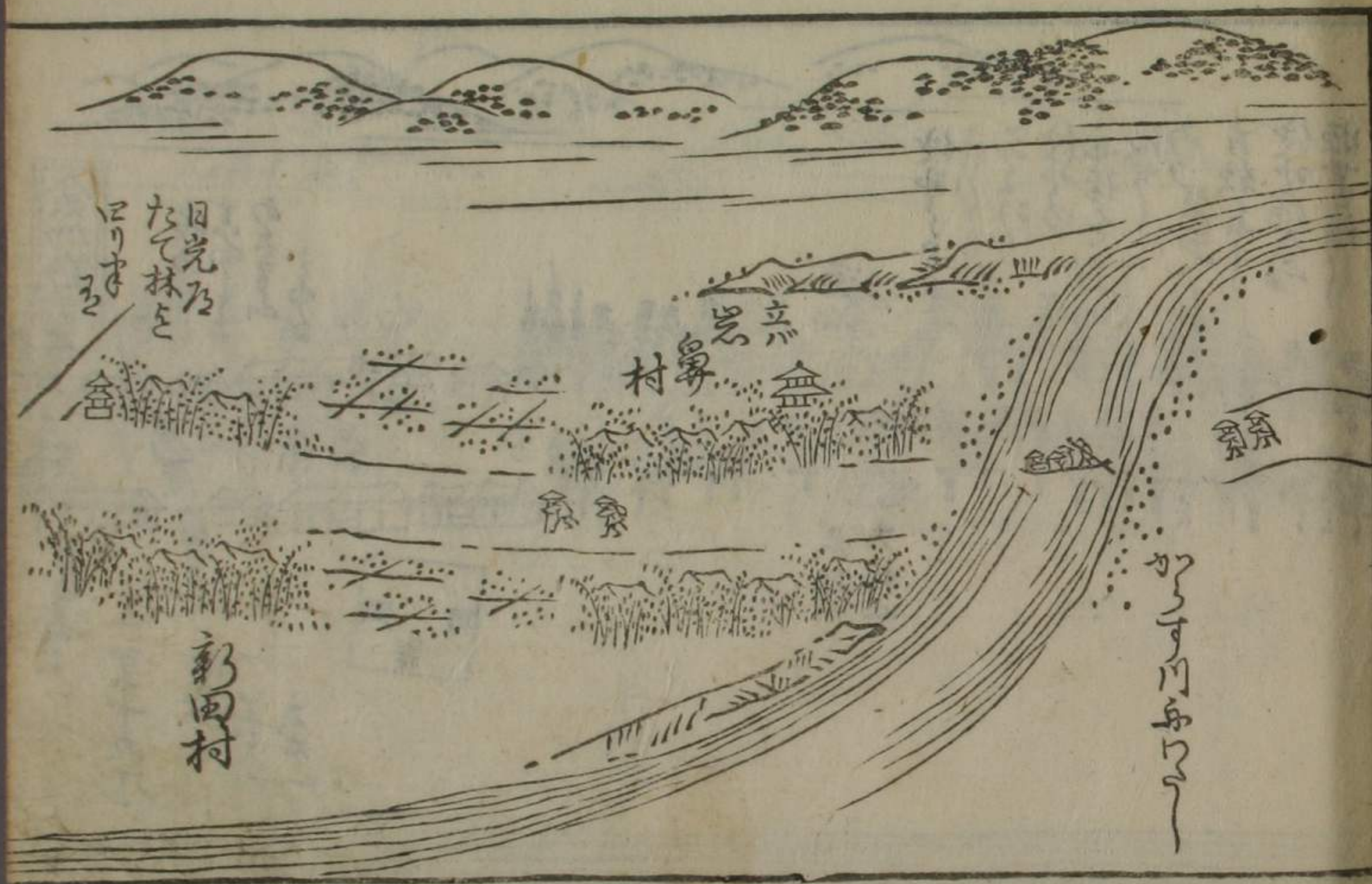
小つら

小つ村

万年寺村

清原の
元

石井村

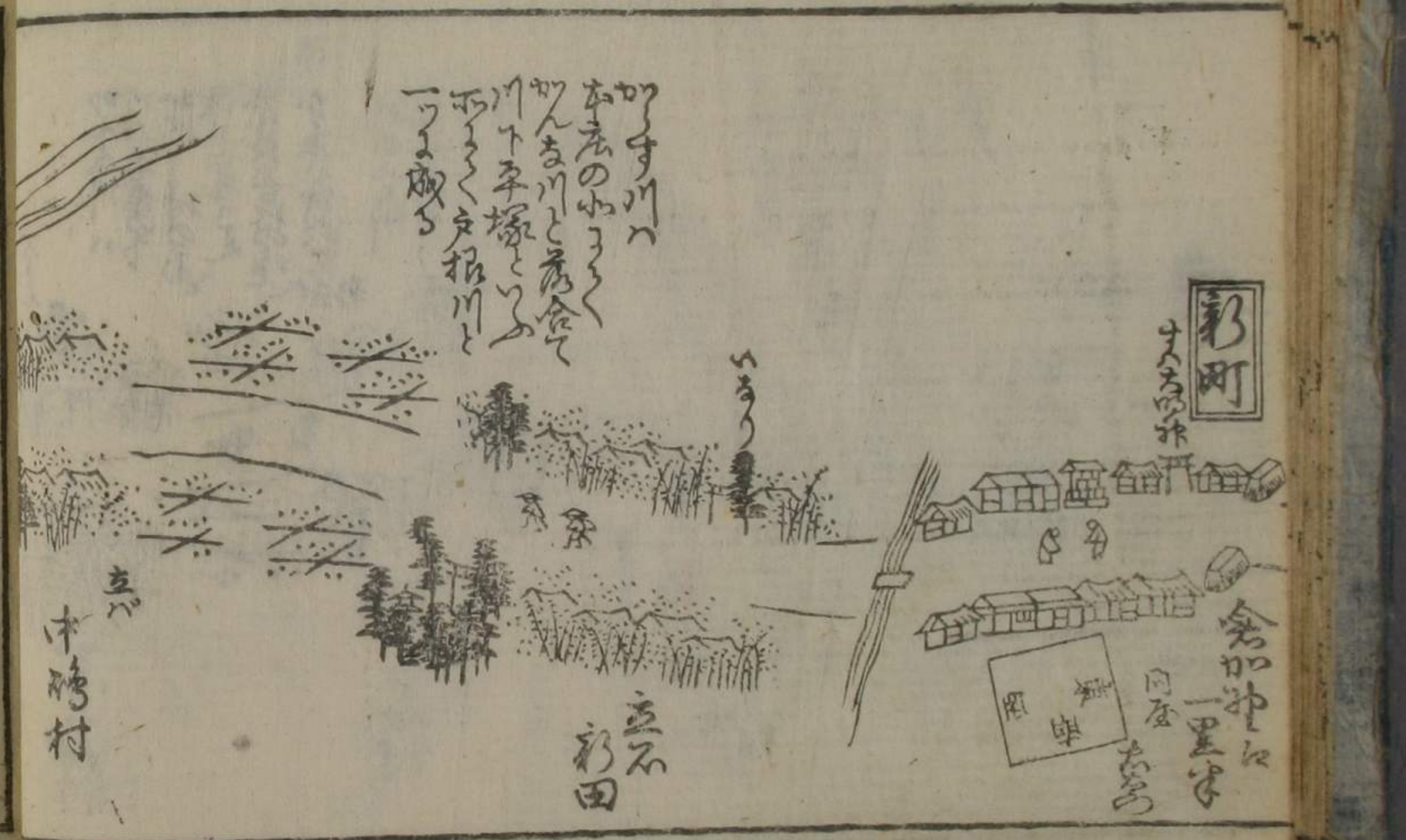


日光乃
たて林を
回りす

新田村

立寄
村

かみかみ



かす川
本庄の川
かみま川と
川下平塚
かみま川と
つらぬ

新田

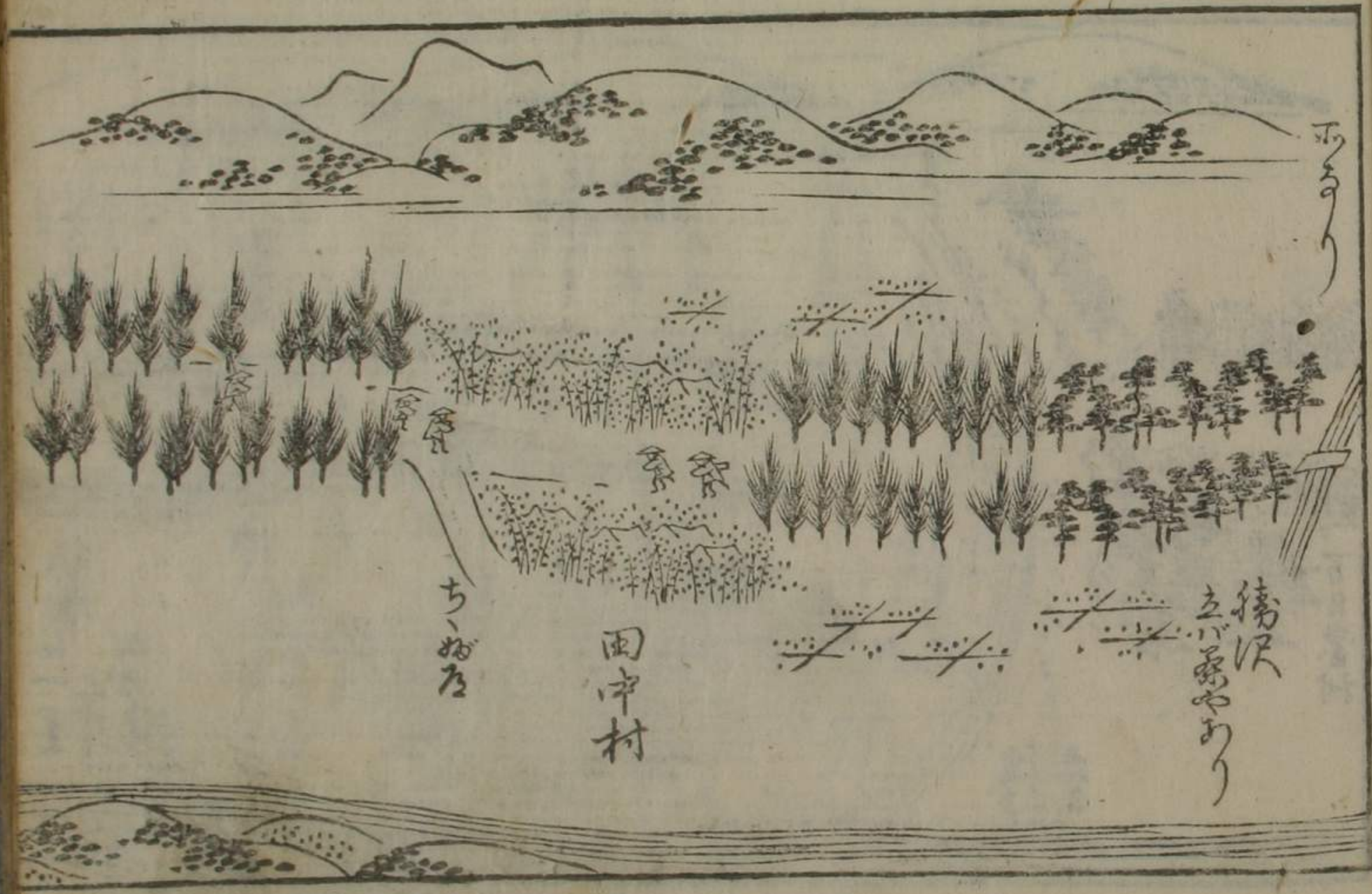
かみま川

かみま川
一里半

中橋村

立寄
新田

田舎



山あり

ちのち

田中村

橋沢
立派あり



会加野

右の
吉甲
あまの山
あり

佐野
あり
佐野の
再橋を
渡せし
あり
古歌
佐野原
佐野原
佐野原

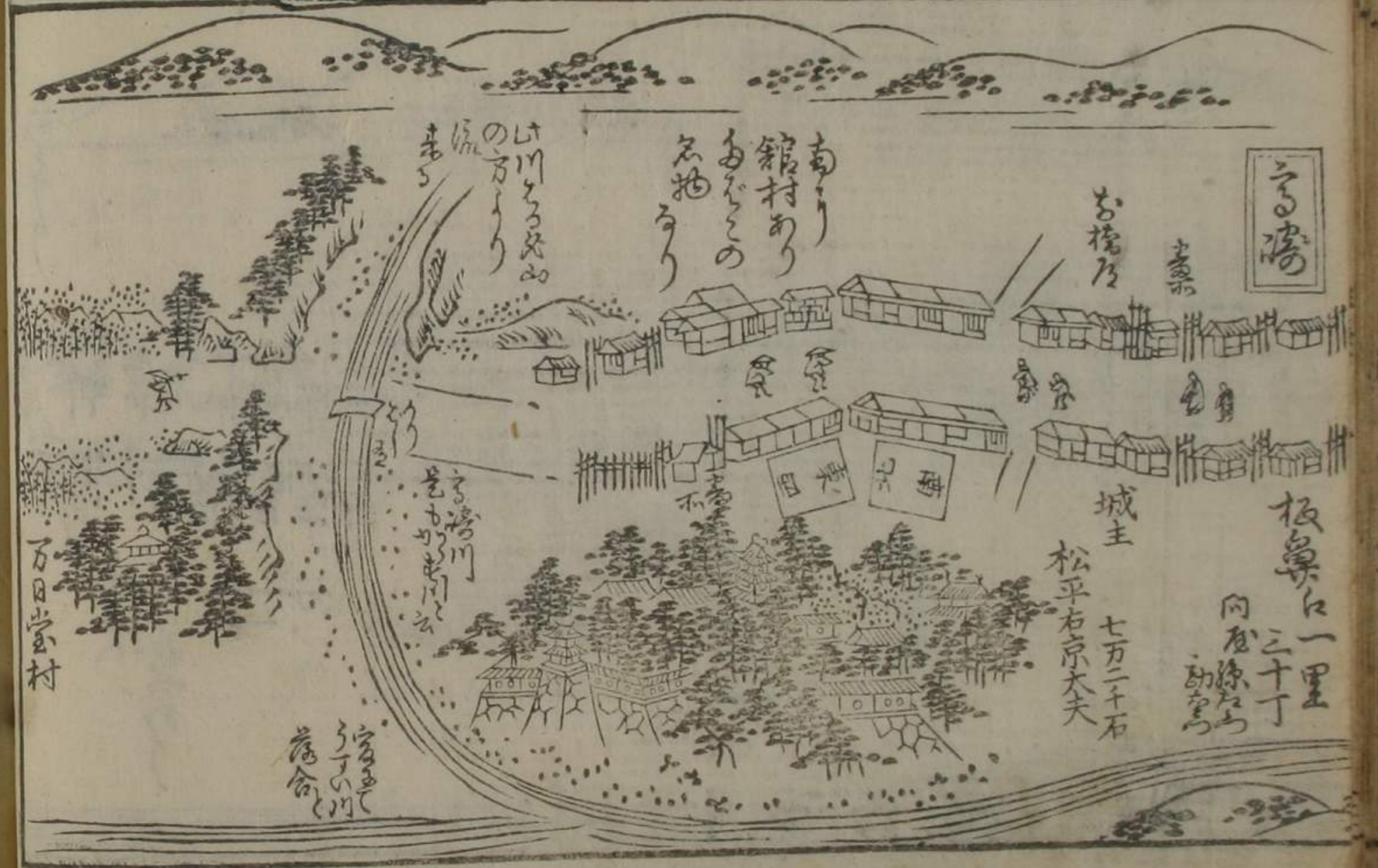
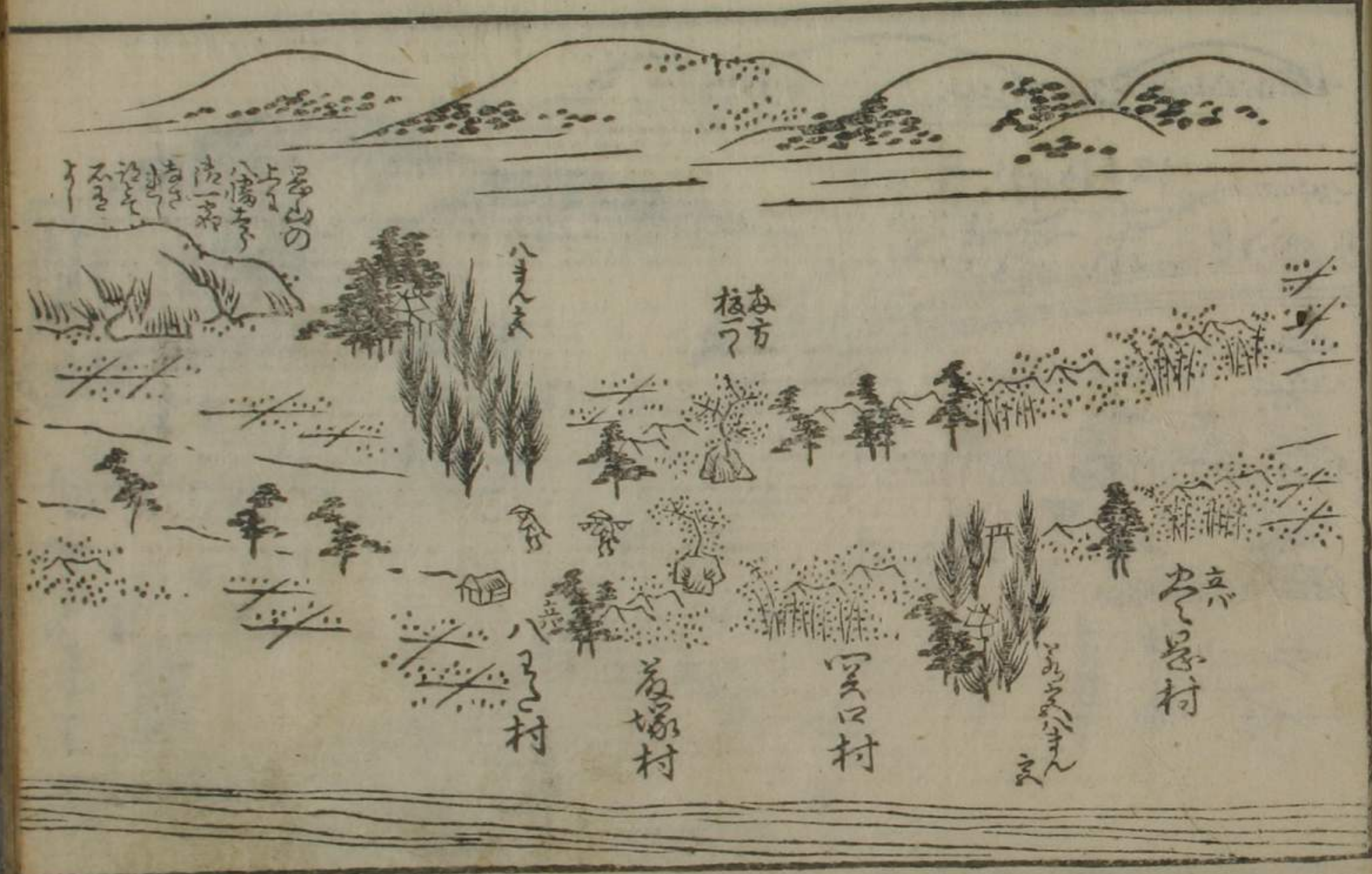
右板一
左板二

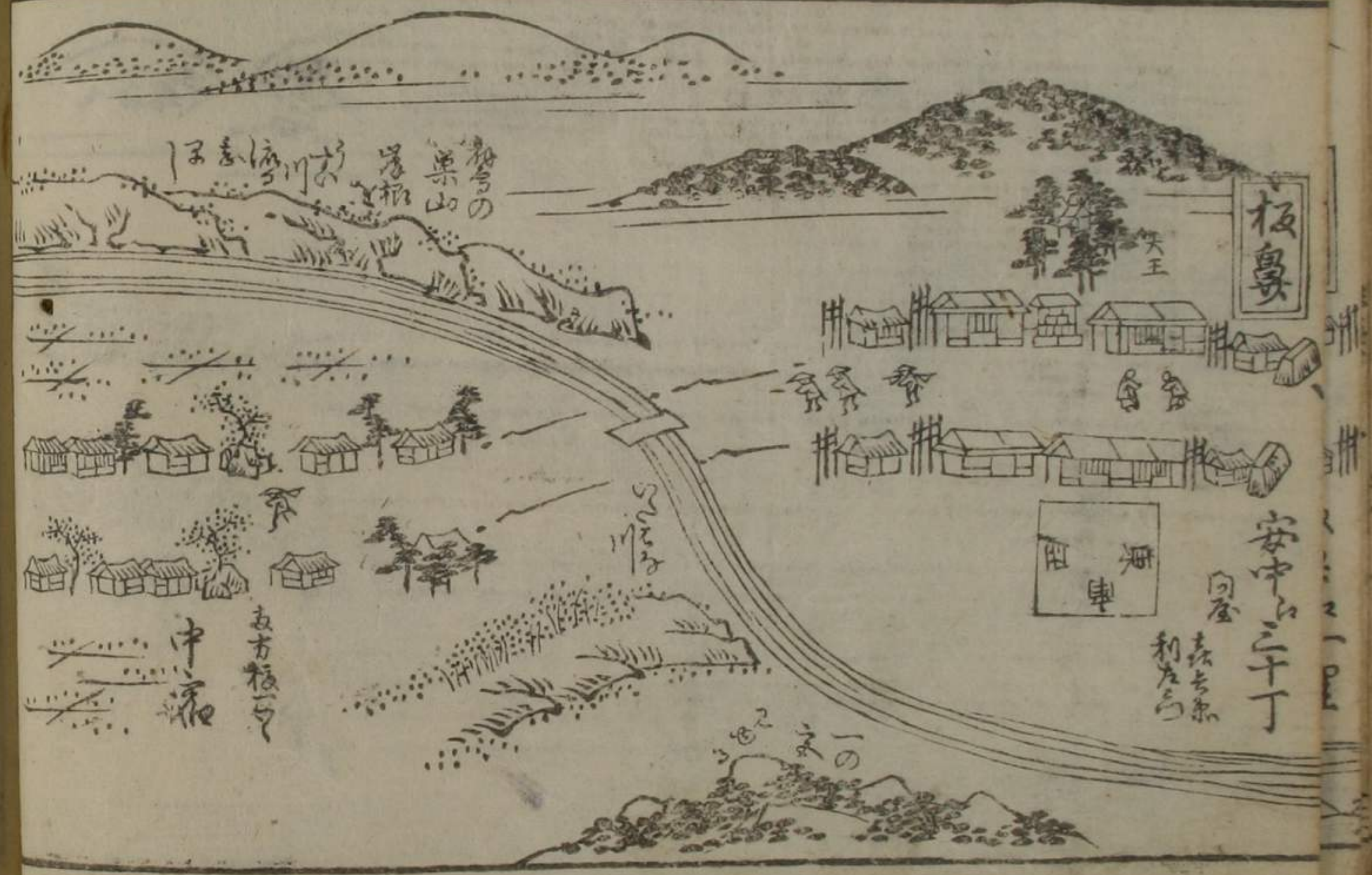
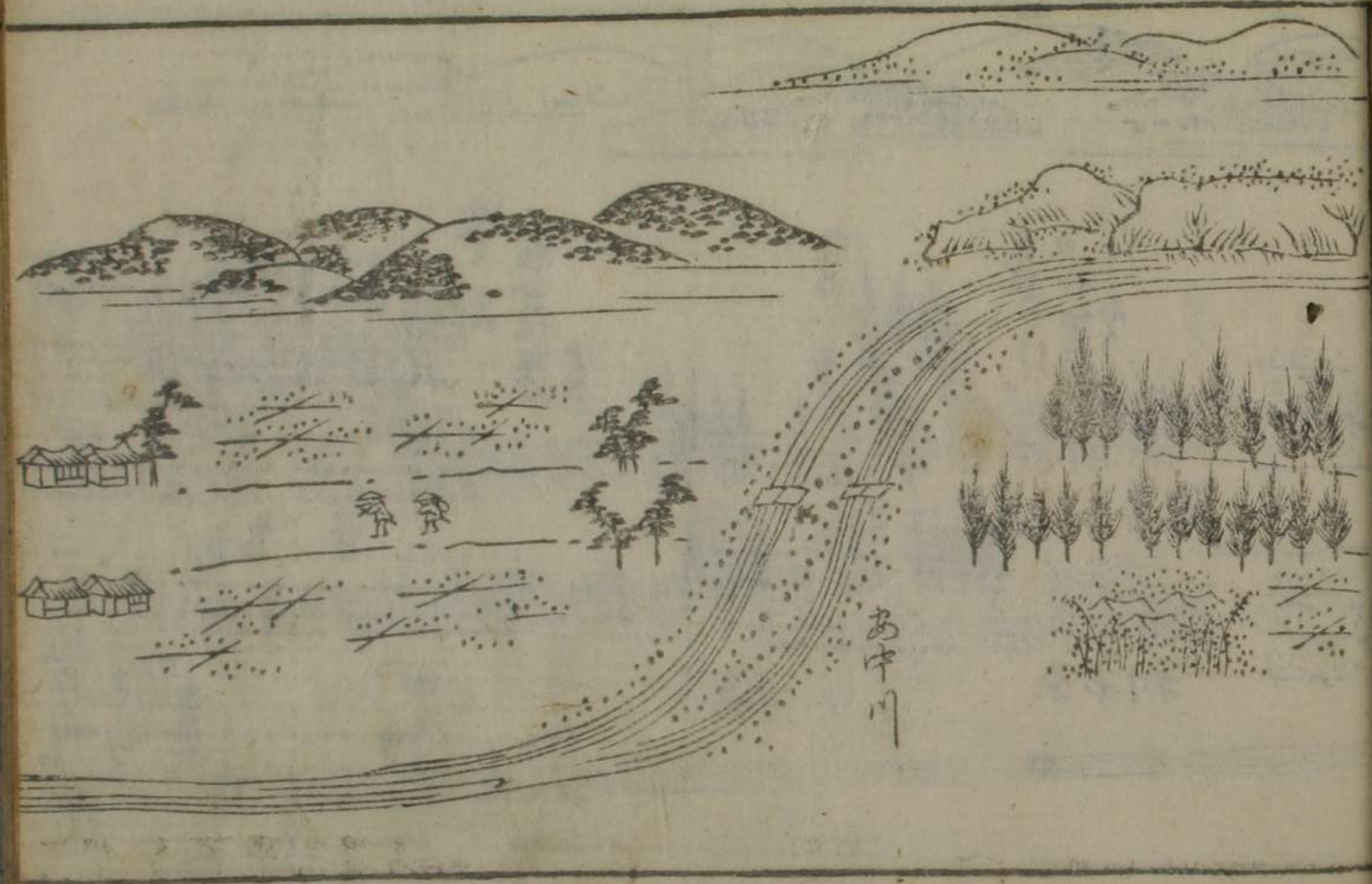
田興

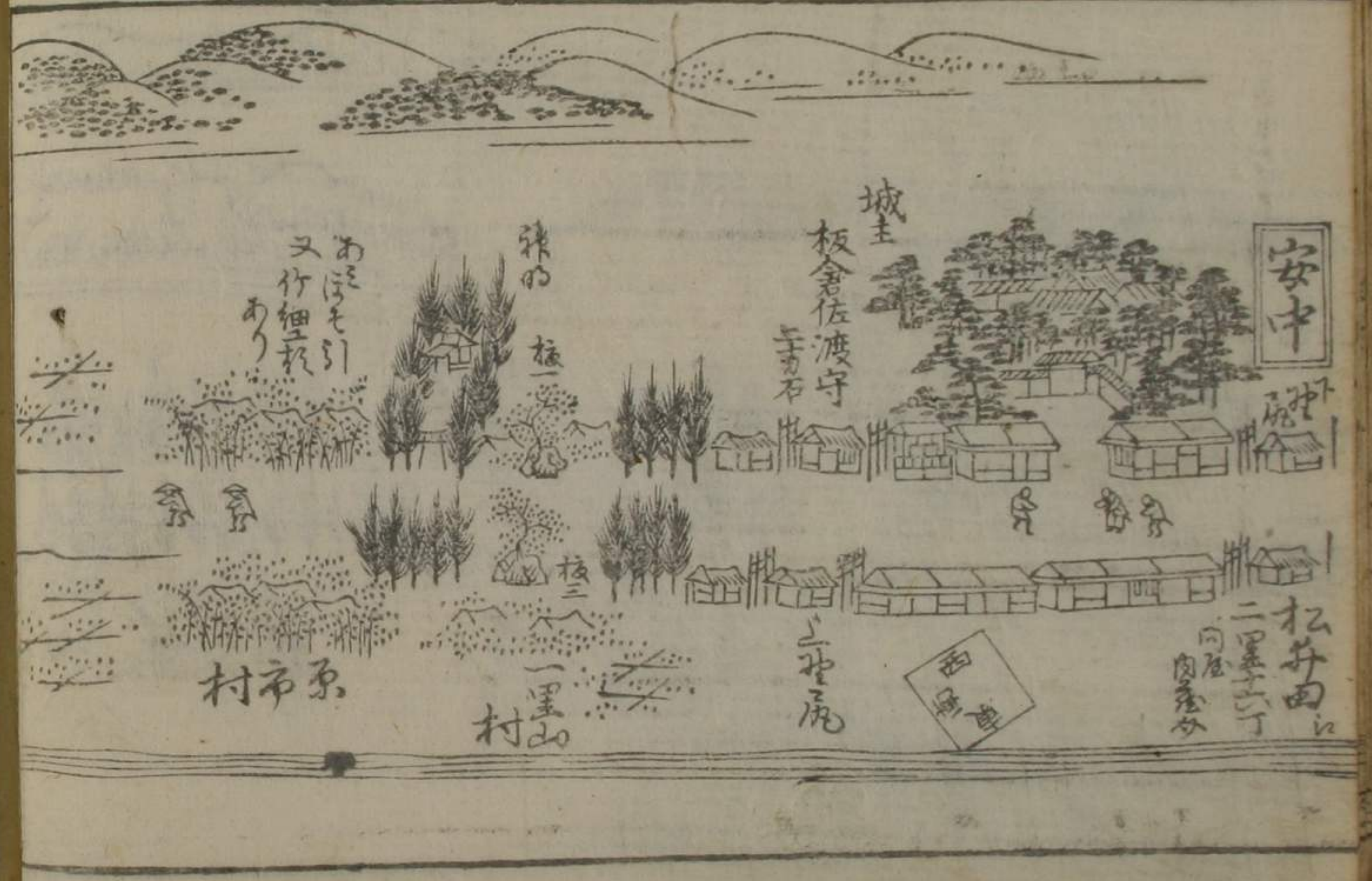
同
善
あり

一里十九丁

橋

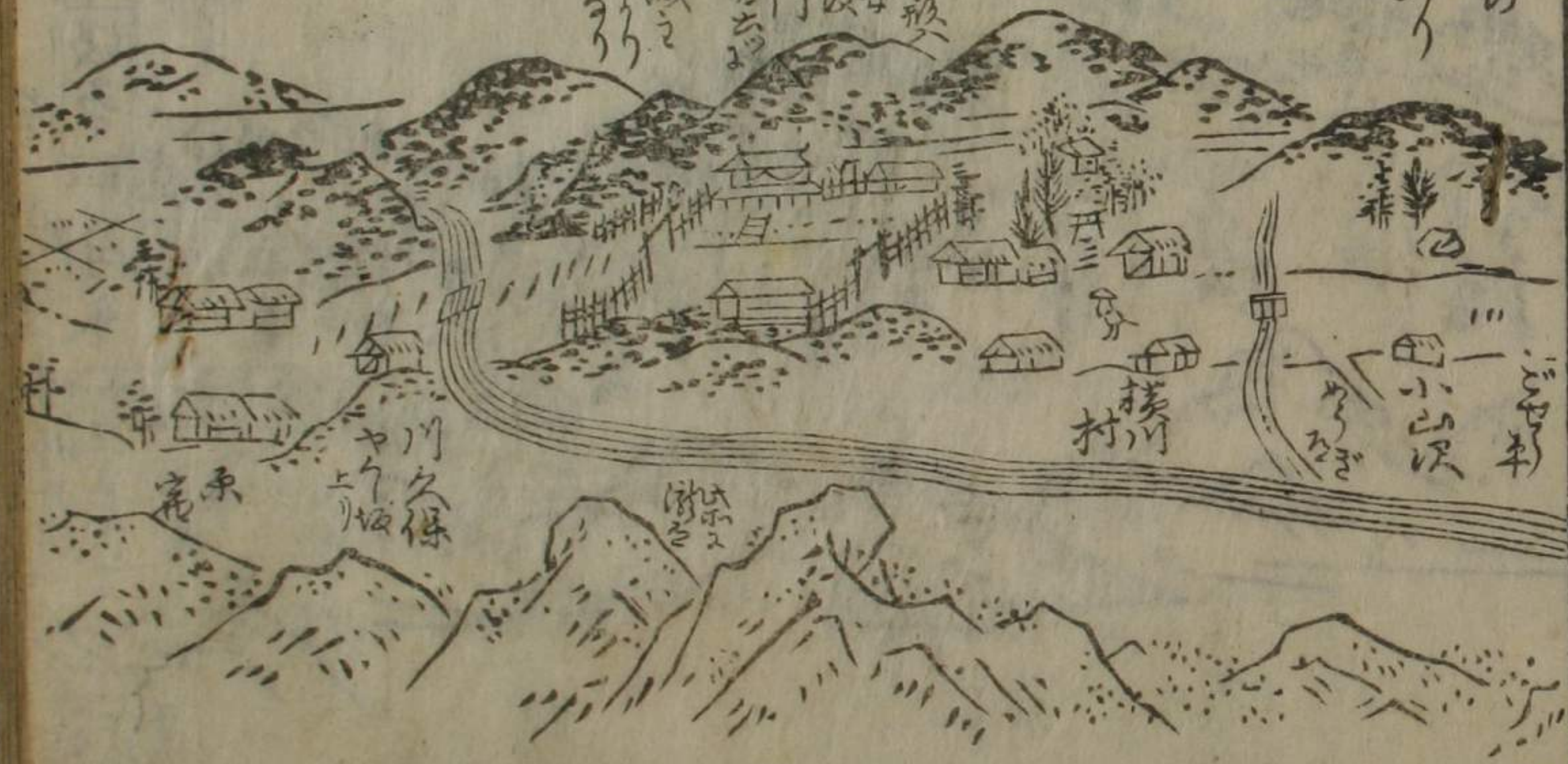






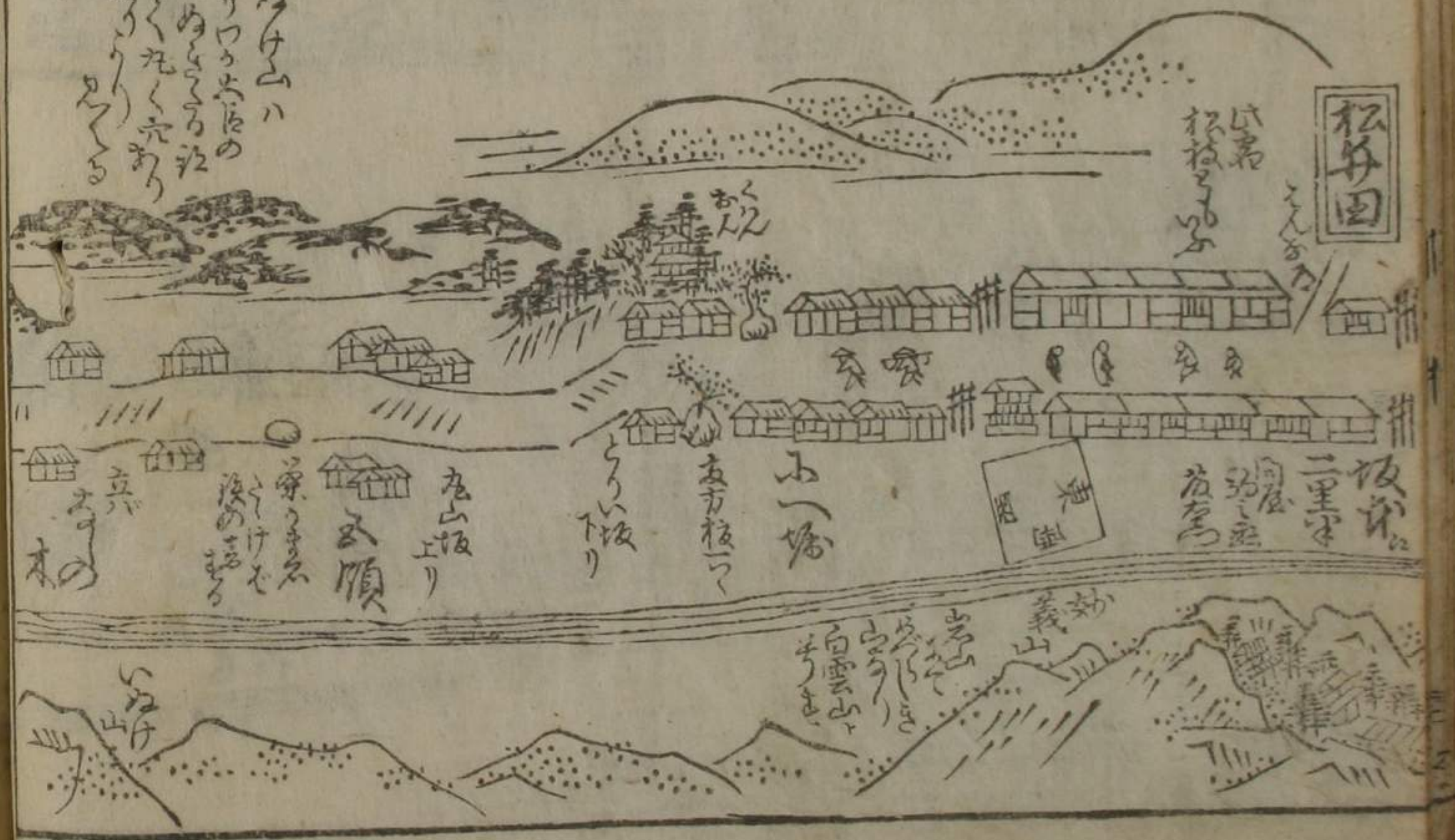
ゆりきの
足跡あり

横川
御所
上りの老木
上り下り廿
切石の改
ゆき門
おくき岩
志守
安中の城
勤者あり



いぬけ山
ゆり口の土居の
社めぐり
とくなくあり
登りあり
見ゆる

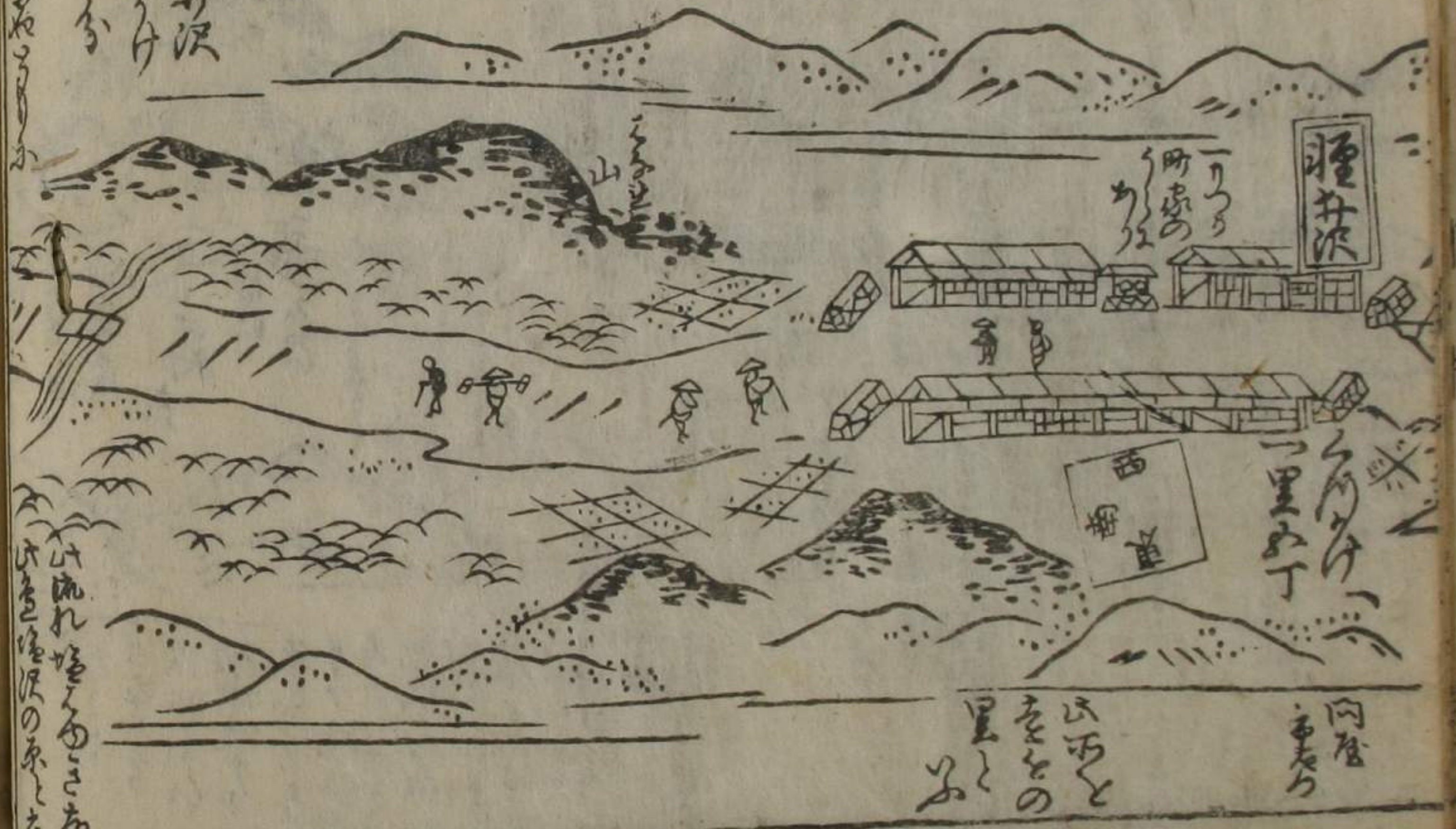
松林園
いり
松林園



浅間山麓の標高
 一〇〇〇と云ふ
 雄氷峰と云ふ
 十町斗より
 碓氷峠より
 三つ峠より
 此地は法皇より
 言ふ一丸位
 目下の内
 地形を
 子坂八海を
 山と云ふ
 四方の
 位は
 あり
 地勢
 あり



種井沢
 追分



此れは種井沢の原と云ふ

西
 里
 町

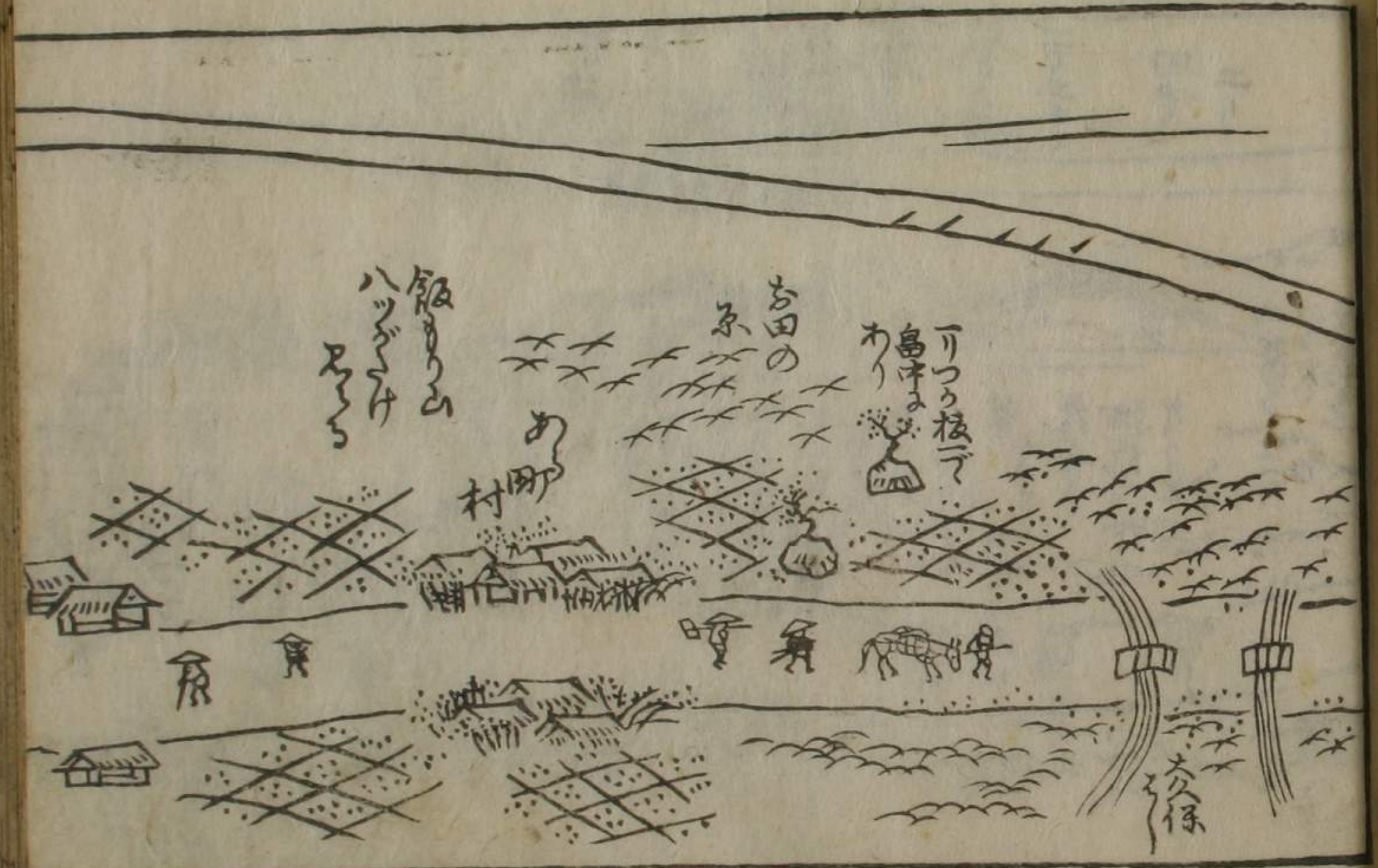
あさまの山嶽はさうさう
 空し〜と〜でも標の地
 山々ゆ〜と〜さうさうと
 石〜と〜と〜常々又煙
 立ちあ〜と〜のい〜の
 ようさ〜と〜又あまの〜
 けいさ〜と〜と〜あま
 生せん
 けいさのふま〜と〜
 けいさの中け〜と〜



あまの山嶽
 けいさのふま
 けいさの中け
 生せん

留掛

近き二里
 同
 まな



飯の山
ハツケ
アツケ

村

田の
系

ワ
高
ワ

野
馬

大
係

本巻と小巻乃
分るて改め退分
善光寺十八里

怪井次之のけ
退分之善乃
善光寺と斗東西
二之節に平らなる
座の甲の巻を高く
不穀生や只只稱
そく斗生はあふ
富や又葉の本
る一氏家も
枝本有一宅又
不老の地と云



退分

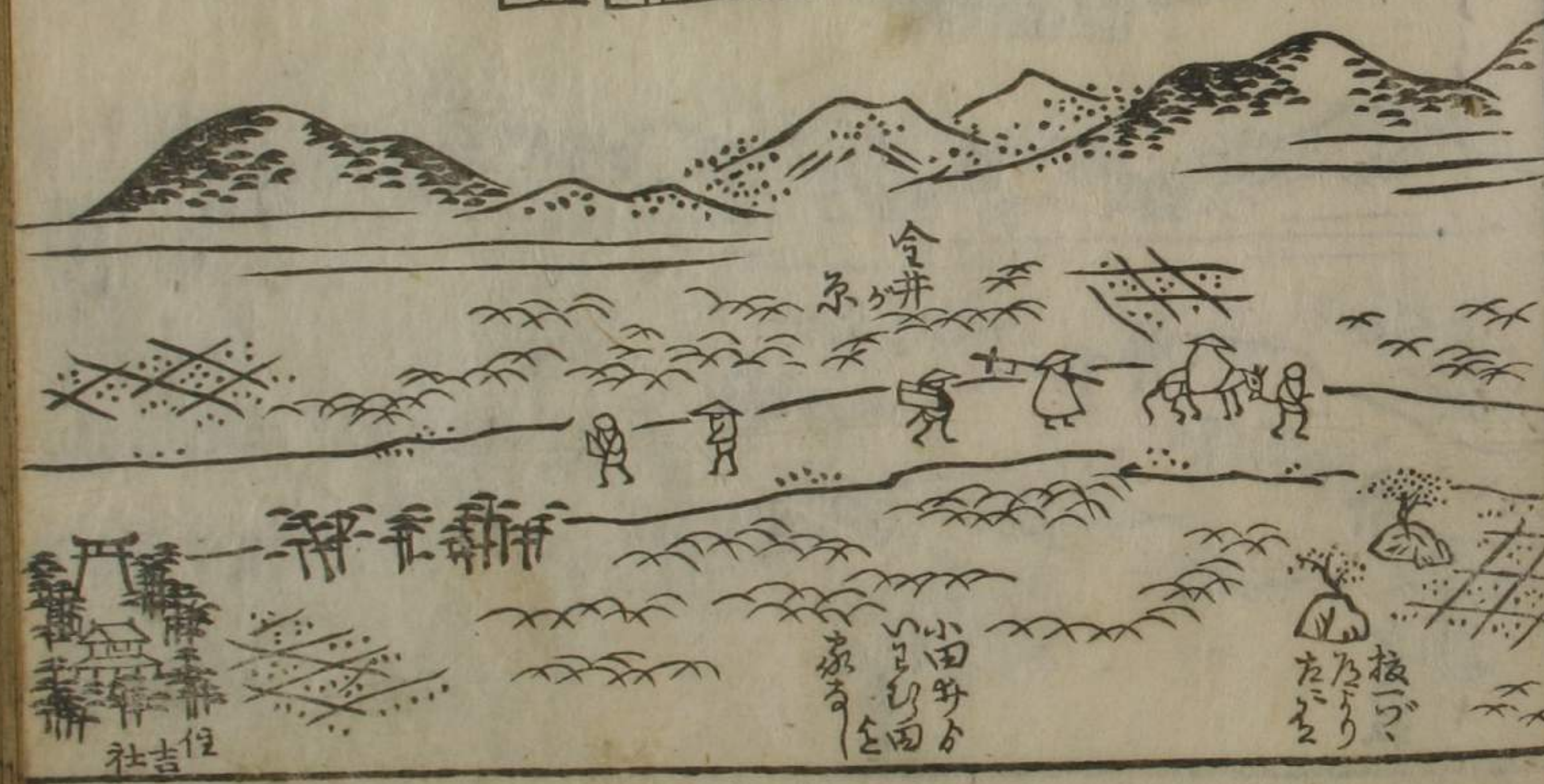
善光寺
十八里

小
法
三

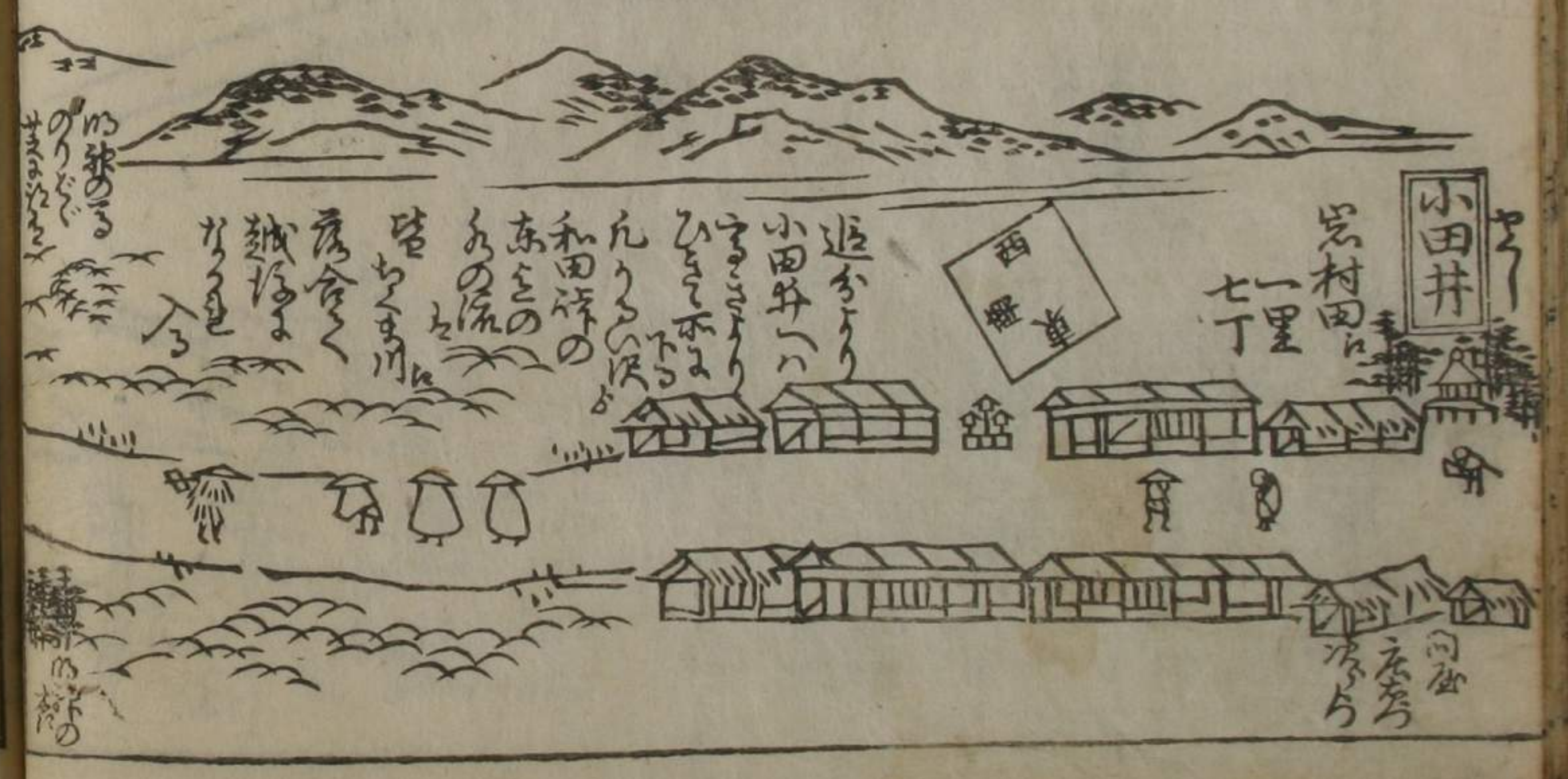
西
煙
堂

小
田
井
二
里
十
丁

二里 上 中田



二里 中 正 牧野内宿 小渚



坂本

坂本



下塚原村

新塚原村

平塚原村

右板一
たある

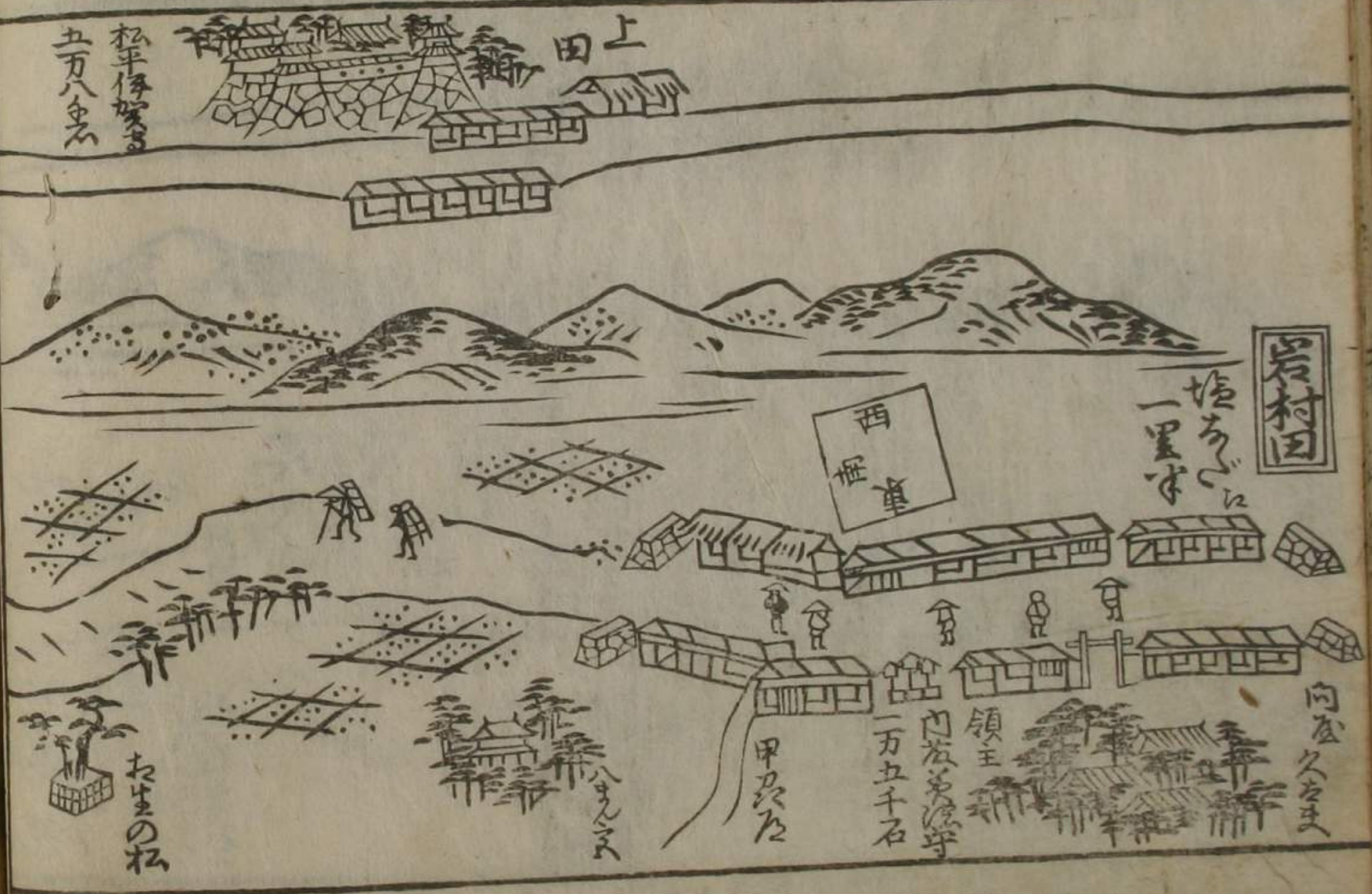
松平修徳
五万八千石



岩村田

塩釜
一里半

西
西



向
久をま

領主
一万五千石

甲及

お生の松

丹波 代



若澤先上人
と云く倍平
六重四七板
は地より高塚
と築ては花
細く初て

代 倉戸



塩名田

ちんま川
左の
右の

みまら村

下原村

世七丁
回
女

大内林

川
の
り
り

若菜の町
旅やちの
他やちの
すのちの
とちの

川下
川の
川の
川の



丹波
一
丹波

小
の
早
あり

返分

乃丹波
山

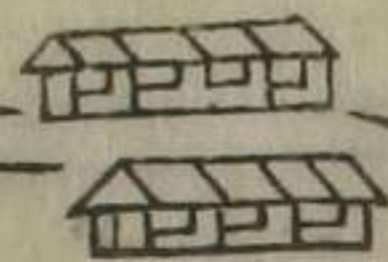
八
橋



西
橋

同
三十三
月

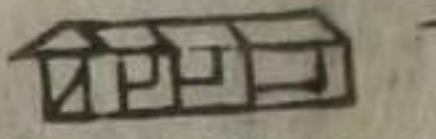
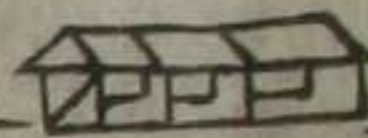
あま
さび
り
おこ



神

村

い
り
おこ
り
おこ
り
おこ
り



代
の
右
城



東
田

同
や

一 柳 系也 會田



三 柳 柳



松本
六丁
墨田



南の方
大門村
大門津
伝吉と
すいの
小笠原と
合戦を
利



山

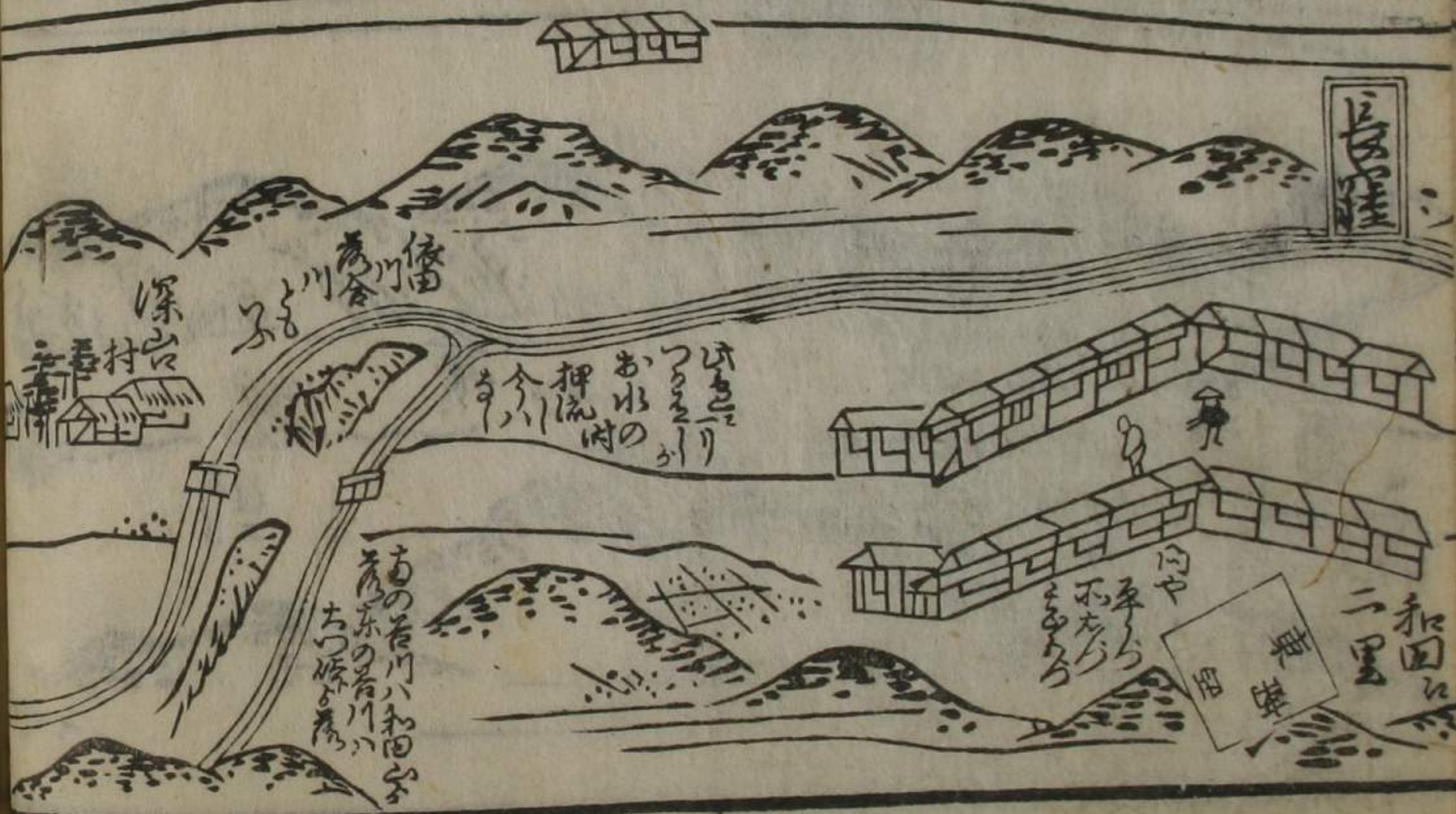
山

山

山

山

七丁
墨田
おの



長

深谷
子川

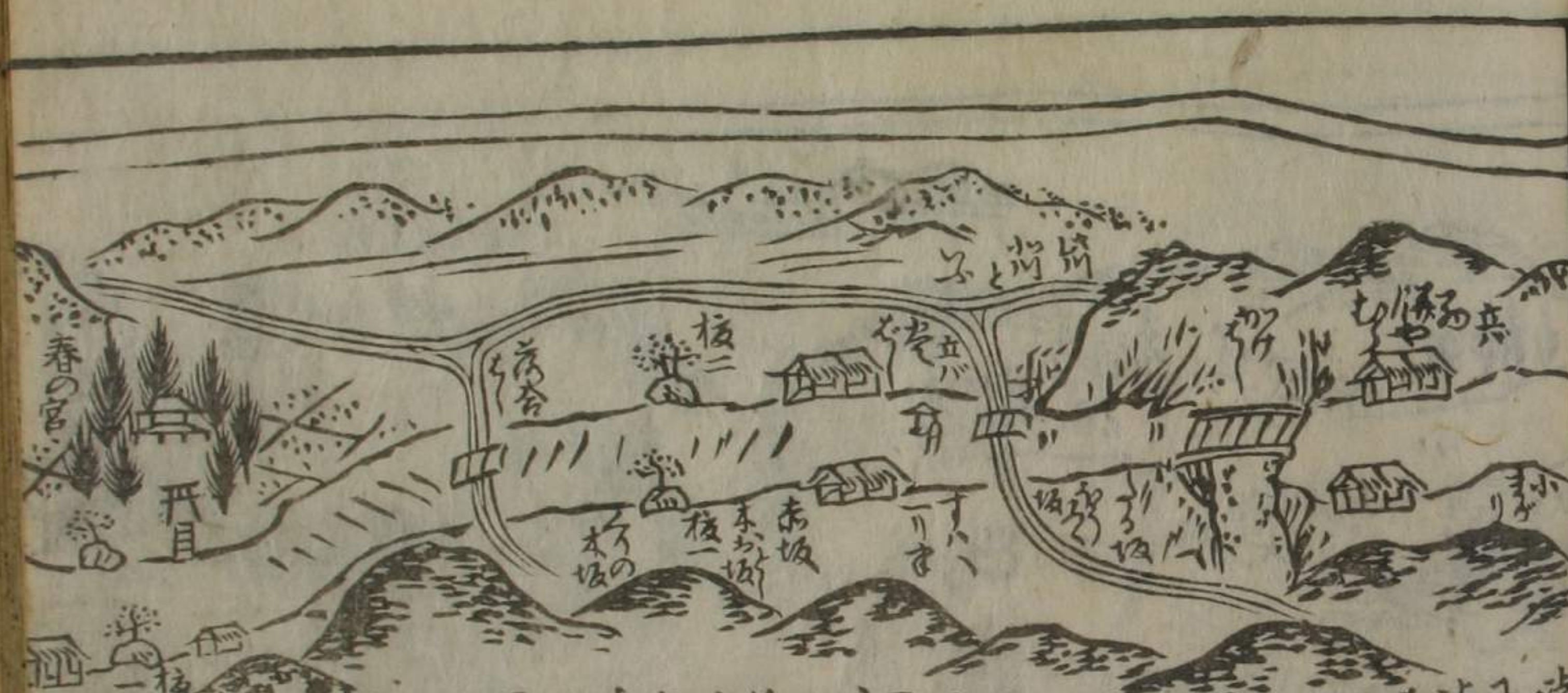
おの
あつり
あつり
あつり
あつり

おの
あつり
あつり
あつり
あつり

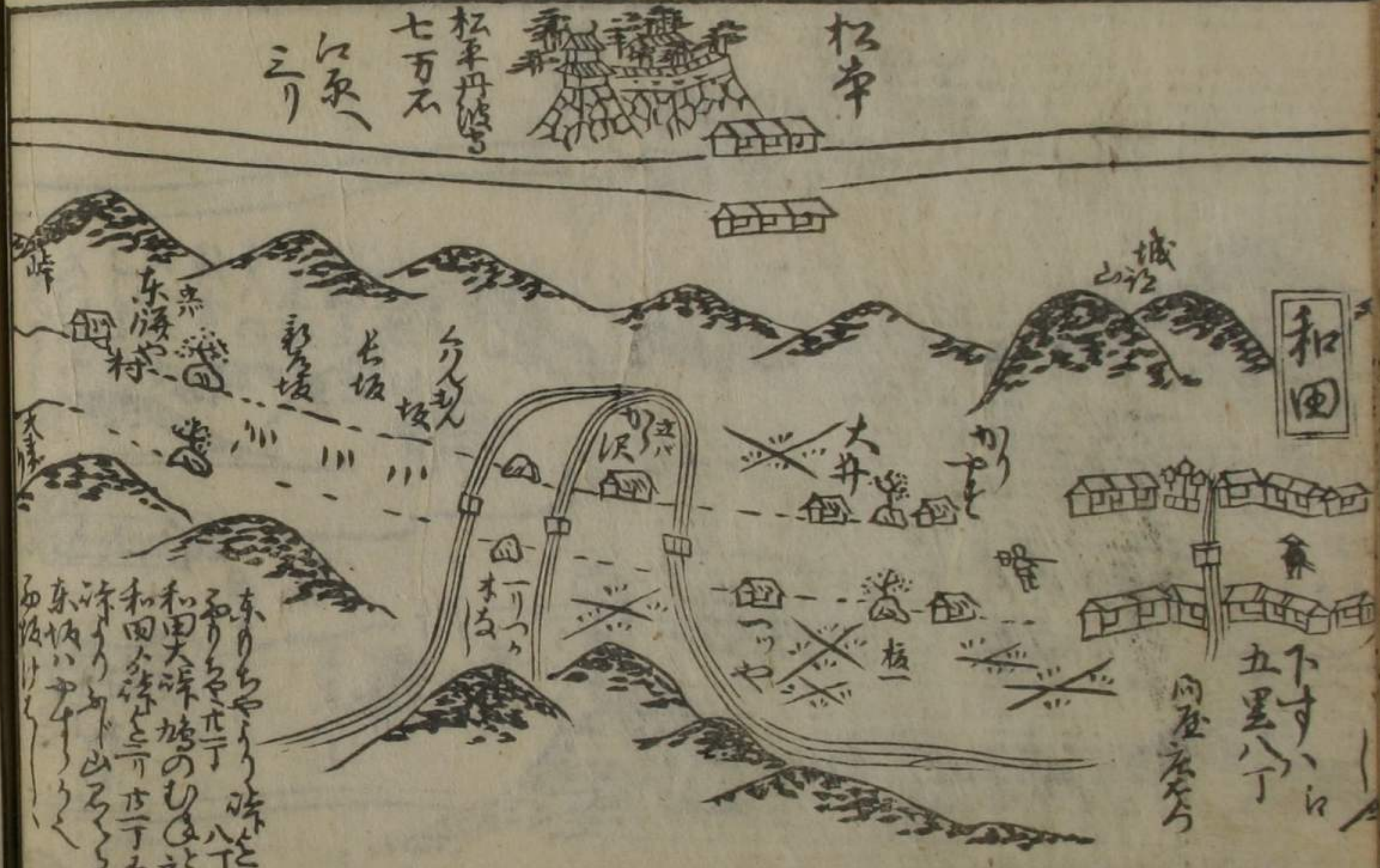
おの
あつり
あつり
あつり
あつり

おの
あつり
あつり
あつり
あつり

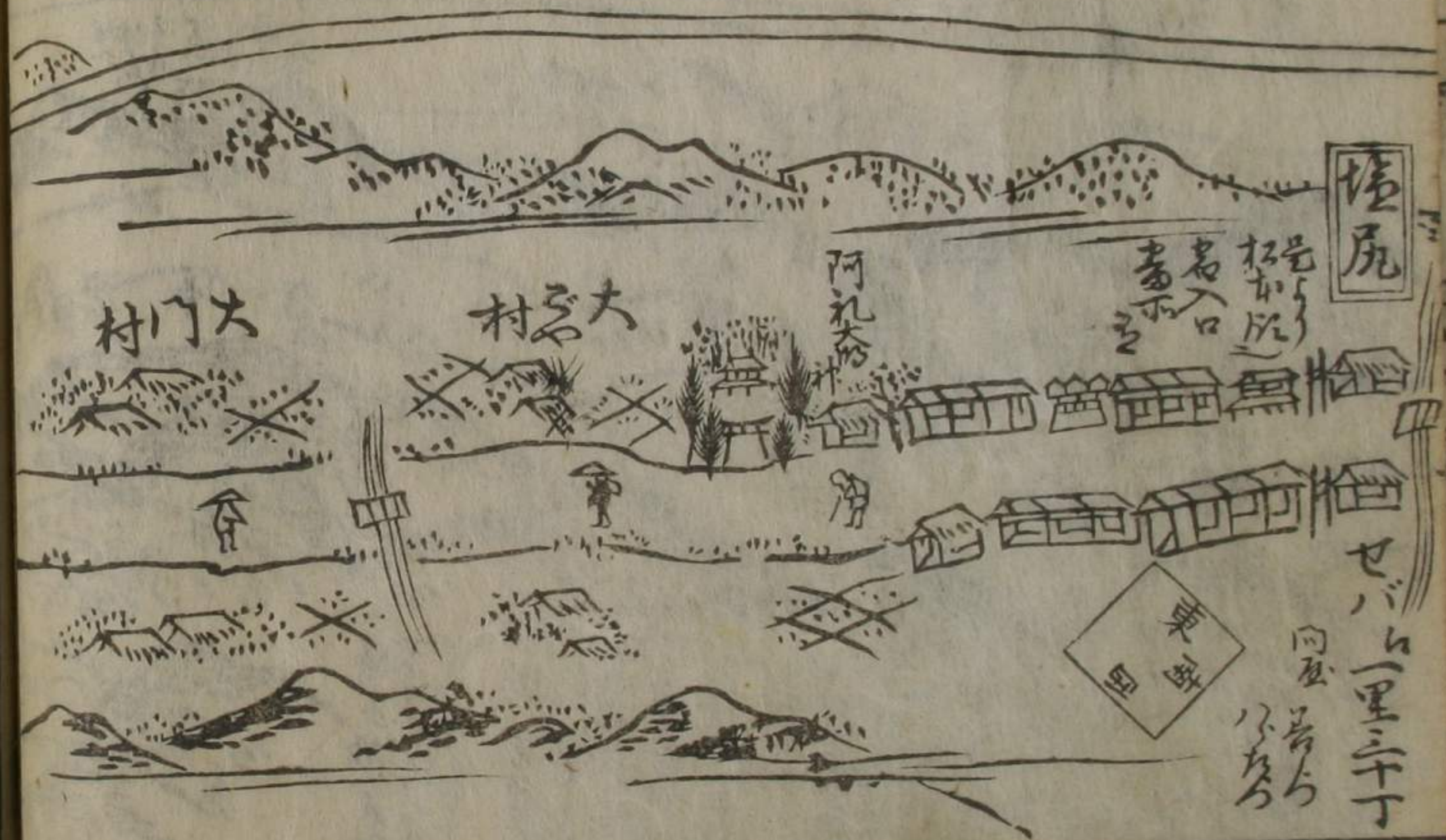
おの
あつり
あつり
あつり
あつり



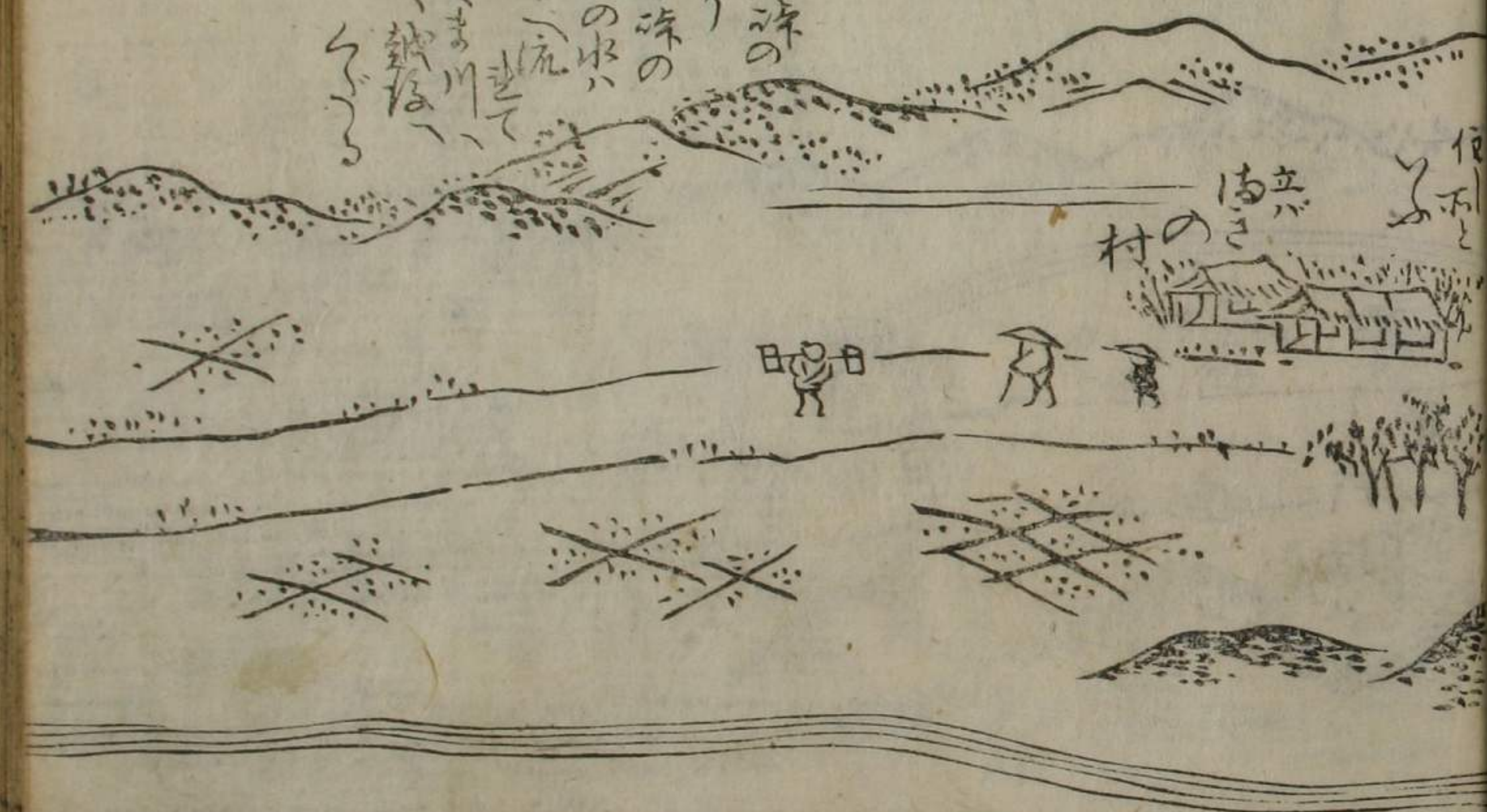
下の坂清大の神社
 五百年
 正月朔日よまのま
 うつしなつ七月
 秋のまこつし
 七月朔のま礼あり
 上のすいりま
 上のすい年中
 沖まのま三月
 西の目大沖まあり
 麻の麻七十五
 社所千
 上下の社
 七年二月
 とて大あり
 四月申寅の月



東のちやう
 和国大津城の
 和国大津城の
 東のちやう
 下すは
 五里八丁
 同登
 下り坂
 下り坂
 ありてま



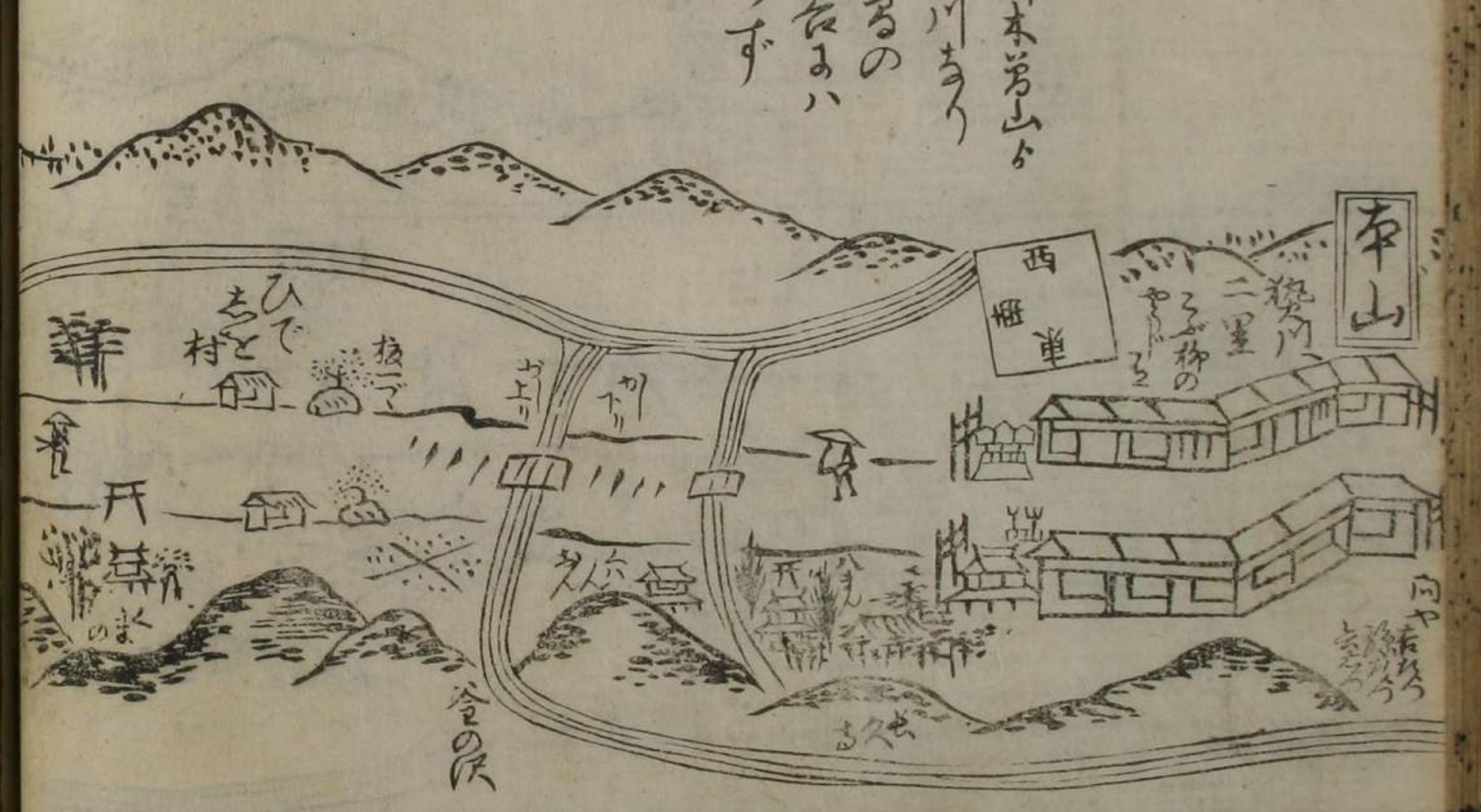
塩尻の
 町
 塩尻の
 東の水
 谷川
 ちくま川
 入る



小沢川
 今井の
 善平の
 子
 あり

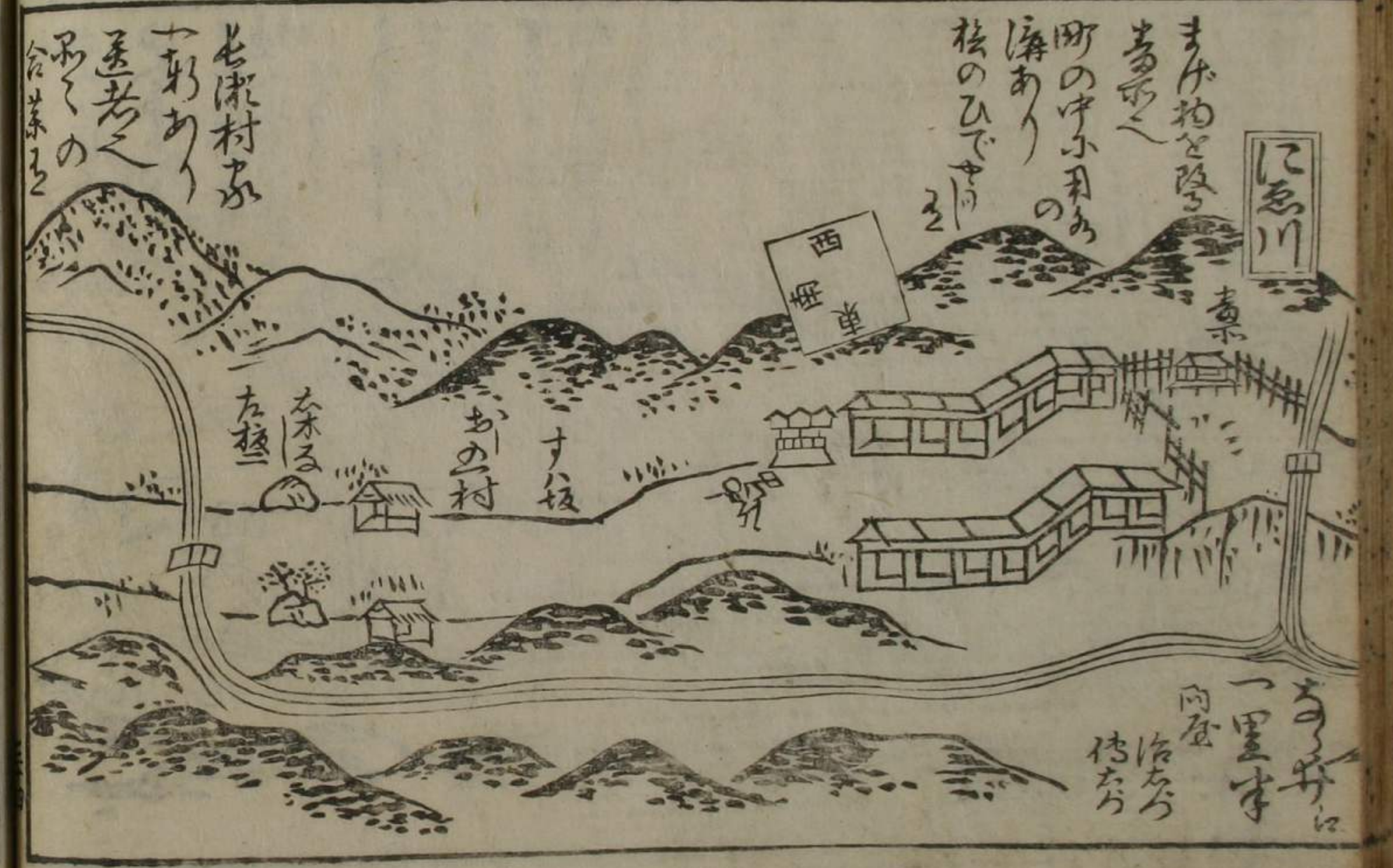
洗馬
 大田の
 義仲の
 子
 本山
 二十丁
 西
 車
 伝
 子

は川本若山々
物産川ちり
本産の
あらず



境は...
さく...
山...
木...
茶...
又...
三月...
一...





け者
らんおき
そのおき
めつ物と多く
はらう

法目大の神
神の六月廿日

多居神ハ
伝主の財分
合戦場
上り古二丁
下り三十一丁

名井流

むし
山嶽の名井
五十一丁
名井流

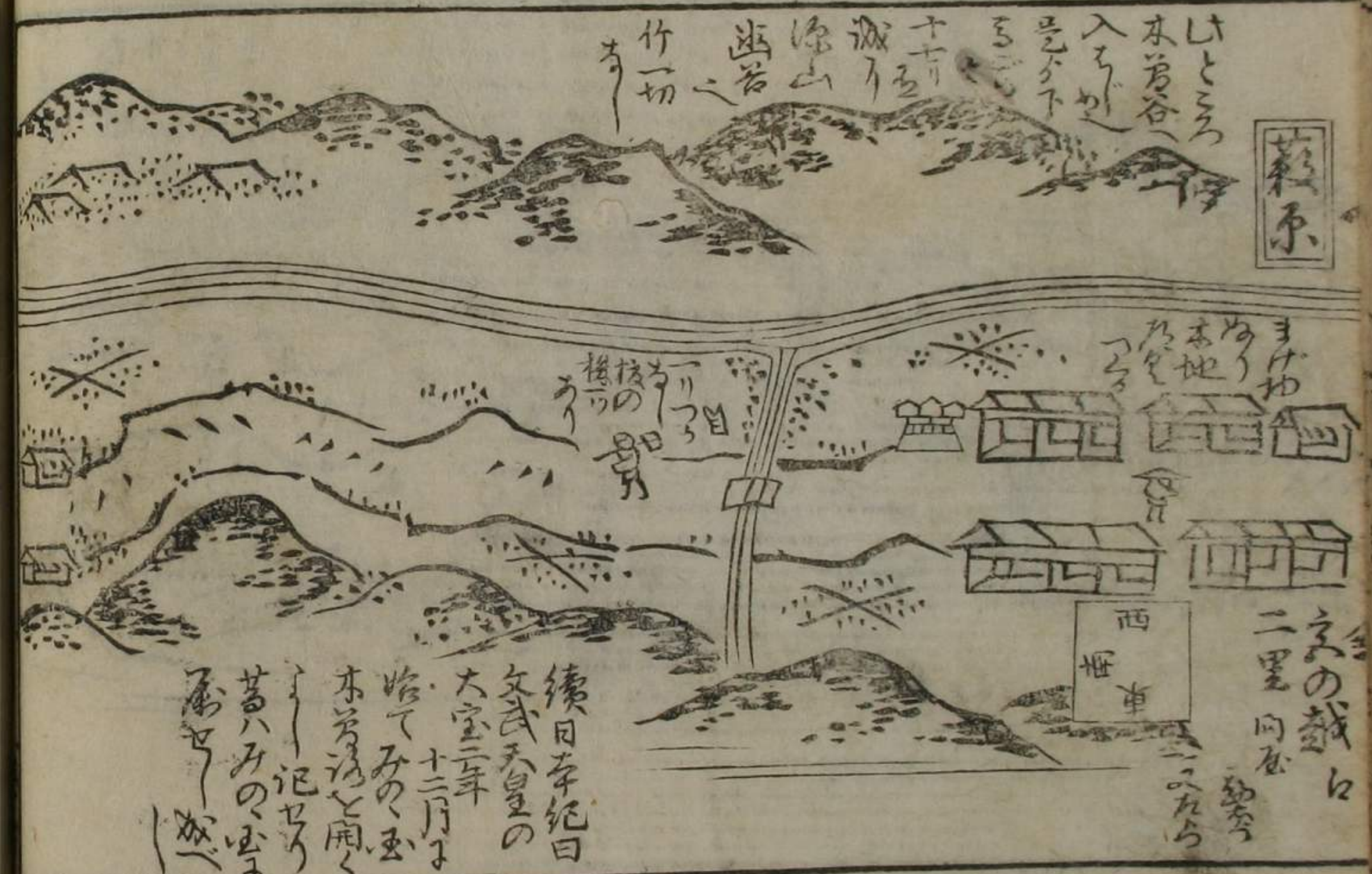
飛騨
十九日
基盤
るは牛に
空て坂と
上下す

是より
本吉川と
初て
忍



新原

けとろろ
本原谷
入るが
まふ下
る
十七
源山
函岩
竹一切



まけ物
乃地
二里向
文の越
西車

續日本紀曰
文武天皇の
大宝二年
十二月
始て乃の玉
本原谷と開く
一記あり
昔八乃の玉
原と云ふ

是より
亦若川
左より

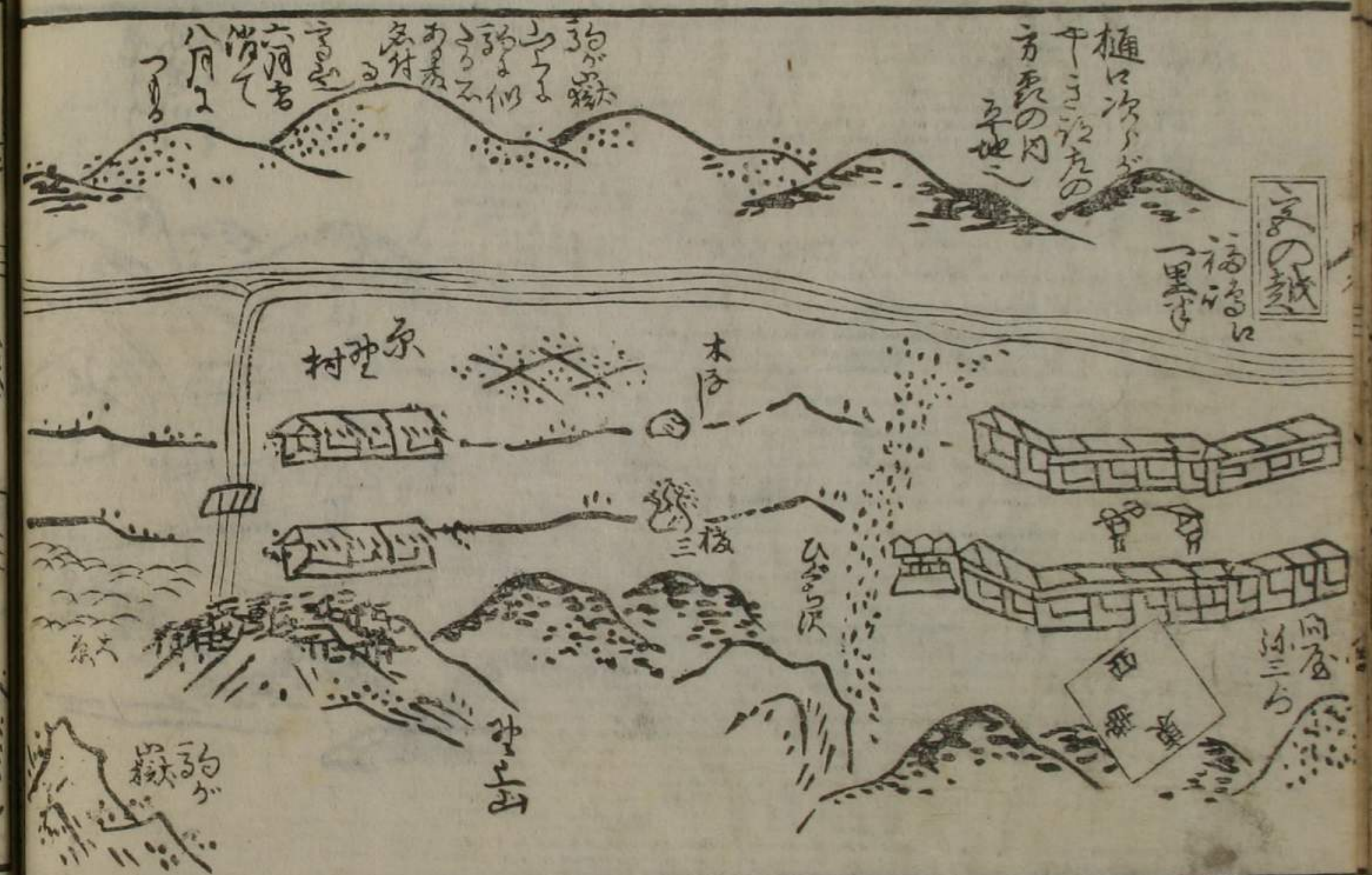
公儀の社門
あつたの
山を文の尾
りふ山と平
るる山と
今や城の
あり

徳田ちよ
巴山吹り
春あり
巴山中さ
いふも
亦若川又
ちよる





田舎平
 又本首の
 仲三義を
 登志江
 茶伴三
 母抱て
 信長ま
 義をを
 ねーく
 義育て
 ひかぬ



約が嶽
 上り
 約が嶽
 八河者
 八河者
 八河者

植は次が
 中三治九の
 方長の内
 平地

文の嶽
 福の嶽
 一里

約が嶽
 村本
 木口
 三枝
 ひさし
 同三
 西番

福清

河内所

往來の老

女改流地改

清安の石

山村志志集

毎月六日奉まじりて名物

福清の所と

おんげとつら

あつたまも

け川より枝本

上松

同本

田舎

名物

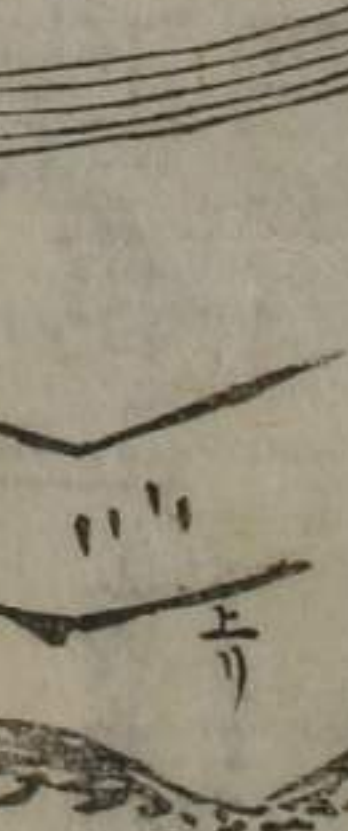
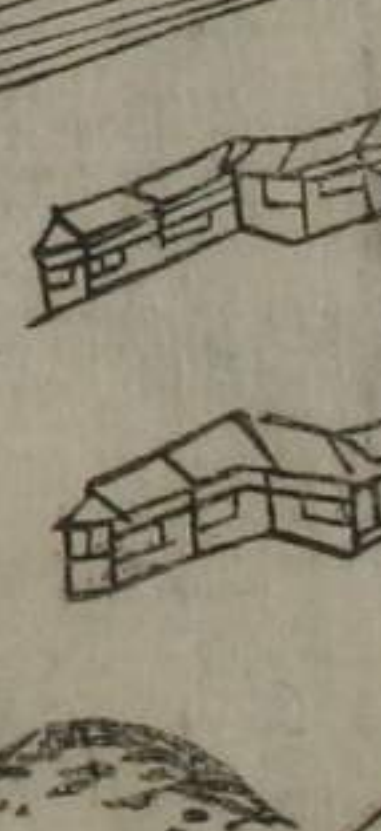
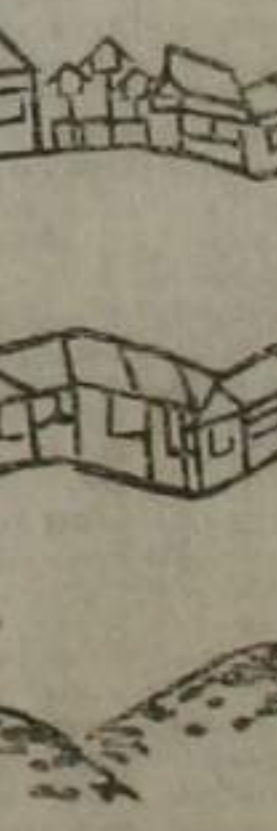
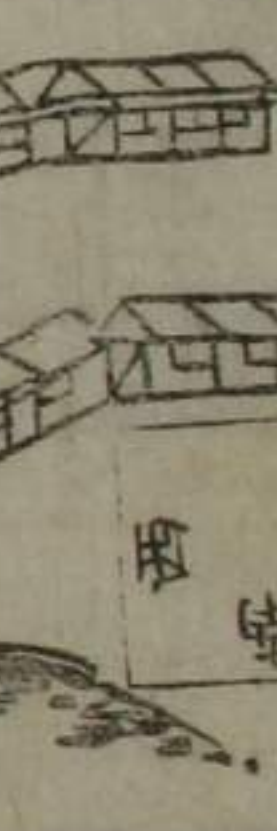
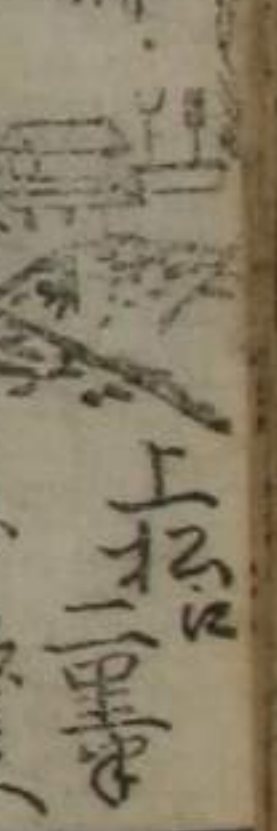
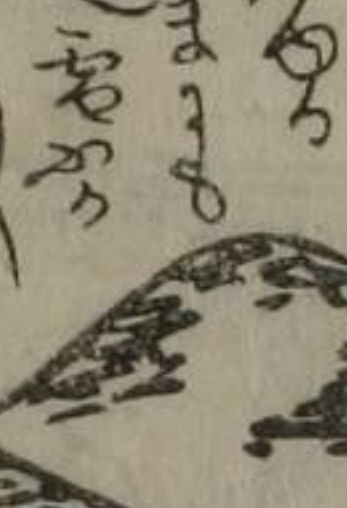
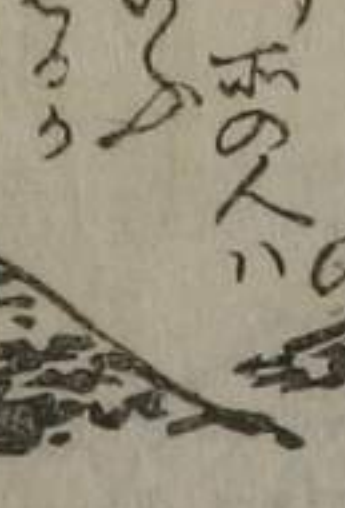
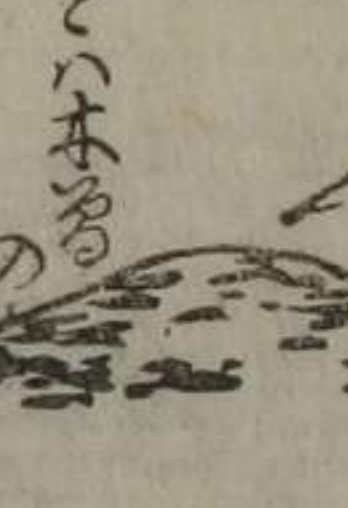
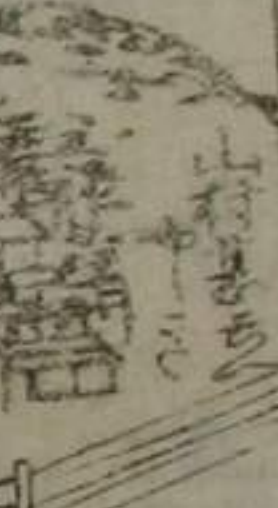
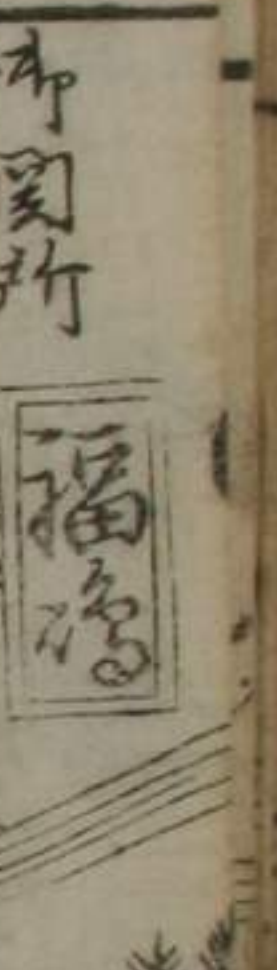
村

あつた

け川

あつた

け川



本所の川と

り合ふ合後

本所の川と

り合ふ合後

本所の川と

り合ふ合後

本所の川と

り合ふ合後



寛保元年
辛酉十月吉辰
是れを彫りて

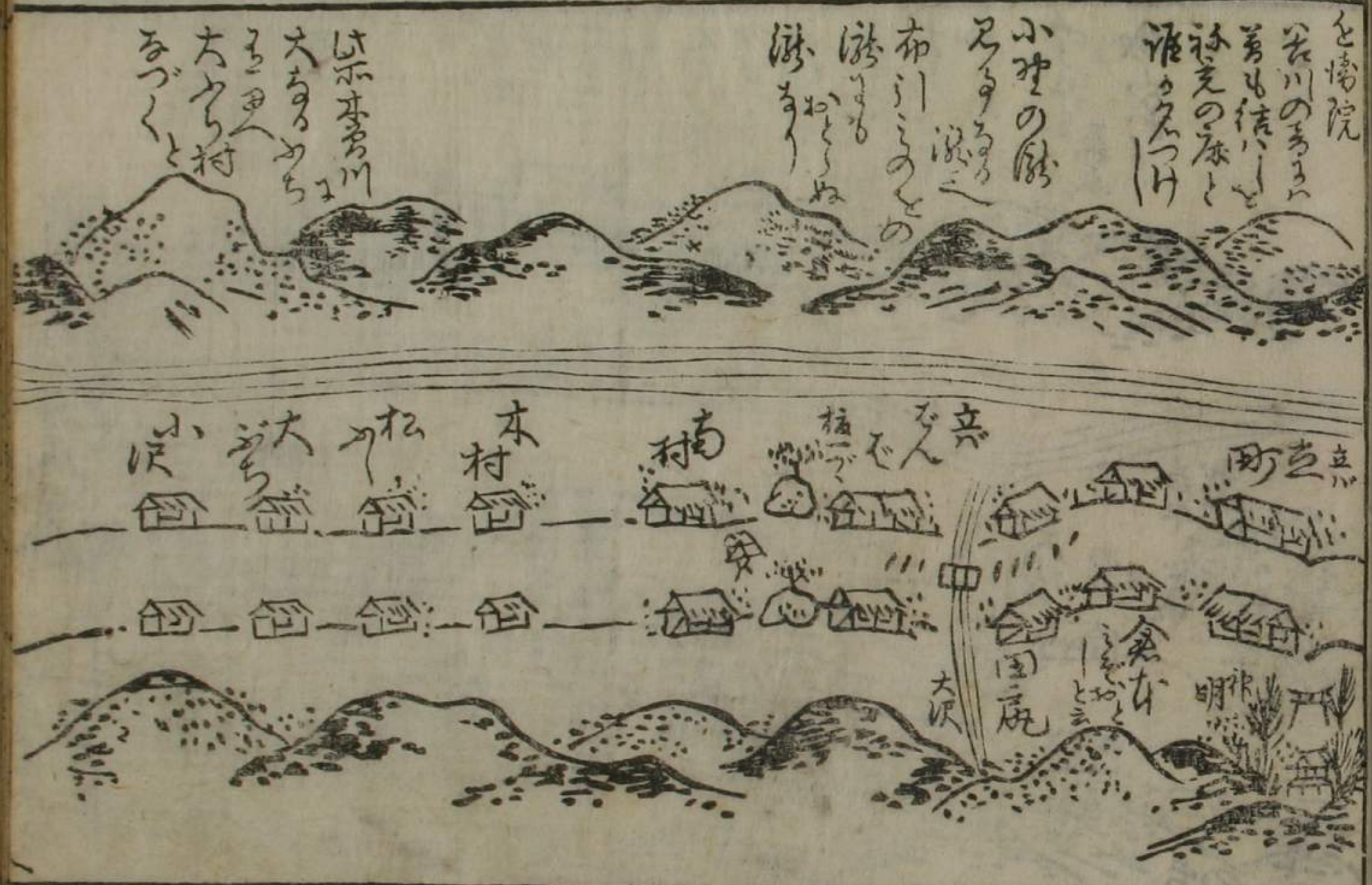
此石垣
慶安元
戊子年
六月良
辰成就
馬畢
又
本所の川と
り合ふ合後

上松



此是の原
松原の原
下原の原
下原の原
下原の原
下原の原
下原の原
下原の原
下原の原
下原の原

次原
之里九丁
同原
之原
之原
之原
之原
之原
之原
之原
之原



を橋院
谷川の
弟も信
松原の原
松原の原
松原の原
松原の原
松原の原
松原の原

は亦本
大なる
大なる
大なる
大なる
大なる
大なる
大なる
大なる
大なる

小松村
大松村
本松村
本松村
本松村
本松村
本松村
本松村
本松村
本松村

大松
大松
大松
大松
大松
大松
大松
大松
大松
大松

宣勝寺
本秀氏の
寺あり

須原

か井ハ
なりり
右より
元源の印
大あまて
今井のき
今井のき
かの
たより
つらあり
今井の
城あり



冥山より
坂の上より
かけり
昔はあり
冥山あり
冥山あり



本宮城の山
又々々々々
山々々



和合
作
能
り

見この



延喜
出水の

西
東
山

本所の内
竹のう
い名大敷
大竹あり

書

書新分末着川
あゆみきく
流連たは末着川
はて書新分
新分末着川
きくする



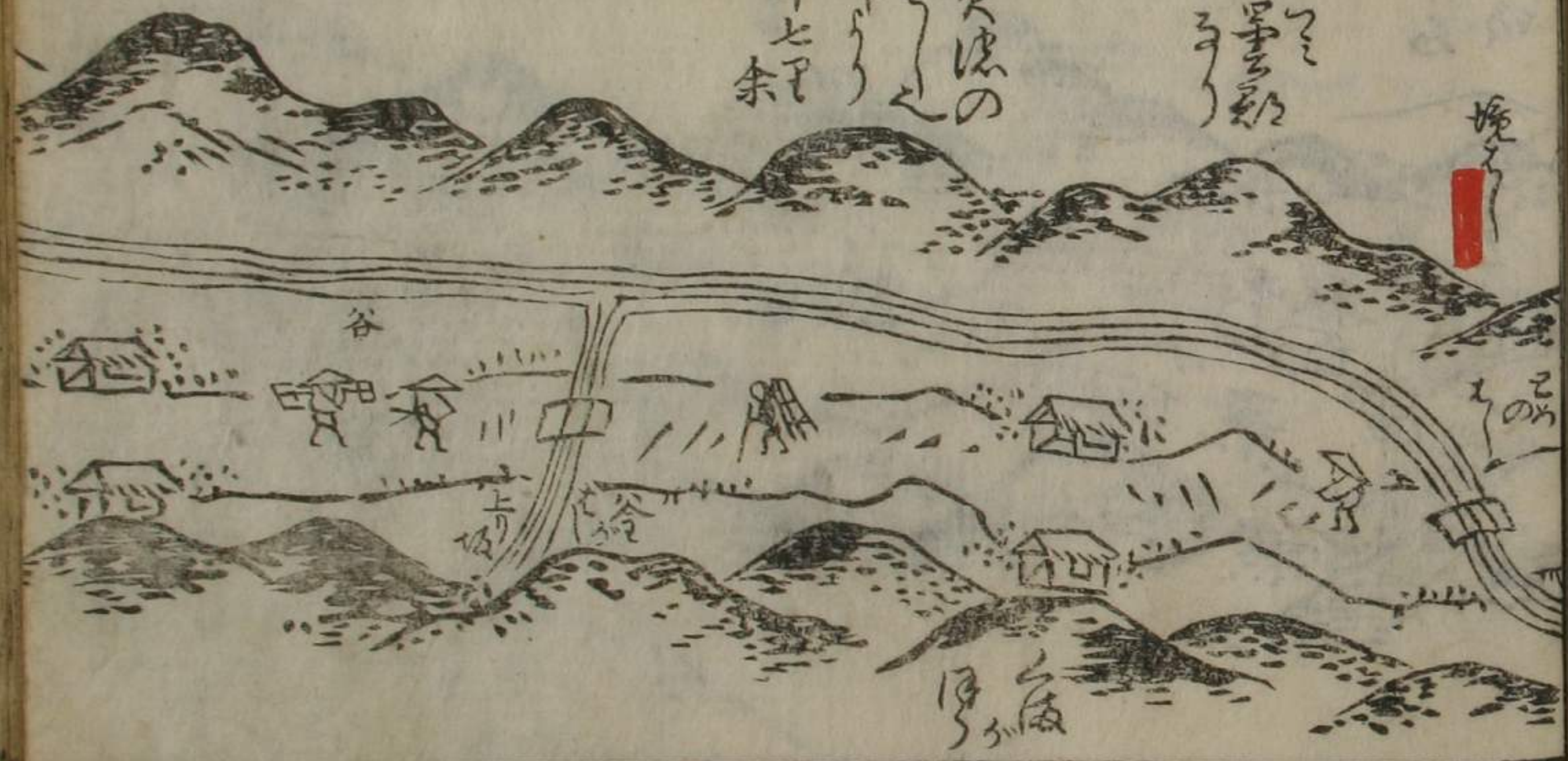
曲物本れと
尾石より

時と織る
下る坂末着の
流板之橋あり
また織の器も
はるるんを

元末着の山中
に一川あり
世一りあり



本名ハ ^{あつこ} 安曇郡
 境橋
 信濃と美濃の
 さうひのそと
 うすひ碓氷
 は所と四十七
 里



立寄るりの
 中より

本名ハ ^{あつこ} 安曇郡
 南より北
 南より北
 南より北
 南より北
 南より北
 南より北



苗本の城
二つあり

あまとも、既に
深山の中を出
碓難をくつて
ふちとくちる
本居はよか
家よかまは
先づ我々が
仰りあつる
ん地とる



落合

老の百
城あり
落合あり
落合の位
の
火縄巻

よ坂の臺子
尾のり
曲柄あり
あり

落合より
終りく坂



一里五丁
西

榎長

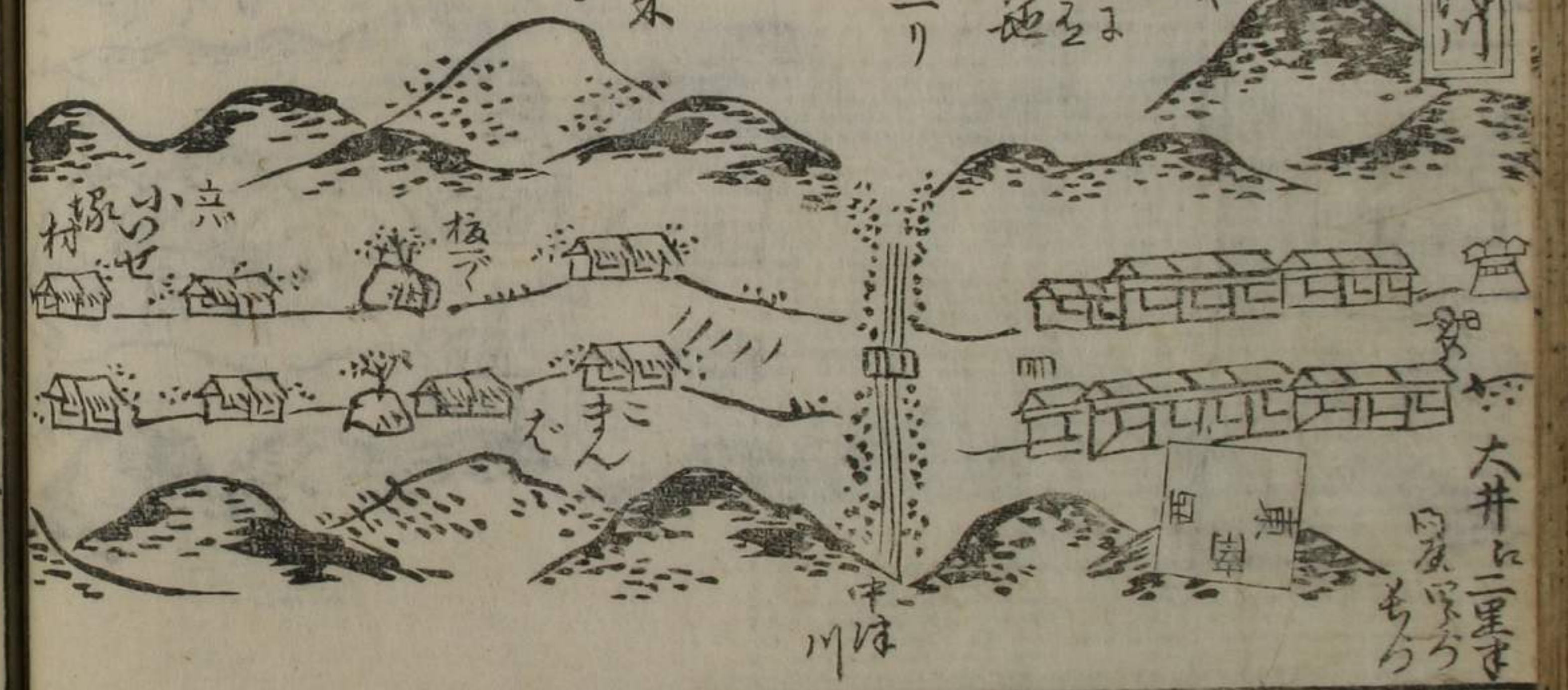
けしき一帯山の
 景を写す



中津川
 ふる出は八世末
 とす

苗本の城
 小高い山の頂上
 を山頂後ち
 一万三千
 中津川より一リ

中津川



大井
 二里
 あり

大井より
大久保までの
十二峠といふ
坂多し



名を冠する所
と云ふ人の
是より



石の硯
清くあり

大井門
は橋を橋杭
川畔に切石
支那より
ゆきげをば
橋二つありて
川より二橋より
流るこまきいなる
と

大井



大久保
三置寺
同屋
條云

大久保

石の雲
急降し雲とて
二ツの大岩と
たてしうと
つ尖斗も
まじり

ひまわり
母寅の本巻の

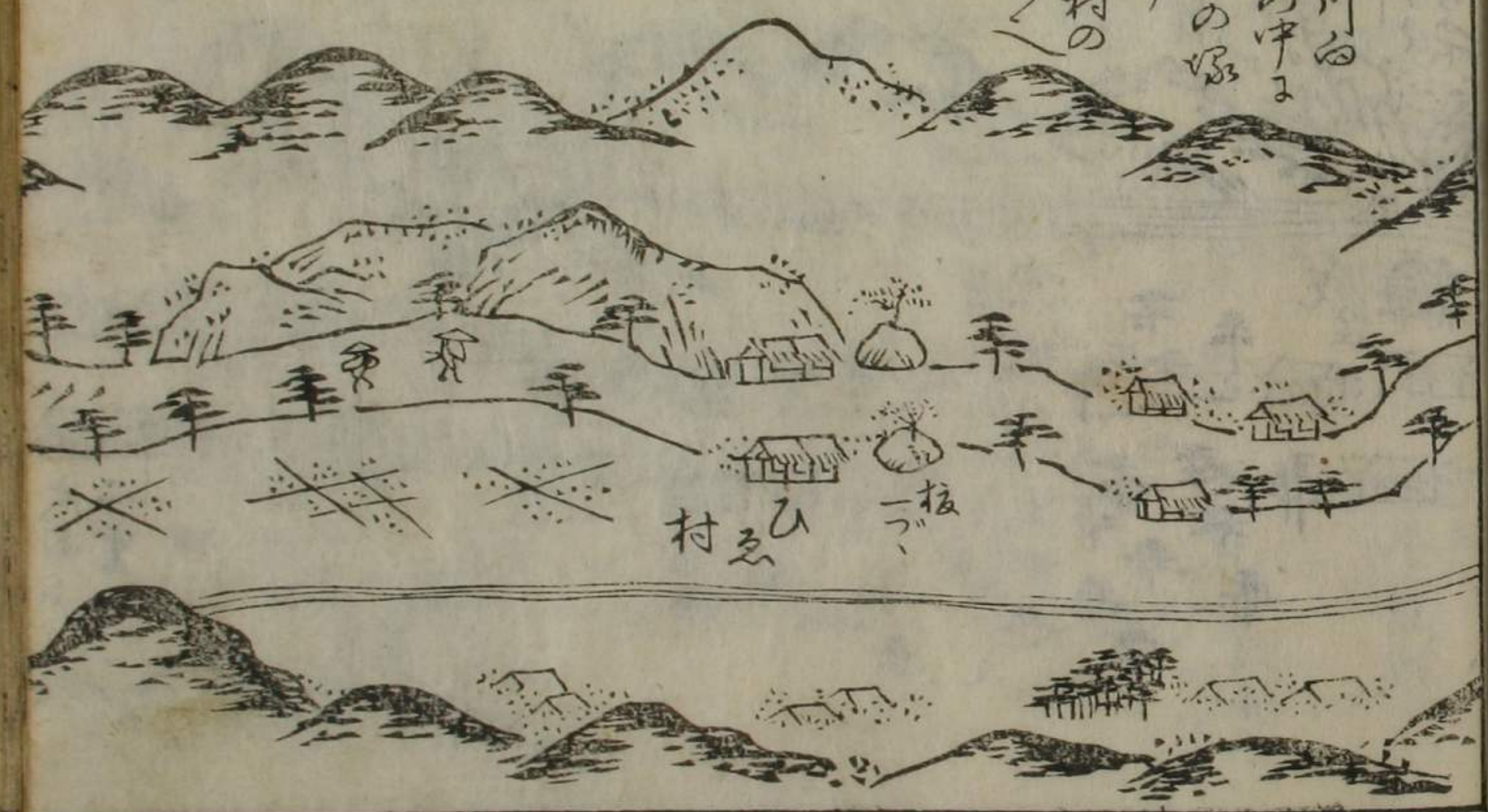
琵琶
峠



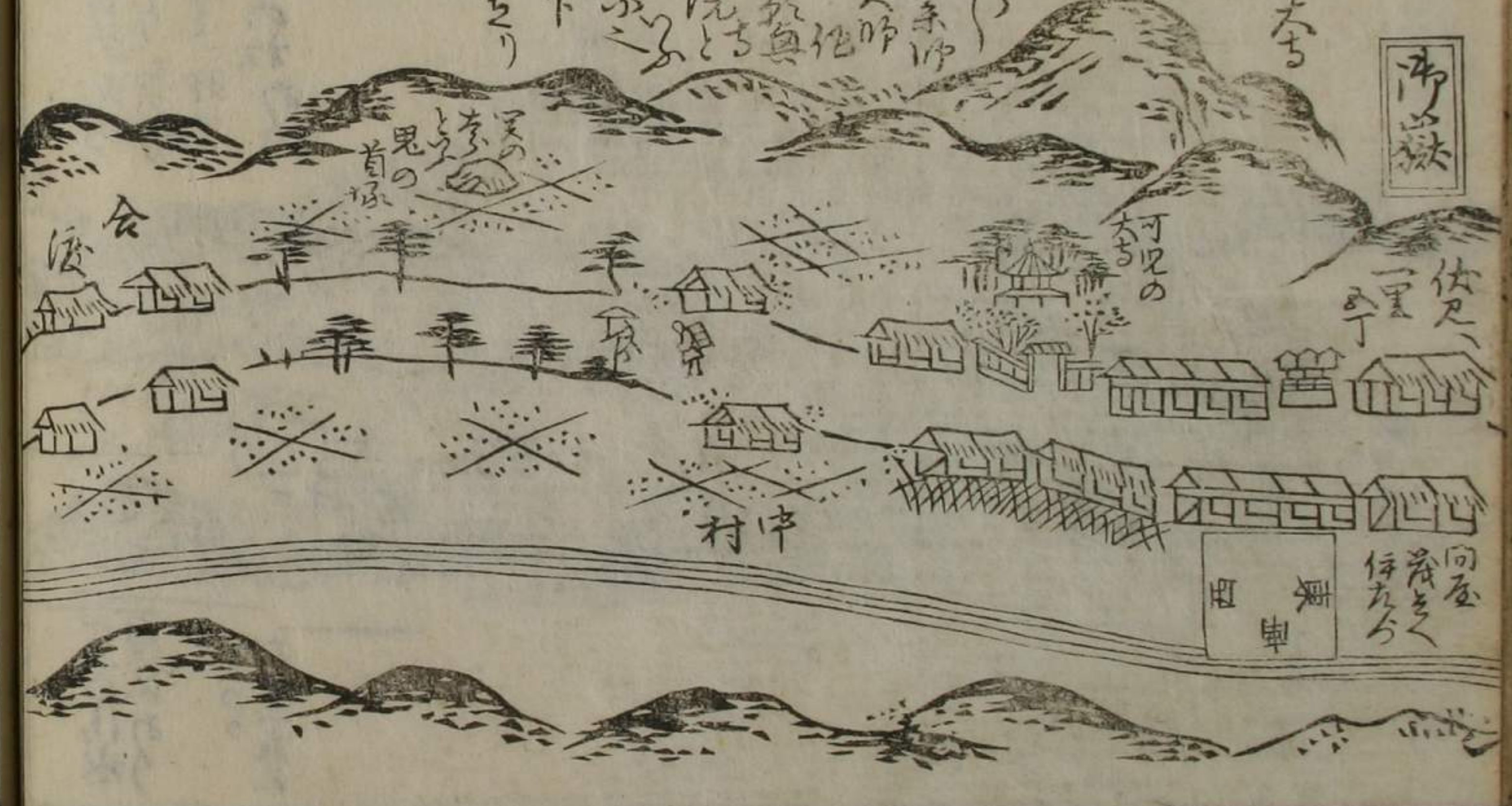
片嶽のゆる
少くかまの
白山のゆる
白山のゆる
白山のゆる
花澤山のゆる
あまのゆる



九り川の
 松林の中は
 杉木の塚
 あり
 合後村の
 うち



可児のまち
 いま
 可児郡
 可児の
 町
 本宮茶師
 伊豆大師
 大寺山教真
 玄誠院
 天宮家
 川茶平
 百石より



可児郡

同屋
 存た
 冊
 田

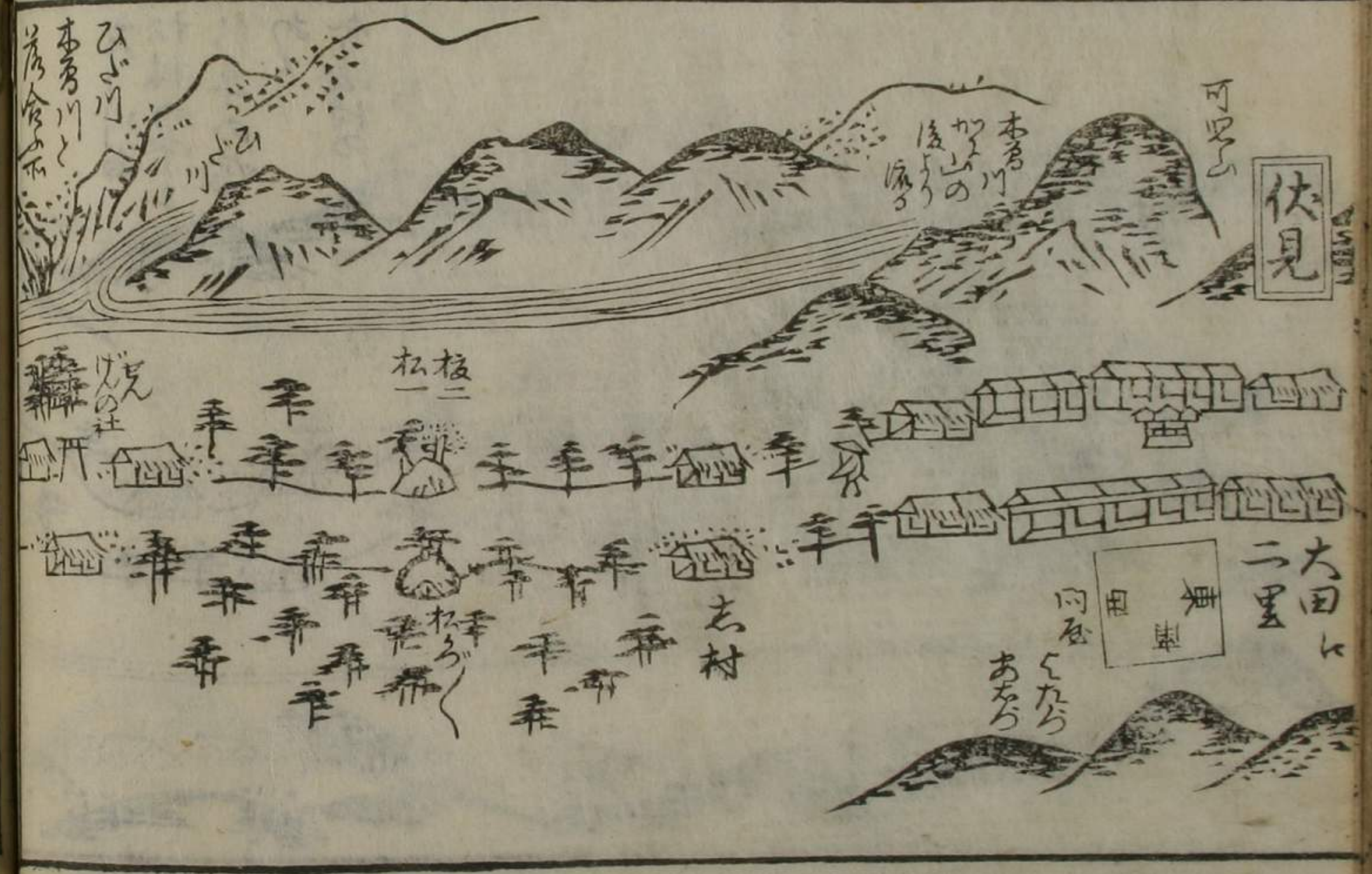


大田川
今後

川合
川下
尾川
中仙
月
桑
山

今後村

今後
山



伏見

可
山

本
川
後
山

松
板

伏
見
の
社

大田川
二里

田
集

向
左
あ
ち

志
村

大田

大田より
一里の
山あり
木の
出る

みの紙の
水武藝
出る

園の
か二里
あり
多

から山竹の
名物
松
尾刀の山



二里
利平
田

岩の門
くろい
あ

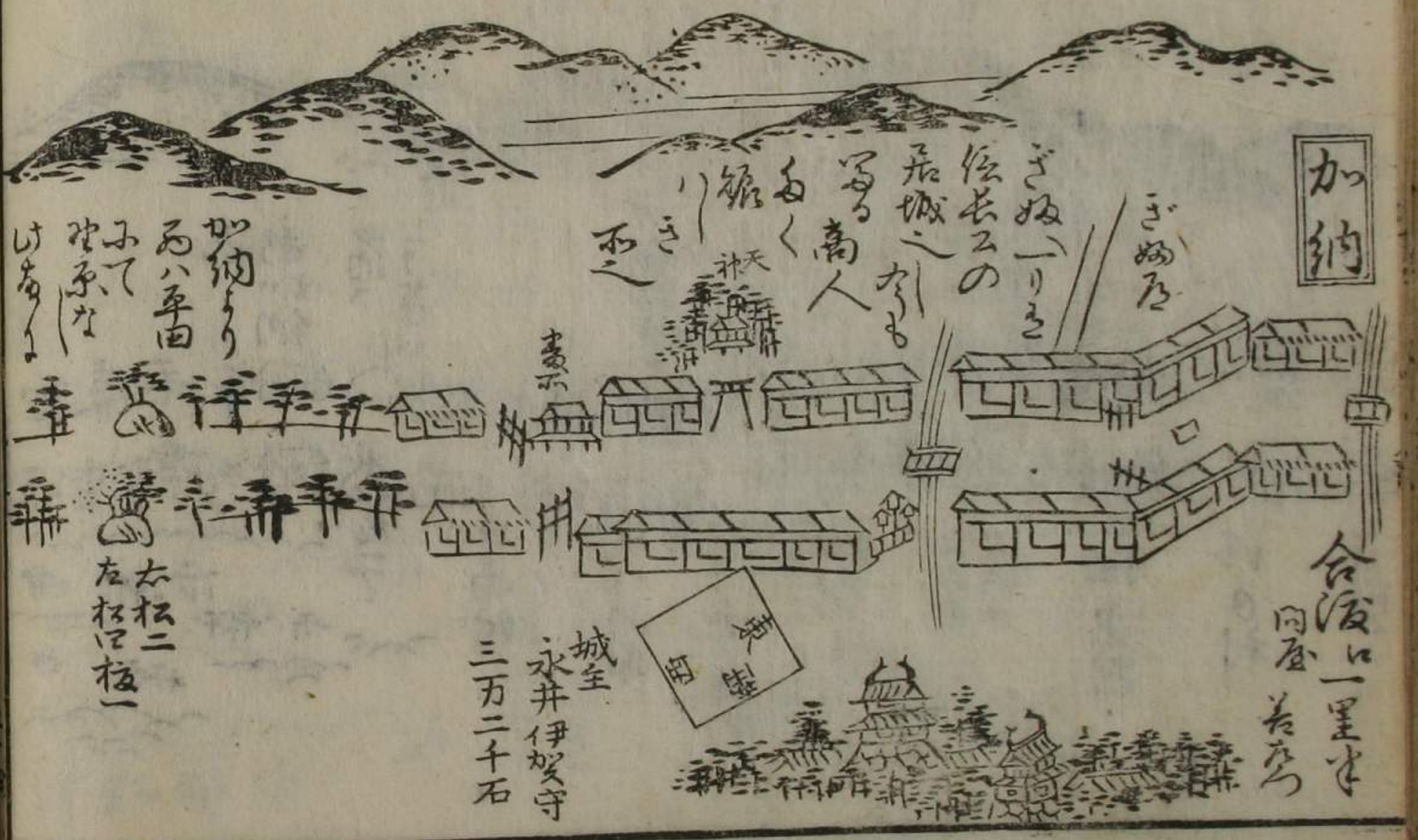
は
たり
本
川
川
川

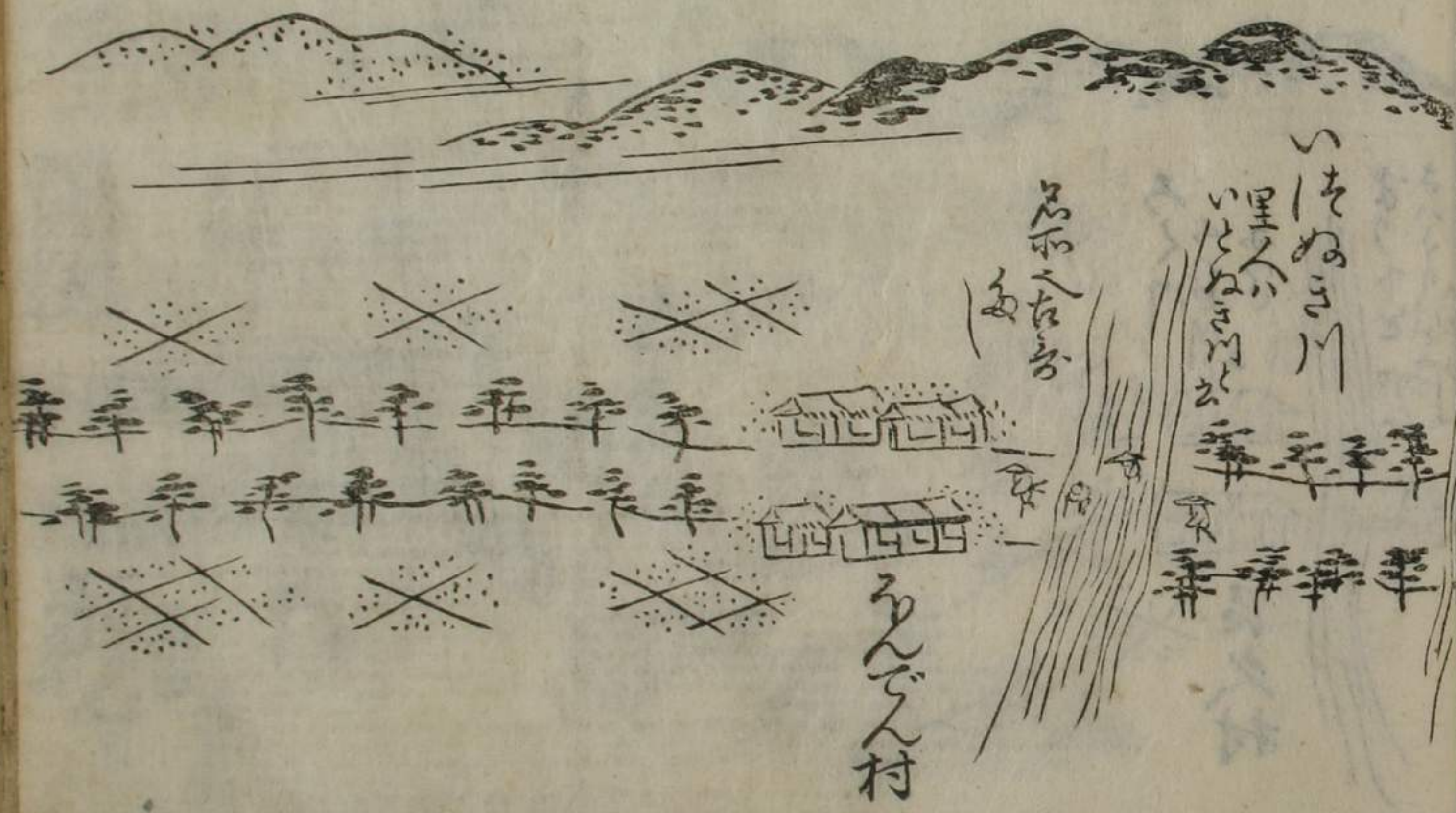
好
本
新
あ
あ
あ

え
あ
あ
あ
あ



天
山
松
松
松
松

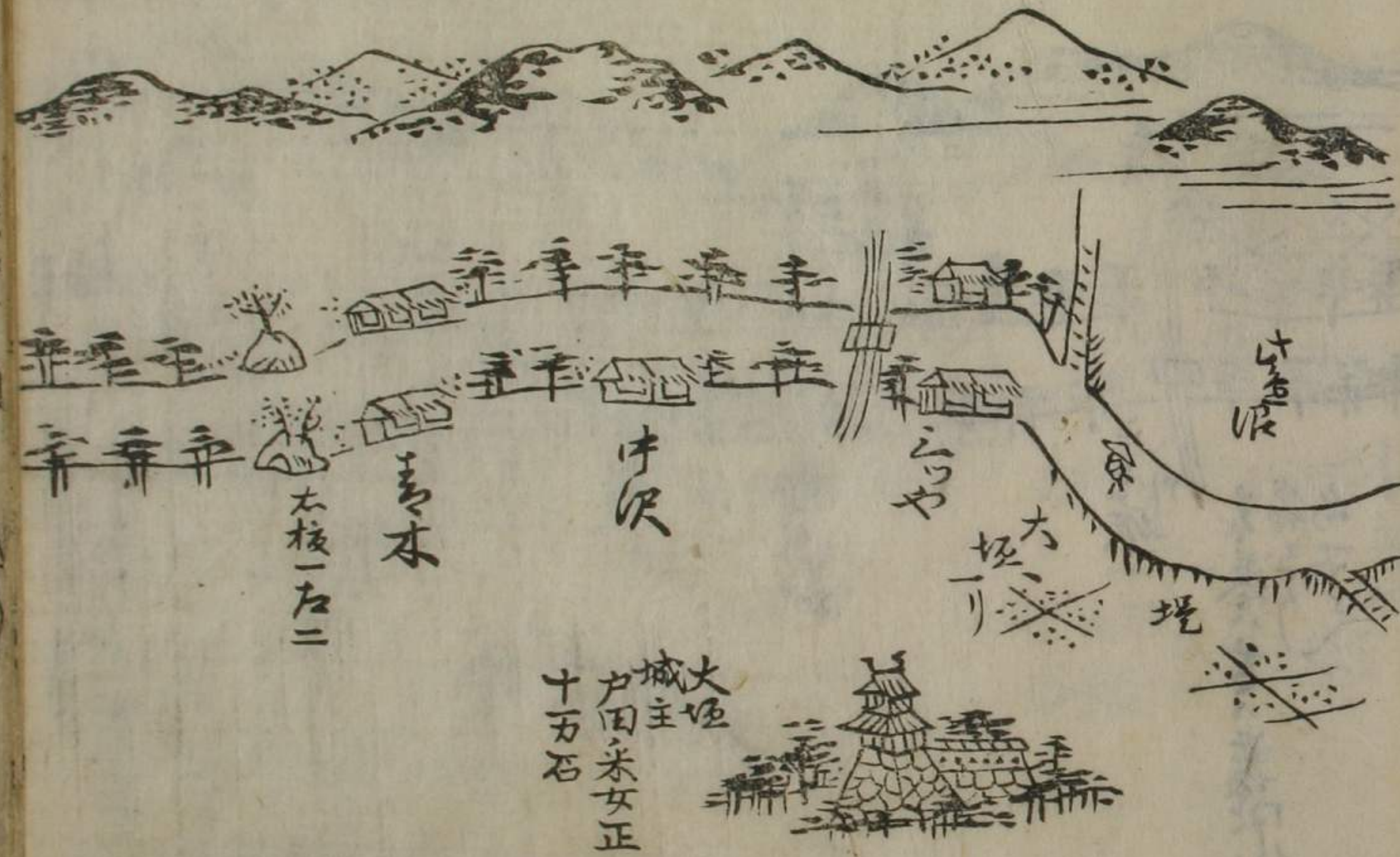




合渡と
 ちのちのち
 一ツは合々
 もつとく 五川
 川と橋がもの
 合渡の十丁
 ニツは川
 江戸川
 ぶぬのか
 ぶぬのか
 ぶぬのか
 ぶぬのか
 ぶぬのか
 ぶぬのか



合渡
 ぶぬの十丁
 一里六丁
 同屋
 久石
 三丁







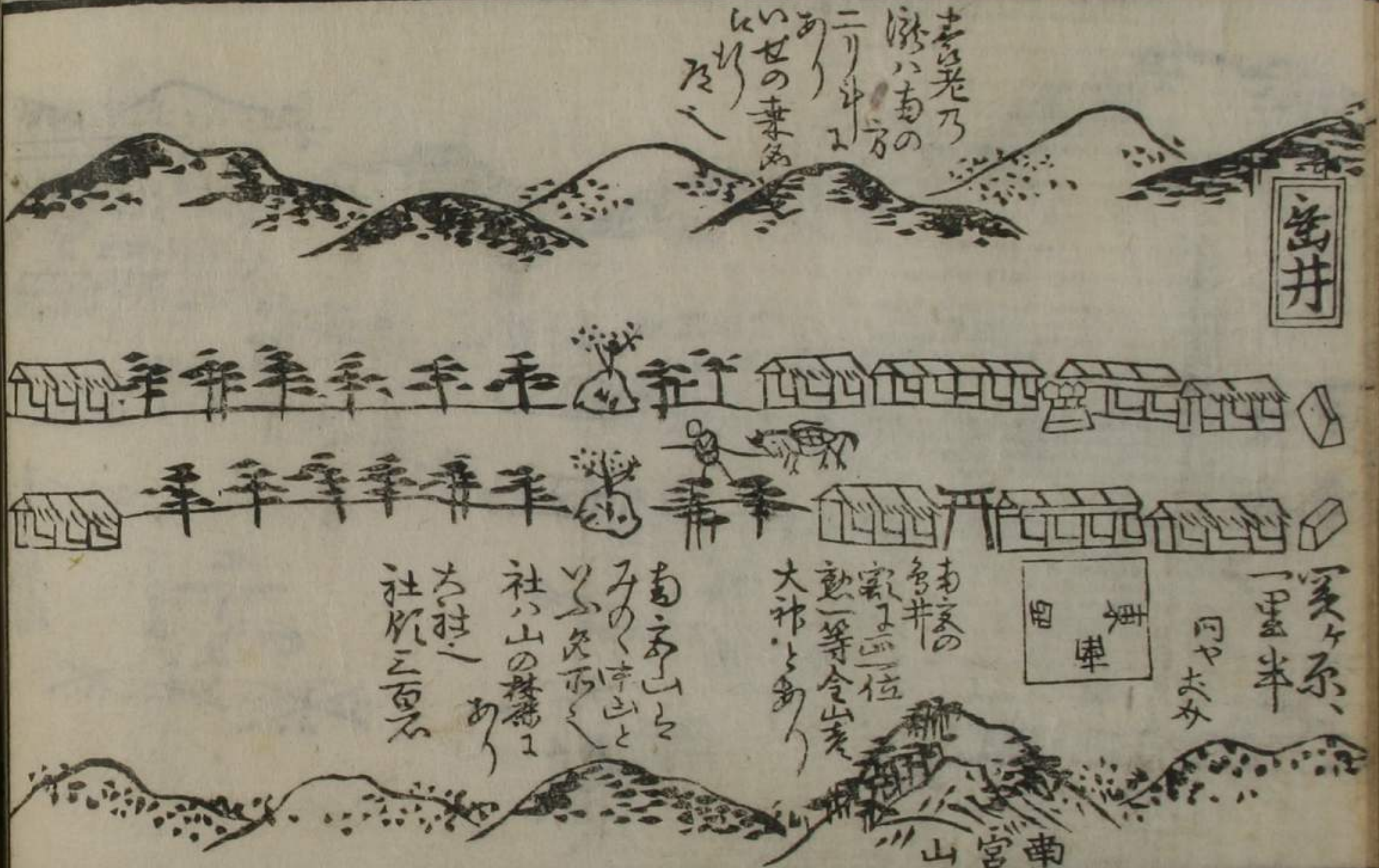
妙正の里
 名西より
 立六
 野上
 村

立六野上村

八んが在り
 寺に在り
 南子
 鶴山あり

桃

出井



老乃
 流の南の
 二り中
 あり
 いせの素
 乃

南子山と
 子の山と
 山との
 社
 社
 社

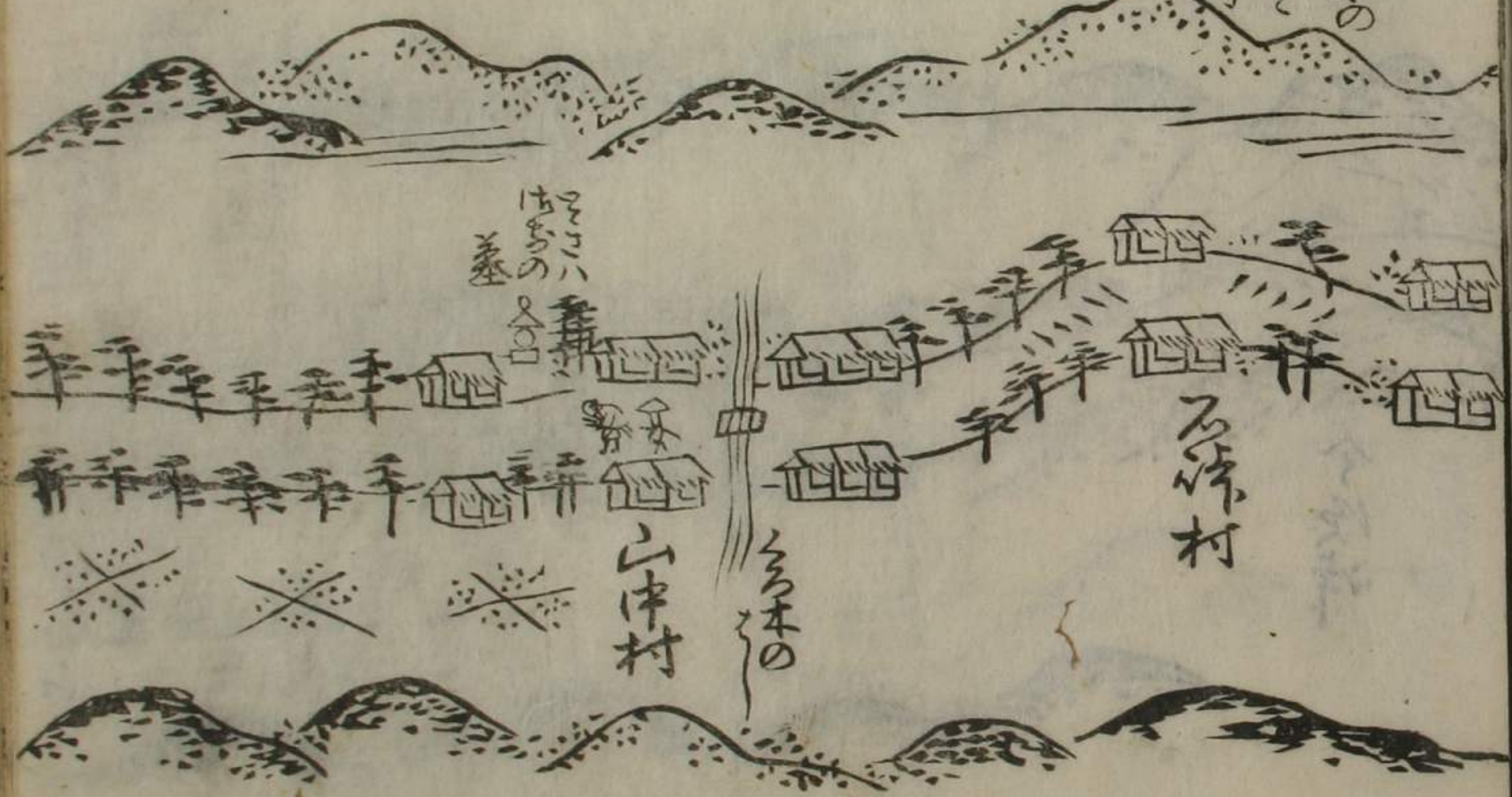
大井の
 家
 大井
 大井

田

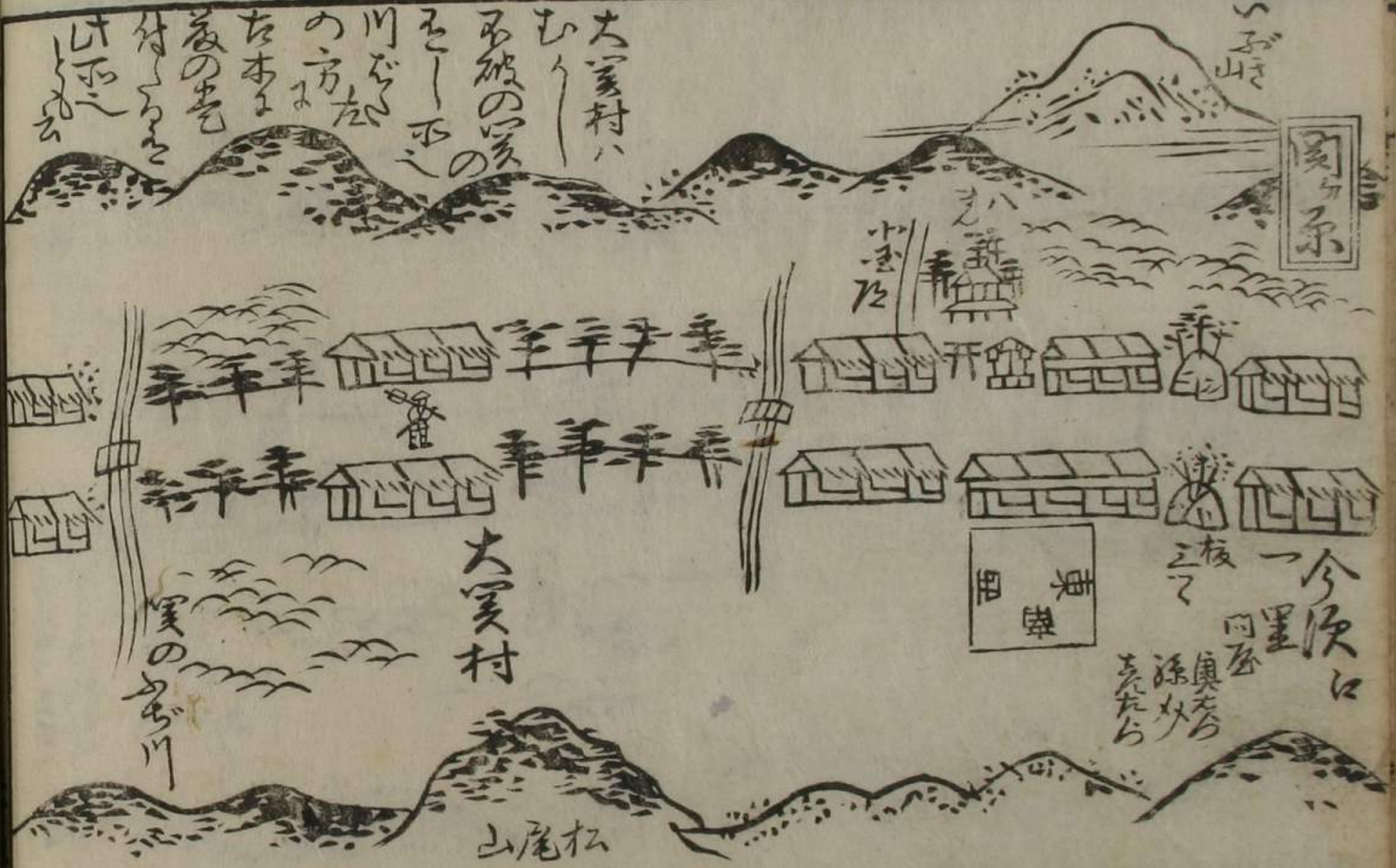
一里半
 同ヤ
 六女

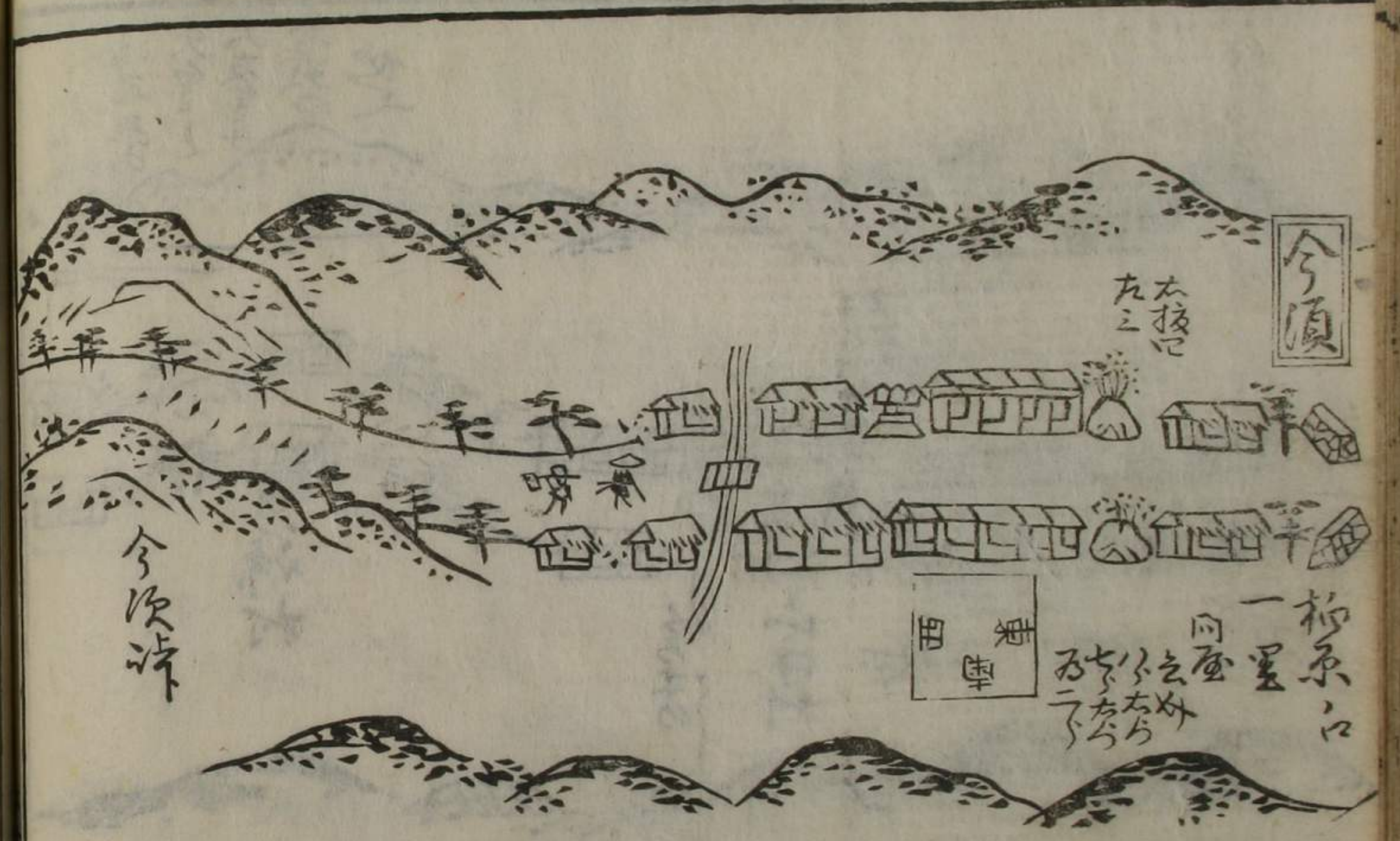
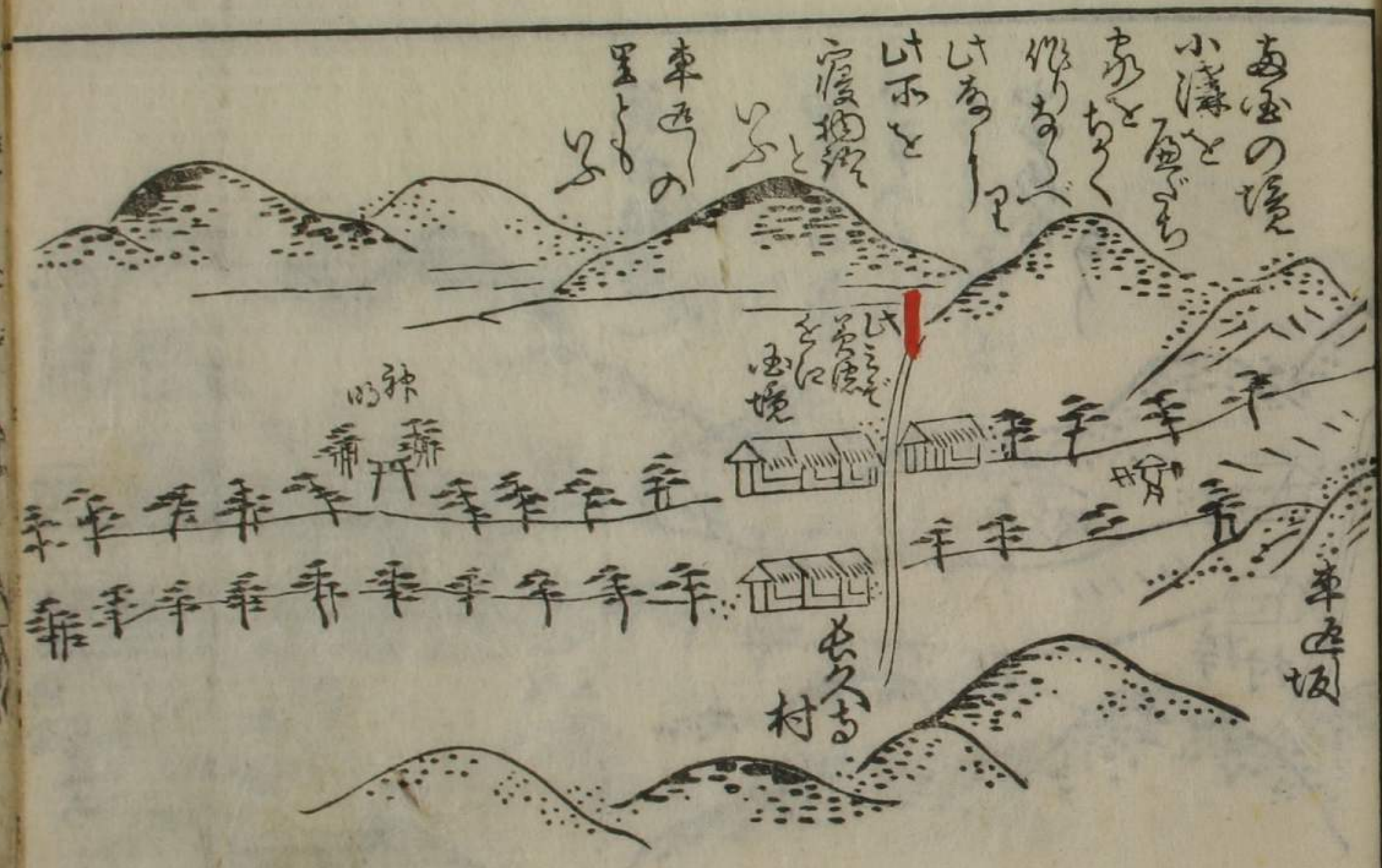
山宮南

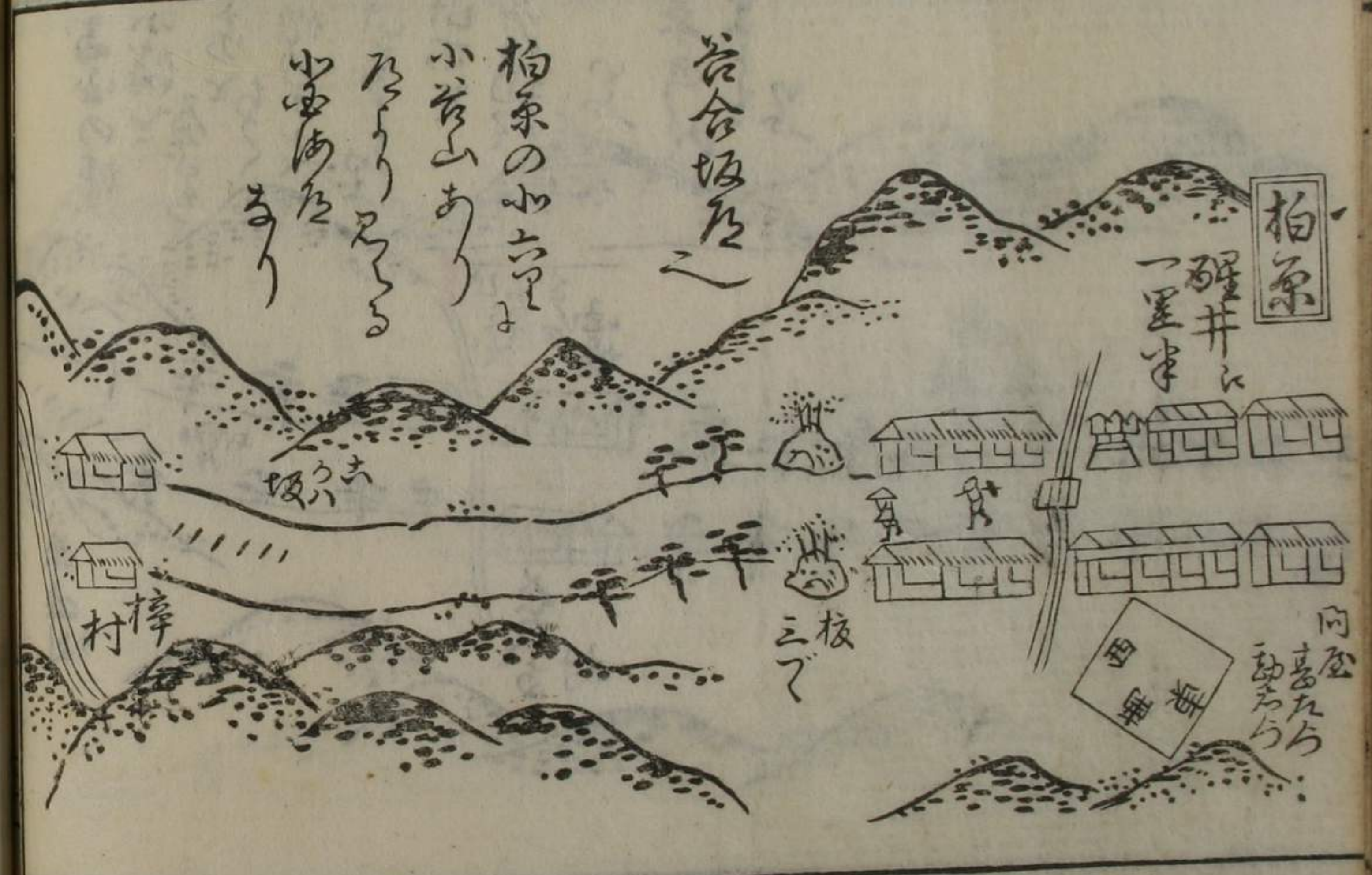
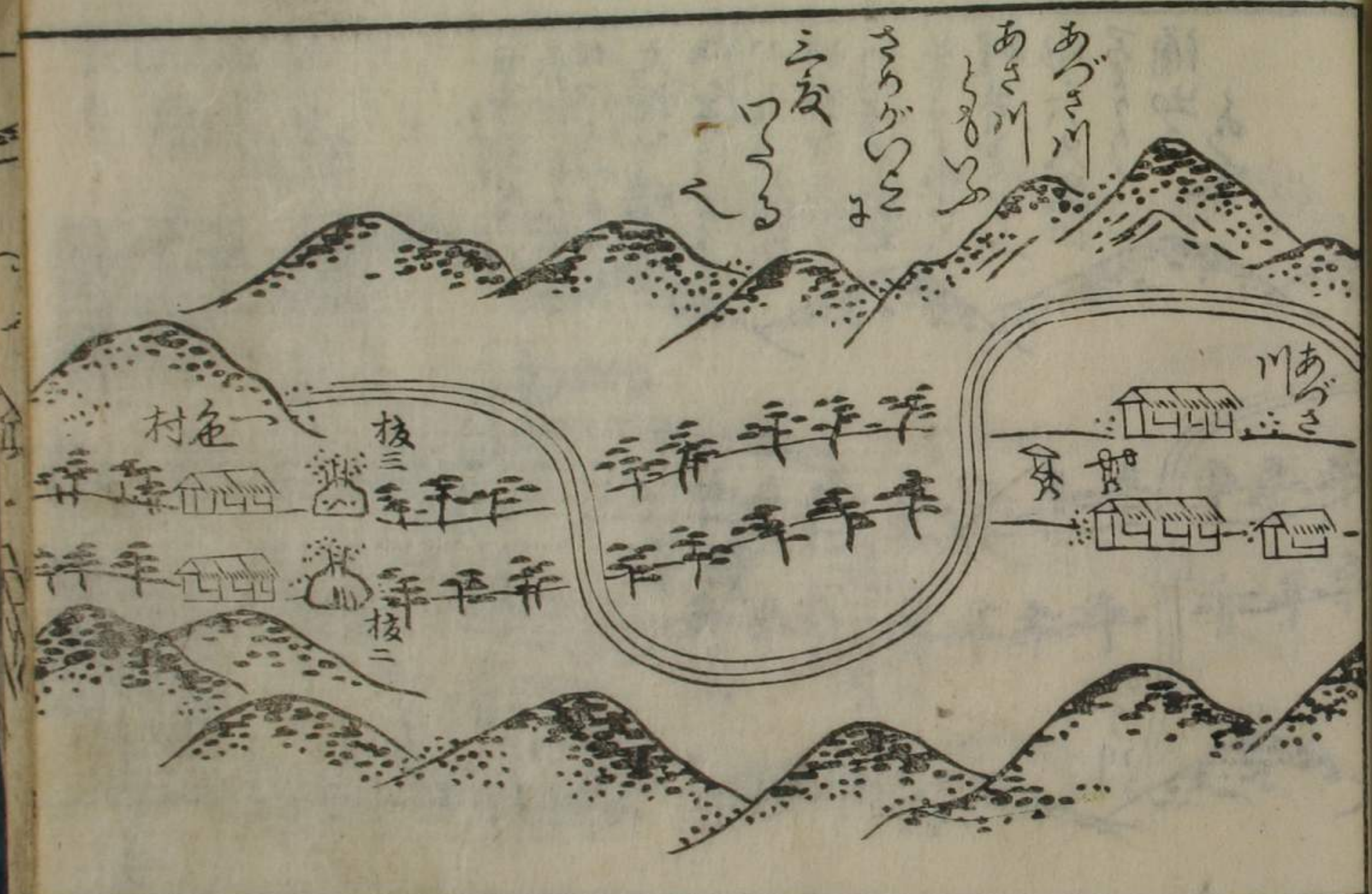
清之系の
天皇と
大友皇子
合戦の
地



大友村ハ
むく
石波の家の
をく
川を
の方面
左本
後の本
付
け
く



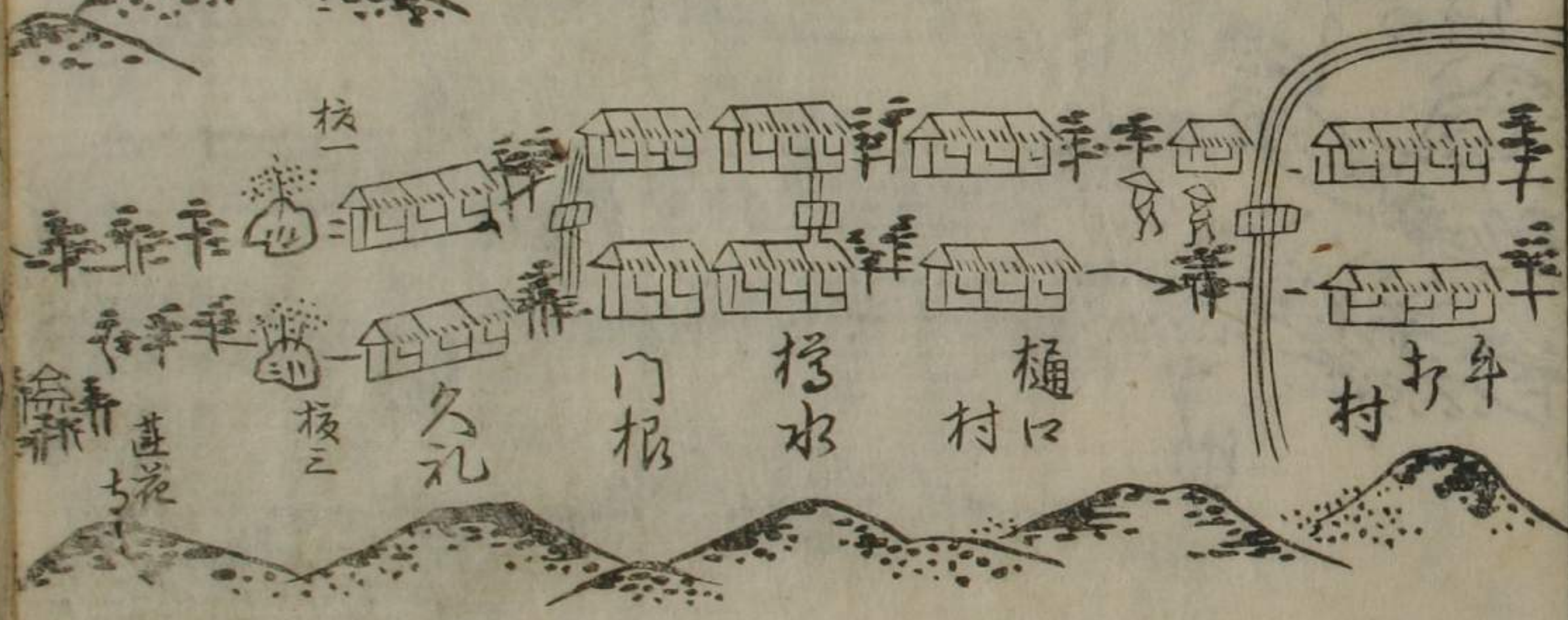




醒井
あつきの 湯場
日本武蔵
東山
大蛇と踏
ハハハハハ
け水と春て
別醒あひぬ
是よりくく
醒井とよふ
水六六岩の
るりり
涌物
あつ



湯場の
入口
八雲山蓮花
左平池
なひの
過去
仲時
四百余人
自害
あつきの湯
あつきの湯
あつきの湯





是又流の
と

上り坂
右板二五
あり
招汁味
善あり
立ハあり

指張
あり



米原一リ
湊あり
大津
湖上十カリ

招汁味より
湖水眼下
又く好意
竹生流成美の
方よりなる流の
めぐり皆屏内と
立りどく
奥の流竹流
又山とて
成美の方より
さしやう山あり

米場

小計

米原
西
一里六丁

新六
仁
長

高杉

若ハハハ
多岐の多居
ありし夜
らりお本と

高杉一り
津上流の付けた
高杉り
高杉ヶ 佐和山

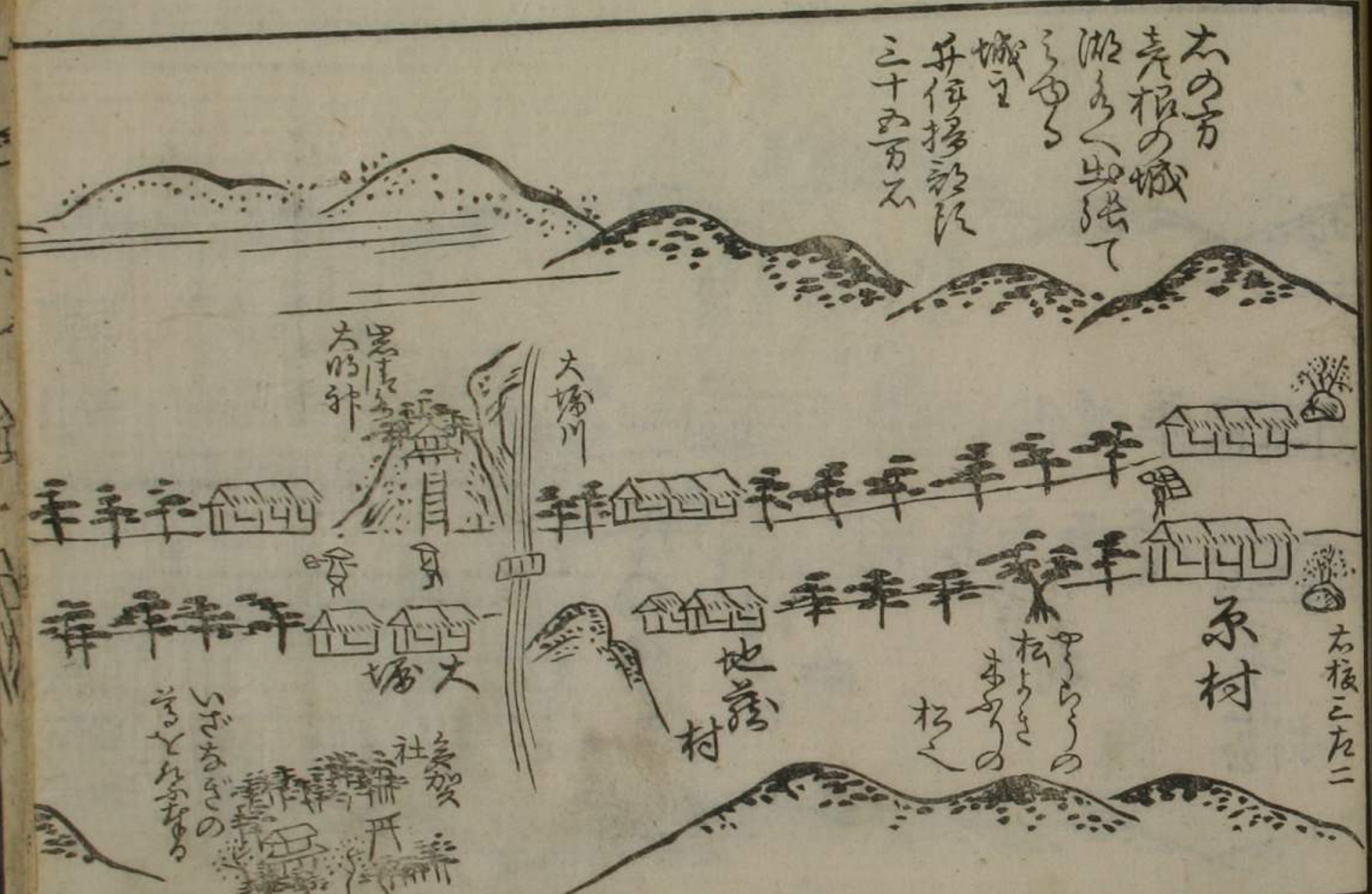
八まん
八まん守山、
二り本

朝鮮人も
毎度けた
高杉

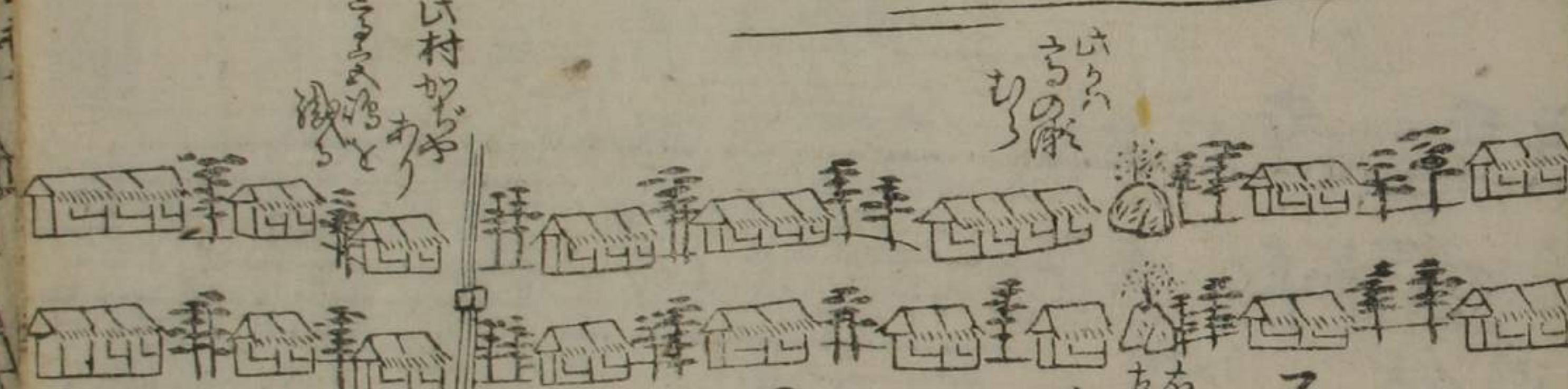
高杉本か
高杉一り本
高杉り
二十丁程



大の方
高杉の城
湖より出でて
城
并住持殿
三十六万石



あま
和山
南よつて
りて山
飯山
善化山
石の
石の
石の



中島
村
大橋村
枝村
田つや
千度村
石富村
右板
左板



荒山

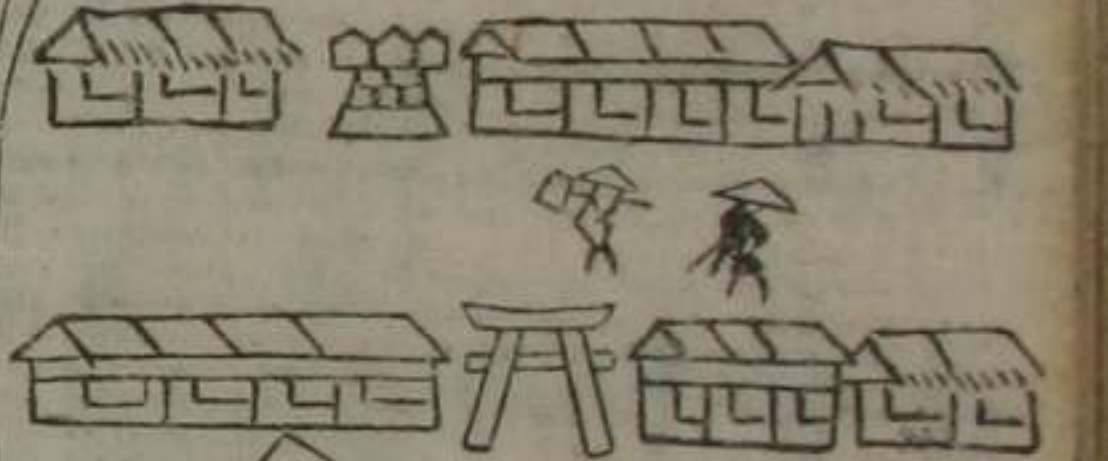


早九
村
出村
あま
はら
板
川
二里八丁
越前
たがの
海

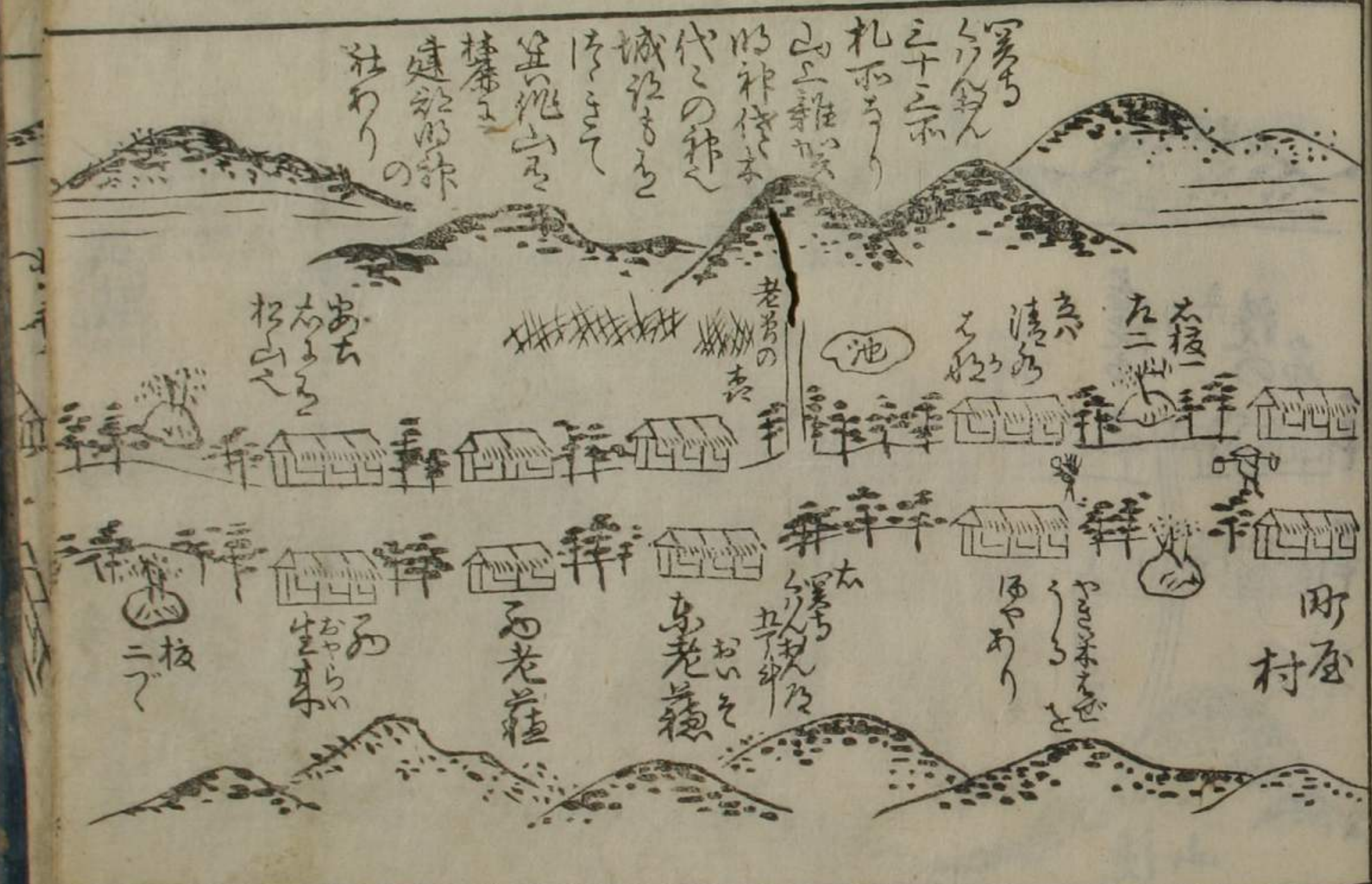


石の

石の
石の
石の
石の



たがの
海



高津川

春日大明神

板二

志の川

此ののろき
あきいさん

は村ふるの書
名物あり

ふる



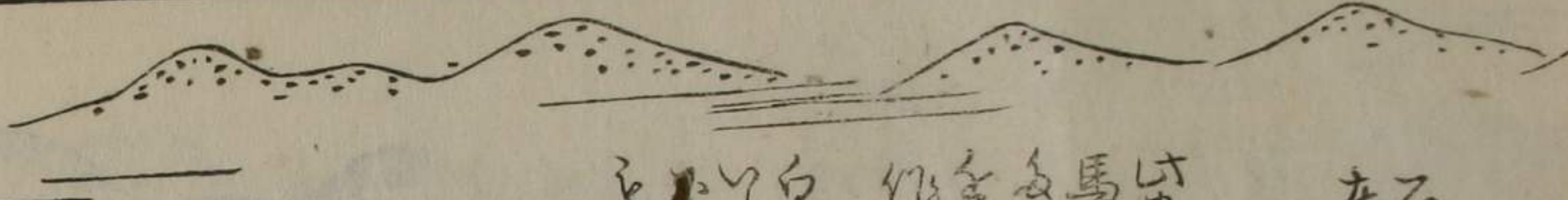
尾中村

高津川村

和津の賣家
あり

高津川村

大宝天王
中りの



守山

石橋より
東ハ吉見村

は吉見
馬場

白鳥もまの
ゆき
ゆき
ゆき
ゆき

二可村

多毛村

板二

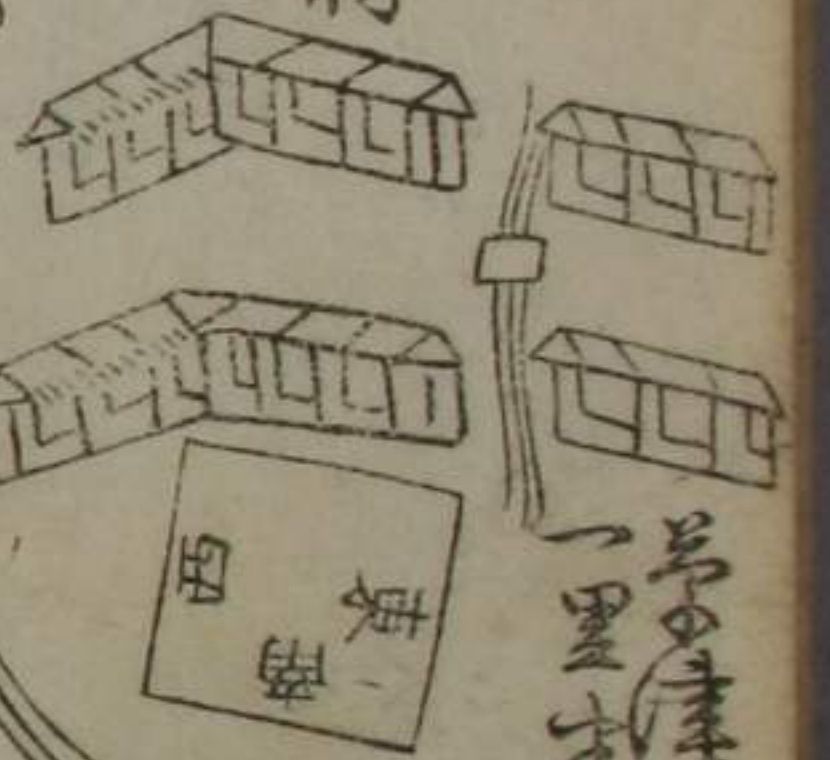


多毛村
高津村

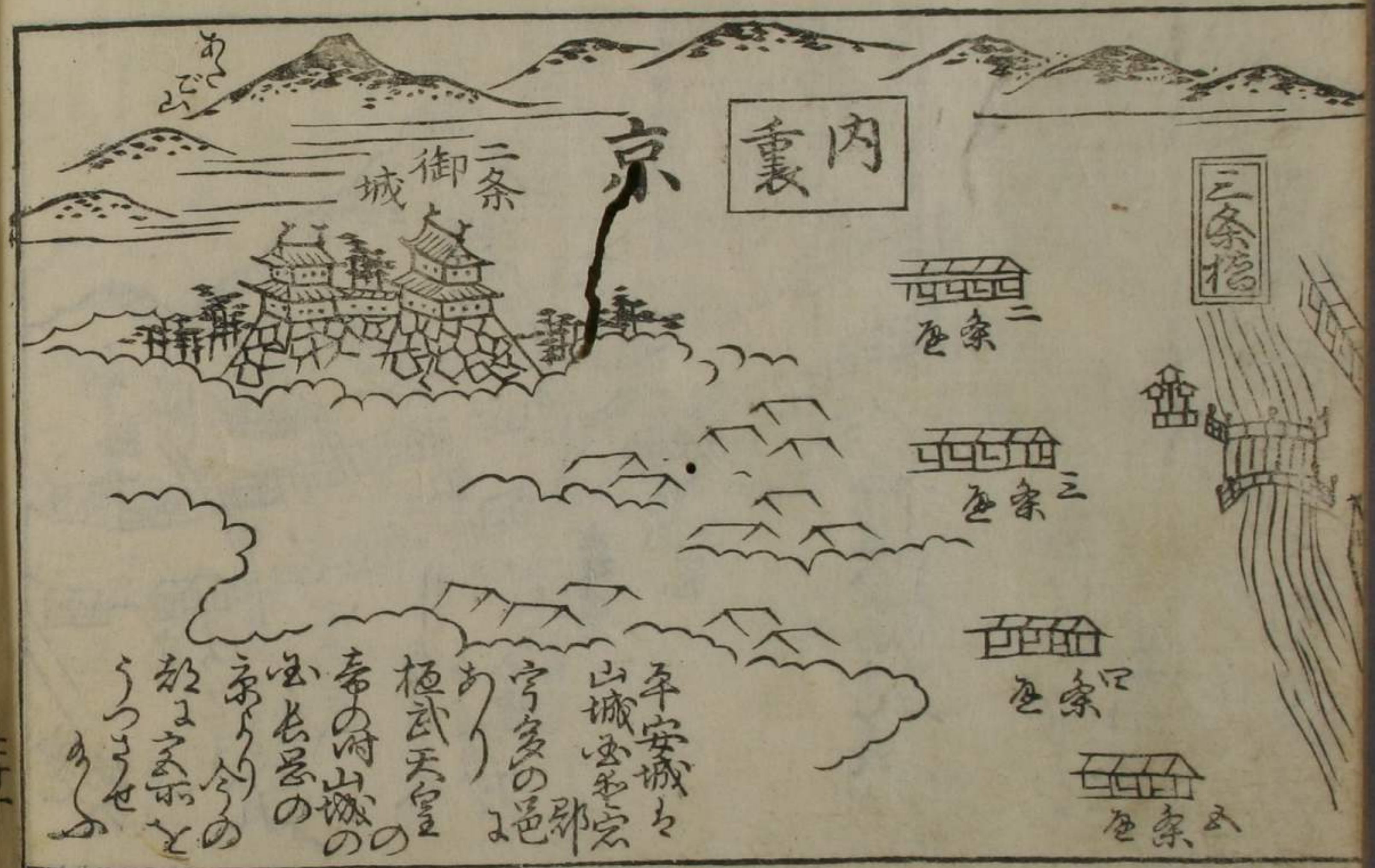
板一

今高村

墨
八五



高津川に
一里



木乃洛宿法賃付

小田井	退分	香盤	板井	安中	板	高	高	新	本	源	徳	鶴	桶	上	大	浦	わ	板	目
七丁	十一丁	三丁	八丁	三丁	三丁	三丁	三丁	一丁	二丁	三丁	三丁	八丁	三丁	三丁	三丁	十一丁	一丁	八丁	三丁
四十七文	四十九文	四十二文	百八十五文	九十四文	百七十五文	七十六文	三十四文	六十五文	七十八文	百一十五文	百一十二文	百零八文	七十一文	三十七文	七十八文	八十一文	八十三文	八十九文	九十四文
三十一文	三十二文	廿九文	百廿一文	六十七文	百廿一文	百廿一文	廿二文	六十六文	六十七文	七十一文	七十二文	百一十二文	百一十二文	廿六文	六十八文	三十三文	三十三文	三十三文	六十二文
廿四文	廿四文	廿一文	八十八文	四十七文	四十七文	四十七文	十七文	三十三文	三十三文	三十三文	三十三文	三十三文	三十三文	十九文	十九文	十九文	十九文	十九文	四十七文

大井三判	百廿五文	百廿二文	九十九文
大久保三判	七十一文	四十六文	三十六文
細谷三判	百四十五文	八十九文	六十八文
依見三判	四十二文	廿九文	廿一文
右田三判	九十九文	六十一文	四十七文
橋本三判	九十九文	六十一文	四十七文
かひ三判	六十七文	四十二文	廿四文
合渡三判	六十七文	四十二文	廿四文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
赤坂三判	八十九文	六十一文	四十七文
赤坂三判	六十一文	四十二文	廿四文
今次三判	四十二文	廿九文	廿一文
柏原三判	六十九文	四十二文	廿四文
碓井三判	四十二文	廿九文	廿一文
寛井三判	四十二文	廿九文	廿一文
名井三判	六十九文	四十二文	廿四文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
武蔵三判	六十九文	四十二文	廿四文
守山三判	六十九文	四十二文	廿四文
三浦三判	六十九文	四十二文	廿四文
大井三判	六十九文	四十二文	廿四文

大井三判	百廿五文	百廿二文	九十九文
大久保三判	七十一文	四十六文	三十六文
細谷三判	百四十五文	八十九文	六十八文
依見三判	四十二文	廿九文	廿一文
右田三判	九十九文	六十一文	四十七文
橋本三判	九十九文	六十一文	四十七文
かひ三判	六十七文	四十二文	廿四文
合渡三判	六十七文	四十二文	廿四文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
赤坂三判	八十九文	六十一文	四十七文
赤坂三判	六十一文	四十二文	廿四文
今次三判	四十二文	廿九文	廿一文
柏原三判	六十九文	四十二文	廿四文
碓井三判	四十二文	廿九文	廿一文
寛井三判	四十二文	廿九文	廿一文
名井三判	六十九文	四十二文	廿四文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
三浦三判	八十九文	六十一文	四十七文
武蔵三判	六十九文	四十二文	廿四文
守山三判	六十九文	四十二文	廿四文
三浦三判	六十九文	四十二文	廿四文
大井三判	六十九文	四十二文	廿四文

○大津より大坂に石法結貨付

大津分 依凡 八丁 百七十三文 百十三文 八十四文	大坂分 依凡 五丁 百五十五文 百五十五文 七十三文	大坂に 幸 百五十三文 百五十三文 百五十三文
--	---	-------------------------------------

伊の満子のり

不成物日	二十日	二十日	二十日
二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文
二十日	二十日	二十日	二十日
二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文
二十日	二十日	二十日	二十日
二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文
二十日	二十日	二十日	二十日
二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文	二百七十三文

赤城 多丸車

須原 茂吉

若原 清吉

寶曆六年子土月

